

UFO

GAP-JAPAN NEWSLETTER

UFO・超能力・宇宙哲学
コンタクティー

contactee

AUTUMN
1989

106

金星から知的メッセージを受けたマリナー2号

アダムスキーに会った唯一の日本人⁽²⁾

宇宙哲学で奇跡を起こす方法

ヒーリングとテレパシー

オーラ透視と反復
思念で病気を治す

テレパシー現象の医学的考察

〈連載第9回〉

UFO-宇宙からの完全な証拠



〈巻頭言〉 UFO問題の意義	1
金星から知的メッセージを受けたマリナー2号	G.アダムスキー 2
アダムスキーに会った唯一の日本人(2)	向井 裕 10
宇宙哲学で奇跡を起こす方法	久保田八郎 16
ヒーリングとテレパシー	遠藤昭則 22
テレパシー現象の医学的考察	N.H.M.D. 28
楽しい横浜支部月例会	山木 益巳 30
私は不思議な物を見た	篠崎典子 31
〈写真〉 富士吉田市上空のアダムスキー型円盤	河合清美 33
科学—SCIENCE	34
GAP短信	36
UFO-宇宙からの完全な証拠(連載第9回)	ダニエル・ロス 38
本誌/バックナンバー掲載記事目録	45
〈報告〉 山形・仙台合同支部大会／大阪支部大会	46
〈予告〉 長野支部大会	47
〈投稿欄〉 ユーコン広場	48
〈予告〉 1989年度日本GAP総会	49
〈広告〉 アダムスキー全集／英文版ユーコンNo.5／編集後記	50
日本GAP全国月例研究会案内	51



◀金星人からジョージ・アダムスキーに伝えられた金星のシンボルマーク。2箇の図形の内、左側は宇宙の女性原理(陽)、右側は母性原理(陰)を意味する。円は宇宙をあらわしている。

GAPについて

GAPは「知らせる運動」という意味の世界的なグループ活動で、世界中の人々がUFOの真相について“知る”機会を与えられるべきであるという見地に基づいて1959年にジョージ・アダムスキーによって創始されました。彼の願いは「最大多数の人が現代の真実を発見して、来たるべき時代に眼を転じること、人間はすべて“コスミック・パワー”の子であり、そのパワーの諸法則が宇宙に遍満している事実を確信をもって知ること」にありました。この諸法則は他の世界(惑星)から来る友好的な訪問者からもたらされた“生命の科学”の研究と理解を通じて体得できます。

日本GAPの目的はUFOとスペース・ブラザーズ問題に関心ある人々に伝えることにあり、奉仕活動を通じて真実の解明と宇宙の法則の実践を呼びかけることにあります。その中心思想は次のとおりです。

1. この太陽系の他の惑星群には偉大な発達をとげた人類が居住しているが、米ソ等の大国政府はこの真相を隠している。
2. 他の世界から来る人々はこの世界の政治家や科学者とひそかにコンタクト(接触)しており、危機にひんした地球に対して救援の手をさしのべている。官民を問わずスペース・ブラザーズとコンタクトしている人々が少数存在すると思われるが、通常その真相は洩らされていない。
3. ジョージ・アダムスキーがもたらした哲学は、人類の精神の向上と地球の輝かしい未来を築くために不可欠のものである。

本誌は他の団体・個人と対立するものではなく、政治・宗教と関係のない非営利刊行物です。本誌が読者に対して多少とも役立てば幸いです。

表紙写真

スイス・アルプスのUFO

1959年7月31日、スイスのローザプラランシュ山でウィーンのフランツ・ローウ氏が撮影したUFO。先端のオレンジ色光体のうしろに長い航跡が残った。

昭和二十八年にアダムスキーと文通を開始して以来三十六年、昭和三十六年にアダムスキーの要請で日本GAPを創立してから二十八年が経過した。まさに「光陰矢の如し」で、いつのまにか昔日の豊かな長髪は離散し、禿頭の年代になってしまった。その間無数の人に接触し、無数の出来事が身辺を去来した。アダムスキーを中心とするUFOと宇宙哲学の研究促進活動で世界中から膨大な資料を入手し、海外各地を調査し、瞠目すべき隠蔽事、驚異的事実等の情報に接して、社会の裏面



の意外性、というよりもこの世界の二面性に茫然たらざるを得なくなつて久しい。いまだにアダムスキーを偽者呼ばわりするのは可愛い方で、可愛いくないのは裏面で情報操作をやる黒幕である。これは国内よりも外国に多い。白人文化に弱い日本人研究者はこうした源泉から出る情報に簡単に踊らされて国内で論争を展開する。

だが現在はアダムスキー問題に関するこのような状況は大きく変化している。UFOの存在を信ずる人が増加し、必然的に大気圏外に目を向ける傾向が

再度表面化してきたのかもしれない。

それはともかくとして、信・不信の渦巻いた過去三十六年間のUFO研究界を回想すると、UFO研究は人間研究に帰結すると称しても過言ではない。同じ人間でありながら一つの問題に対してなぜ信・不信の想念が生ずるのか。信ずる者同士でなぜ争うのか――。

こうした事を心理学的、精神分析学的に研究しても始まらないが、始まるのはUFO問題に深く関連する人間の直感力の面である。カントの「純粋理性批判」をまつまでもなく、この直感力なるものが経験から得る知識よりも重要だと思われることは多数のUFO出現にまつわる目撃者の特殊な感覚や想念の状態で言えるのである。ここにおいて人間の内部に潜在する未知の能力の探求と開発の必要性が浮上してくるのだが、アダムスキーは昔からこのことを唱えていた。超常的直感力を基盤とするテレパシー、遠隔透視（オーラ透視はその一種）、未来予知その他の能力は万人の内部に潜在するのであって、これは二十一世紀の重要な研究対象となるだろう。

そうしたいわゆる超能力の、超の字を除いた能力開発も現在は隆盛を極めるようになった。国内だけでも民間の研究機関は十数に及び、しかも開発原理は申し合わせたように一致している。信念をこめた反復思念とイメージを描く方法である。この方法で驚異的指導

能力を発揮したアメリカのジョセフ・マフィー博士は、反復思念を「祈り」と表現し、アダムスキーの言う「宇宙の意識」を「潜在意識」と呼んでいるが、これらは同義語である。

アダムスキーはUFO研究家であつたばかりでなく、昔から精神的な方法で多くの人の苦悩を解消させ、難病患者にヒーリング（精神的治療）を施して多くの奇跡を起こしたと、側近であつた故アリス・ウェルズ女史が直接語つてくれたことがある。

われわれはUFOの推進法を科学的に研究し、時代遅れの噴射推進の次元をはるかに超えた重力場エンジンを開発して本物のUFOを建造し、惑星間旅行を実現させることを望んでいるけれども（マルヒ情報によれば、すでに某国が完成させて飛ばしているという）、絶対に軍事目的に使用されてはならず、あくまでも平和利用でなくてはならない。それには五十億の人間の友好と調和の確立が先決問題である。

したがって今後地球人は総力をあげて平和な惑星を建設する必要がある。この世界のあらゆる国の軍備を撤廃させ、全世界から殺人用の拳銃一挺、ナイフ一本に至るまで根絶させ、平和産業の興隆と共に科学力を医療面、宇宙開発、衣食住の確保に向けさせて、我らの惑星地球号を燦然と輝く大空艇たらしめた上、先進惑星群の仲間入りをする、というビジョンを持つ編者のよ

うな人間が一人ぐらいいても悪くはないだろう。ドンキホーテと嗤われようが、この理想の旗のもとに馳せ参ずる人たちの想念波動が、ごく僅かでも周囲に良い影響を及ぼすならば、その輪は広がりこそすれ縮むことはない。

こうして少しずつ輪を広げて平和な惑星にしようというのがGAP活動である。そのためにはまず私たちが精神の向上を目指し、自己の内部に眠っている偉大な能力を引き出して自分自身をスーパーマンにする必要がある。われわれの言う超能力とはスプーン曲げの次元ではなく、絶大な信念の力を応用して劣敗の人生を勝利のそれに変換させるパワーを意味する。そしてそのパワーで他人をも救うのである。苦悩する人に光明を与え、難病の人を癒やし、万人と調和して住みよい世界を築こうというわけだ。

そこで今秋の日本GAP総会は超能力者三名による能力開発セミナーとした。これは鬼面人を驚かせる実演会ではなく、人間に大いなる勇氣と自信をつけて大変化を起こさせる方法を伝授するための講習会である。しかも平成元年を一代精神革命をスタートさせるための転機として「愛と幸せのための」と銘打って、そのノロシを日本GAPが打ち上げる意味で総会を開催するのである。総会の案内は本号49頁に出ている。非会員の方も歓迎するので多数出席されたい。

Intelligent Message from Planet Venus
by George Adamski / Translated by Hachiro Kubota

UFOの真相(1)

ジョージ・アダムスキー
★★★★久保田八郎訳

金星から知的メッセージを受けたマリナー2号

一九六三年五月、ベルギー、アントワープにおける講演会に出席したアダムスキーは、二十四日個人の私邸において数名の出席者と長時間対談し、多くの質問に答えた。この記事は録音テープから収録した連載第一回分。だれも知らなかった数々の秘話が興味深い。

▲一九六二年八月二十七日深夜打ち上げられた金星探査機マリナー2号。



政府はUFOの実体を隠している

一九六一年、六二年の二度にわたって、ソ連、アメリカ、イギリス、フランスの各政府は、宇宙空間に浮かぶ一個の物体を確認した。そしてミサイルを搭載して攻撃準備をした敵ではないかと考えた。

軍は通報を受けて警戒態勢に入ったが、民間には知らされなかった。軍は宇宙空間のその物体を注意深く観察した。

ところが、しばらくしてから、この物体が静止しているように見えた。それは宇宙空間の一方所に静止していたのだ。

そこで彼らは考えた。

「宇宙空間で静止できるような物をアメリカではまだ開発していない。ソ連

がそんな物を開発したとは思えないから、ソ連のミサイルでもないだろう」それで彼らは技術者と数学者を集めて、この物体までの距離を計算させた。その結果、距離は地球から約四千八百キロあることがわかった。

だれでも知っていたことだが、当時アメリカ、ソ連、その他の国が、四千八百キロ彼方の宇宙空間に物体をじっと静止させるような技術は持ち合わせなかった。そこで政府はその物体がUFOであるという結論に達したのだ。

しかし、全軍はいつでも核ボタンを押せるように命令を受けていた。大衆はこのことを知らない。政府は大衆をパニックにおとしめたくなかったのだ。

われわれはきわめて微妙な状況にある。大衆は言う。

「なぜスペース・ピープル(異星人)はひんぱんに、多数でやって来ないのか？」

もしひんぱんに多数で来れば、大衆は異常に興奮し、恐れて、核の発射ボタンを押しかねないだろう。騒ぎがおさまってから人々は次のように言うか



▼ジョン・グレン中佐 (John Glenn)

もしれない。
「スペース・ビープルのせいでこうなったのだ」と。

※

——政府はこうした状況を把握しているのか。

「政府は知っている。だから政府はとても慎重なのだ。間違いをおこしたくないのだ。このために事件が発生した後、米ソ間にホットラインが設けられた。フルシチョフとケネディーの間だ。二人はすぐに連絡をとって事態を話しあうことができる。」

アメリカのUFO特別調査委員会の最終結論としては、未確認の部分が十パーセントあるというものだった。この数字は大きい。十パーセントが未確認だといわれているけれども、彼らが未確認というときには、それは「わからない」という意味ではなく、政府は正体を知っているのだが、それらに名前をつけたくないのだ。

UFOを撮影したジョン・グレン

たとえばジョン・グレンは宇宙船に乗って軌道を回りながら、いわゆる宇宙の「ホテル」を撮影している。

私がこの旅行に出発する頃、今から一カ月前のことだが、全国ネットのテレビ画面にカメラ(複数)が写し出されていた。それはケーブ・カナベラル基地から発射されるミサイルの急速撮影用のカメラと同型のものだということだった。

そこでこのカメラの説明をしていた男が、『ジョン・グレンがこのカメラの一台を使って撮ったフィルムをお見せしましょう』と言った。

(訳注)一九六二年二月二十日、米海兵隊のジョン・グレン中佐の乗るフレンドシップ7がケーブカナベラル基地から打ち上げられて地球を回る軌道を三周して着水した。彼は宇宙飛行中に不思議な「ホテル火(複数)」のような物を見た^{かんこう}と発表して大問題となった。この後は宇宙飛行士たちに箝口令がしかれたといわれる。

その男はフィルムに写っている物体については何も言及しなかったが、その左隅には——この写真が放映されたのは約三秒間ぐらいか、もつと短時間だったかも知れないが——完全な形をした空飛ぶ円盤が見えたのだ。しかし男は何も言わなかった。

このようなことはよくあるのだが国防省はそれらに名を付けたがらない。そしてただ「未確認」と呼ぶだけだ。

しかし私たちはそれがどこから来るのかを知っている。政府に関する限り「確認」しているのだが、大衆にとって未確認なのだ。

——UFOは高次元振動を用いるためにわれわれに見えなかったり、レーダーに現れなかったりするののか。

「いや、それは違う。このことに関してはもつと現実的な見方が必要だ。たとえば時速九百六十キロで飛んでいるジェット機を私たちは見ることができ。そして速度を上げないで同じ九百六十キロで飛んでいるのに、あつというまに見えなくなる。それを見てあなたはジェット機が振動を高めたと言うかもしれないが、それは振動のためではなく、ただ視界から消えただけのことだ。ただそれだけだ。ほとんどの円盤はそうように作動しているのだ」

——でもそれは実際に発生したことがあるのだろうか？

「いや、そんなことはない。実際はこういうことなのだ。
UFOは、いわゆるフォースフィールドを作り出している。この次に出る私の著書の中でジョン・グレンが言っているのだが、彼は宇宙船の中から雲(複数)を見ている。そしてそれらの雲の中にも光の玉のような物が見えたと言っている。」

この光の玉が円盤で、その雲はフォースフィールドが作り出したものだが、そのフォースフィールドは透明なものではなく、かなりぼんやりした、相当に密度の濃いものだ。

そういうことが実際に起こったのだ。雲の中の最も強く放射する部分が光の玉のように見えたのだ。なぜならその部分の放射線が強烈なために、その結果発生する輝きは、当然、雲が反射する光よりも強いからだ。

——そのフォースフィールドが雲のように見える理由を説明されたい。

「それが空気をイオン化するからだ。いわゆる静電気または円盤から発せられる負の放射線によって空気がイオン化されるのだ。それは加速するのではなく、逆に減速することによってイオン化する。」

水を例にあげよう。それが蒸発するとき、蒸発する状態は見えない。この理由は水が蒸発するときは速度が上がるからだ。ところが水が今日のように雨となつて落ちてくるときは、その活動を緩慢にする必要がある。そして活動が緩慢になればなるほど、それは目に見えやすくなる。

——ということ、フォースフィールドが雲を形成するときは、その振動が高まっているのではなく、どちらかというと低くなっているのだ。
——するとその雲はイオン化されて出来るのか。

「そのとおり」

—— UFOが大気圏外にいるときは何をイオン化する必要があるのか。

「大気圏外ではUFOは急速に飛ぶ雲のように動く。もしあなたが大気圏以外にいて、しかも事情がわからないとすると、急速に動く輝く雲のように見えるだろう。」

しかし宇宙空間は暗いので、円盤はその中を進行するわけだから、円盤は動く星のように見える。普通の星はそんなに動かないが——。

とにかく円盤はすごく速く動くから、船体の輪郭さえも見えない」

フォースフィールドとは何か

——その磁場はエンジン自体が作り出すのか。

「フォースフィールドというのは負の放射エネルギー帯だ。それは円盤または母船から放射され、いかなる破片やホコリの粒子、小さな隕石等さえもはじきとばす。」

だからジョン・グレンが地球を回る軌道を飛んでいるときに宇宙の「ホタル現象」を報告したとき、それらが一つとして宇宙船や窓にぶつからなかったと言っているのだ」

——彼がうまく切り抜けたのか。

「いや、違う。傷のつかない窓はない。カリフォルニア州の砂漠地帯へ行ったらでしょう。時速三十ないし五十キロの

風が吹いている。そこにはサハラ砂漠と同じような細かい砂がある。時速三十キロの風がその砂を舞い上げる。だからそのハイウエーを車で走ったならば、車のフロントガラスやボディにすぐ沢山の傷がついているのを見て運転者は仰天するだろう。」

さてグレンは時速二万八千キロで飛んでいた。これはものすごいスピードだ。たとえ粒子群が静止していたとしても、彼の乗っている船体がそれにぶちあたっていたら、それに傷がついたはずだ。しかしぶつからなかった。その宇宙船には傷一つなかったのだ」

——スペース・ピープルは、なぜ公式な形で権力者たちと接触しようとしなかったのか。

「大國政府で異星人とコンタクトしていない政府を私は知らない。皆、何らかの方法でコンタクトしている。その他の小さな国の政府との接触もあった。私の知る限りでは、現在、金星、火星などに送る目的で宇宙船を建造中の政府はすべてスペース・ピープルの援助を受けている。」

オーベルト教授の重大発言

私はある研究所に八日間いたことがある。そこには少なくとも六人の男がいたが、そのなかにオーベルト教授がいた。これは一九五四年のことだ。彼はベリー航空機会社に勤務していた。



▶ヘルマン・オーベルト (H. Oberth)

当時、このオーベルト教授も一緒だった。

(訳注) ヘルマン・オーベルトはドイツのロケット工学の権威者。物理学と数学の教授で、一九二三年に宇宙空間を航行するロケットの基礎理論を確立し、後にフォン・ブ라운らの協力で開発した円錐エンジンは、ドイツのロケット工学の進歩に重要な役割を果たした。

そのときオーベルト教授が私に言った。

『われわれだけでは、とてもこんな素晴らしい科学の進歩はとげられない。私たちはずっと援助を受けてきたんだ』

私は彼の言う意味を理解していたが、もっと彼の話を聞きたかったので、『それはどういう意味なのか』とたずねた。

すると彼は、『このことはあなたも知っておく必要がある』と言うので、『私が?』と聞くと、彼は

『いいかい、私たちはこれまで宇宙人たちに助けられてきたんだ』と語ったのだ！

パキスタンとメキシコの凄惨な事件

もう一つ面白い話がある。一九五九年、私はパキスタンのカラチに立ち寄った。飛行機の給油のためにわずか三時間しかそこにいなかったのだが、そのとき政府の役人たちがやってきて、私に挨拶した。

私たちは、今ここでこうして座っているように、ある小さなレストランの中に座って、UFO問題について語りあつた。

すると、そのうちの一人が次のように言うのだ。

『あなたがアメリカ人は、いったいどうかしたのか? 宇宙船群(UFO)はここへときどきやってきては着陸しているんだ。私たちはここで同じように彼らに(スペース・ピープルに)会っているし、共に夕食をとったり宴会さへも開いて、いろいろな話を話さえているんだ。どうしたんだ? アメリカ人も私たちがみたいによればいいのに』

これでわかるだろう。世界の到る所で、いろいろな形でスペース・ピープルとの接触が行なわれているのだ。

次にメキシコを例にあげよう。二年前に巨大な宇宙船がメキシコを訪れて

いる。その宇宙船はメキシコの航空機
のあとを一定の距離をおいて飛行し、
ついにはその航空機と並んで着陸した
んだ。そこにいたすべての人がそれを
目撃した。

これはメキシコの新聞が報じたこと
だが、だれ一人として首をかしげる者
はいなかったそうだ。

宇宙船の窓を通して、その中にいた
人々の顔も見えた。地上に四分開停止
したあと、飛び立ったということだ。

恐怖心を持たない政府は情報を公開
するだろうが、恐怖心を持つ政府は公
開しないだろう。もちろん皆さんがご
存じのように、アメリカ、イギリス、
ソ連、そしてフランスさえも、UFO
問題にかかわっている。これらは戦争
を引き起こす力を持つ国だ。そしてさ
まざまの装置を使って突きとめたスベ
ース・ピープルに関する情報を彼らは
公表しようとしていない。

しかし（別な惑星から来る）宇宙人
が世界中の政府関係者の前に立つこと
はよく知られた事実だ。ローマ法王も
これに含まれている。」

あの紙に記された文字というか絵
というか、あの解読状況と意味につい
て何か話されたい。

「そうだね、確かなことは言えないが、
ここで一つ別な話をしよう。」

三年前に書かれたある記事がある。
それは金星からある信号が送られてき
たというものだ。その記事によると、

それは知的な信号だというのだ。信号
を受信したとき、それが知的なものか
あるいは地球の大気の妨害などで通信
状態になった雑音なのかはだれにもわ
かる。

彼らはそれを金星からの知的な信号
だと表明した。アメリカ海軍もそれを
受信して解読の作業を進めていた。

率直に言う、私がここで言えるの
は、ここ六、七年のあいだ、金星と私
たちの太陽系中の別な惑星群とのあい
だに、一つか二つの形式で通信が行な
われてきたのだ。彼らは通信を交わし
ており、地球人はその信号を解析し、
その内容についてはわかつていない。こ
れ以外にも私は沢山の事柄を知ってい
る。

UFO研究の真の目的は

最近かすかすの円盤研究グループが
活動している。彼らは自分たちを円盤
研究グループと称しているが、実際の
ところ彼らは研究グループとは言えな
い。本を書いている人たちがさえ何も
していないに等しいことがある。彼ら
がみなやっていることは、ただの目撃
報告なのだ。

だがUFOを目撃する。それを
報告する。出版社がその本を出す。そ
れだけのことだ。これはUFO研究の
目的をなすものではない。それ以上の
事を行なう必要があるのだ。だから彼

らは何も得るものはない。混乱がある
だけだ。

しかし本当のところ、政府関係者は
もつと多くの真相を知っているのだ。
大学にせよ高校にせよ政府にせよ、こ
れらはUFO目撃事件に関心はないの
だ。目撃も着陸も一回あれば充分だ。

むしろ彼らに関心があるのは円盤の
推進法、乗っている人々、その人々の
知識、地球人よりもいかに進歩してい
るか、などにある。そうするとUFO
研究グループが目撃報告を毎日のよう
に流しているのと同じように、この種
の情報が毎日のように大衆へ流されな
い理由がわかるだろう。

したがって、いわゆる空飛ぶ円盤が
登場して以来、活動してきたUFO研
究グループは、ほとんど何もやってい
ないのだ。彼らがやった仕事といえば、
多くの人に関心を持たせた点にあるけ
れども、最も不幸なことは、彼らがU
FO問題に宗教を巻きこんだ点にある。
UFO問題は純粹に科学的なもので、
科学的見地から研究する必要があるの
であって、大衆全体に知らされるべき
ものだ。ある特定のグループまたは仲
間だけに伝えるべきものではない。

私たちが言えるのは、カトリックだ
ろうがプロテスタントだろうが、あな
たにせよ他人にせよ、他のだれもと同
じほどに知る権利を持っているという
ことなのだ。そして何かの特定なスロ
ーガンをかかげることによって、こう

したグループは無視されている。

したがって私たちは一つの小さなグ
ループでなしに全世界に状況を伝える
必要があるのだ。

もし、あるUFOグループが研究を
するグループであるのなら、各科学研
究所が研究しているのと同じようなや
り方で研究をやるほうがよいだろう。

何か不明確な物事があつて、しかも
研究所のようなものがあれば、そこで
証明してもらえ。ほとんどの政府は
自国の科学研究所でそんなふうにし
ているのだ。

心霊とは関係なし

研究所では、『だれかがそう言った』
『それを証明した』というだけで無視す
るようなことはしない。今アメリカに
はそのような団体があり、研究装置が
必要のために多くの金を使っている。
それで私たちにサービスがあるのだ
が、それは人々にも向けられている。
多くの混乱をまき散らすようなことは
しないのだ。そしていかなる宗教とも
関係は持っていない。

この数年間、霊媒、心霊家などが、
メッセージと称するものを流している
けれども、これは関係ない。

情報によって益を得ようとする人た
ちは、霊媒を通じてメッセージを流す
ようなグループの声に耳を傾けようと
もしない。霊媒は神秘性を望むが、そ

れが仕事なのだ。しかし人々はこの声に耳を傾けてはいけない。霊媒のメッセージなるものに、これまで大きなトラブルがあったのだ。

(訳注) アダムスキー存命当時、多数の心霊的なUFO研究団体が存在し、霊媒を通じて宇宙人のメッセージなるものを流していた。ここはそのことに言及したもの)

こんなこととは別に、各種の政府関係や研究所、大学またはカレッジが、科学的な角度からUFO問題に入っていた。そこにこそ真実の情報が存在するのだ。

私はアメリカのあちこちの大学で講演をしてきたが、彼らはあらゆる源泉から出る情報に全く飢えていた。彼らは何か相当な事が発生していることを知っているのだ、それであれこれと質問をする。当然のことながら教授先生方はそれに答えることができる必要がある。もし先生が解答を持たねば学生たちは別な所へ解答を求めに行く。

私は教授先生方にも講演を行なった。彼らは何が発生しているかをよく知っており、学生たちに答えられるようになるために解答を知りたがっていた。学生も知る権利を持っているからだ。学生の生活は未来そのものなのだ。

あらゆる物がエレクトロニクス化され、宇宙飛行はこんにちの航空機と同様に日常的なものになるだろう。そして学生たちはついには宇宙船を建造す

るようになるだろう。だから学生たちは今すぐ知る必要があるのだ。

以上が、政府その他の一流研究機関に関する限り、プログラムに組み入れるべき細目の一部だ。学生たちはその分野に非常な関心があるのだ。

しかしこれまでに活動してきた一般のUFO研究グループ類は、UFO問題をオカルト、心霊、神秘主義、その他の無価値な物事でもってごた混ぜにしていた

——事実を調べるのにはどうすれば可能か。

「何かの方法を用いてテストすることが出来ない場合、それが事実であるということをどのようにして知ることが出来るだろうか？ 推論は基本的な法則の一つだ。理由とか、何かにあてはまることを探究するための推論だ。というのは私たちはあいだに谷間を残しながら一つの山から別な山へ飛んで行くことはできないからだ。私たちは着実な進歩の連続によって前進してゆく。あなたはこの世で狭い心を持つてはいけない。広い心を持つべきだ。また物事の一面面だけに對して狭い心を持つてはいけない。問題の両側面を調べるような心を持つて、しかもそれを中庸に保つのだ。そうすると何かがわかってくる。

われわれの教師のほとんどは、一定の教職にあり、まっしぐらに一直線に進んで行く。しかし私たちはすでに長

いあいだ教科書をおき忘れていることを知っている。過去五年間に私たちは以前ならば二百年もかかるような事をなしとげている。したがって私たちはあまりに急速に進歩したので、教科書のほとんどはすでに消滅してしまい、残っているのは原理だけだ。古い教科書の内容ではこれまで考えられなかったのだ。

私たちはアメリカでそのことを知ってきた。コロンビアン鉄鋼会社が二年前に明らかにした。次のように言っている。

『われわれはこれまでに光のスピードが秒速十八万六千マイルあると教えられてきた。そして光より速い物はない物があることをわれわれは知っている。なぜなら光は他の何かの副産物であるからだ。光はただやってくるのではなく、何かがそれを作り出すのだ。』

そこでわれわれが研究をして、一平方センチあたり千二百本の磁力線が流れていることを発見した。この磁力線は光速以上のスピードで進行している。『こんなことはこんにちの教科書には書いてないことだ』

——あなたは戦争について話された。スペース・ピープルは戦争を避けると思うか。

「私はその考えを保ち続けよう。この問題はおしまいにする。というのはわれわれは一点から別な点へ飛躍するこ

とになるからだ。それは混乱を起こすことになる。

われわれは磁力線がものすごいスピードで進行することを知っている。磁力線は他の何かの副産物だ。その「他の何か」が何であるかは私たちにはわからないが、それは結果的に生み出された物よりも速いにちがいない。なぜならこのような磁力線などはすべて結果としての産物であるからだ。

黒い太陽

最近、数名の天文学者が出てきて、太陽は実際には黒いのだと主張した。たぶんそのことをあなたは聞いたことだろう。さもなければ青色だ。

われわれにはそのようには見えない。それが当然だ。というのは太陽はいわゆる大気を持つているのだが、それは太陽独特の大気だ。それから光が空間をつらぬいてやってくる。地球には周囲に大気があるので、光はそれをつらぬく必要がある。そうなるとこれは同じ事とは言えなくなる。それは異質な事であって、光は屈折によって変化するのだ」

——太陽が一種の火の玉だという現在の学説を、あなたは信ずるか。

「むしろ次のように言おう。数年前、ユリーイ博士が地球の研究に関連して声明を出した。地球はその中心の核に約八万五千ポンドの鉄をためこんでいる



「ハロルド・ユリー (Harold Urey)」

というのだ。もしこのことが千年かそれ以上も続くならば、地球は太陽系の第二の太陽になるだろう。なぜなら、そうなる地球は巨大な鉄の玉になるだけで、その本体から原子放射線を出すだろう。この放射線は何かによつくと、太陽が輝くように、やはり輝くだろう。両側のこの大気状態の反射のために、放射線が輝くというのは論理的なことだ。

(訳注) ハロルド・C・ユリー博士は一九八一年没のアメリカの化学者。重水素の分光学的確認と分離により一九三四年度ノーベル化学賞を受賞。天体の成因に関する研究も行ない、米UFO研究界ではよく引き合いに出されていた)

すでに五年前だが、アメリカにはいわゆるブラックライトというのがあった。特殊な懐中電灯を手にとって、その光を壁に投げかけると、光のスジは見え、まっ暗なままで、そのスジが何かに当たると、そこが明るく輝くのだ。

だ。これはちょうど太陽が輝くのと同じことだ。樹木に放射線が当たるときも同じで、草に当たっても同じことだ。しかしそこに鏡をおいて光を反射させると、集中とはね返りの増強のために、輝きが増す。ここでも同じ事が起こるのだ。光を放射させるとそれは見えないが、何かに当たると対象物が鏡の役目をして反射するのだ。

私たちは太陽は黒かまたは濃青色であつて光つてはいないのだと言つてゐるのだから、その放射線も同じことをやつてゐるのだ。その放射線は何かによつかる必要があるのだ。

だから宇宙空間はいつも暗いのだ。太陽が光体と思われてゐると、人間が太陽の方向に進行し続けるならば、宇宙空間は特に明るくなるはずだが、実際はそうではなくて暗いのだ。

以上の事が意味するのは、太陽の放射線が空間を進行してきて、何かにぶつかると、それが抵抗の役目をして、そこで放射線が光るのだ。それまでは光つてゐない。もし空間にホタルのような小物体または宇宙船などがあれば、放射線がそれにぶつかつてそれを輝かせる。宇宙空間を動いてゐる星または輝く粒子なども同様だ。それは反射器の作用をするのだ。

——あなたは太陽は一種のエーテル的なパワー体であるという説に傾いてゐるらしいが——。

「それはあなたがどのように意味する

かによる。神秘主義者はエーテル的なパワーを用ゐるが、それは誤用されてゐる。エーテル・パワーは宗教的なものではないのだが、しかし神秘主義者はそれを応用して大衆を混乱させてゐる。実際問題として電波は放送局からやつてくるが(ここで話は中断)」

根源的な不可視の実体

——エーテル体について、もつと説明できるか。

「万物は人間が見るよりもつと精妙で、それが人間の目に見える物を作りだしてゐる」だけど、ここでエーテルというものを明らかにしよう。

あなたがテレビまたはラジオにスイッチを入れたら、放送局から来るメッセージはエーテル波に乗つてやつて来る。この場合のエーテル波はある特殊な波動または特殊なラインだ。これはいわば不可視なラインで、それに乗つてメッセージが進行するのだ。

音楽もこれに似てゐる。ピアノという楽器には多くの鍵がついてゐる。それだけのことなら何も意味をなさない一つのカタマツた集積物を持つことになる。しかしあなたがピアノの演奏法を心得てゐるならば、あらゆる音を出す鍵を組み合わせて美しいメロディーを奏でることが出来る。

各鍵はそれ自体の周波数、それ自体の音を持つてゐるから、それを組み合

わせて演奏する方法を知らねばならぬ。

エーテル波もこれと同じだ。これも他の物と同じように実在するものだ。

(訳注) アダムスキーの言うエーテル波と言うのは、物理学で否定されてゐるエーテル波とは別なものを意味するらしい。単極磁気か?)

——あなたはオーソン・ウェルズが書いた『宇宙戦争』という本をご存知であらう。ウェルズはどのようにして火星に生物がいることを知つたのか。

(訳注) ウェルズはアメリカの映画俳優、脚本家、監督として有名であつた。一九三七年、SFドラマ『宇宙戦争』を自作自演によりラジオで放送したとき、蟬のような体をした火星人がアメリカへ着陸して侵略を開始したというドラマを本物のニュースと勘違いした多数のアメリカ人のあいだにパニックが起こり、自殺者や発狂者まで出た)

「大昔、金星人がこの地球に住んでゐたことがある。それから木星人が地球へ来て金星人を打倒し、金星人の寺院やその他の物を破壊した。そしてその上に木星人の寺院を建てたのだ」これが遠い大昔の宇宙戦争にたいして私が持つてゐる唯一の知識だ。

書かれた記録のすべてはすでに消滅した。発掘が行なわれるにつれて長いあいだ埋もれてゐた古代の都市などが発見されてゐる。

カリフォルニア州では一九四五年頃

一つの洞窟が発見された。これは洞窟であることがわかる。大きな丸い石が落ちて入口をふさいでいたからだ。

人々の中へ入ってから二メートル七センチも身長のある男女の骸骨を発見した。そのことは大昔この地球上に巨人族がいたことも証明している。

私が現代の宇宙戦争について語るとき、オーソン・ウェルズと同じタイプの戦争のことを言っているのではない。私が知る限り、太陽系のすべての惑星は宇宙船を持っている。宇宙船を持たないのは地球だけだ。

宇宙の人間はみな同じ姿

——あなたは水星に人間がいることを本気で言おうとするのか。

「無数の太陽系のなかに人間が全くない場所というものを私は知らない。別な惑星にいる人類は、あなたや私と同じような人間だ。そして同じような姿をしている。違う体型ではない。私が地球上のアフリカ、アメリカ、スカンディナヴィアその他のどんな国へ行こうとも、同じ体型の人間に出会うが、それと同じだ。

表情、習慣、身長、大きさは違うが、体型は同じだ。よそでは体型が違うという理由が私にはわからない。樹木や植物などにしても同じことだ。私は宗教的な人々が用いるような言葉で話したくないものだから、この言葉を用い

るのだ。

金星の温度は二七情報

マリナー2号が金星へ打ち上げられたとき、二千五百六十キロの所で観測装置に故障が起こって連絡がとれなくなった。地上から関係者が直す必要があったが、それは全くの奇跡だった。関係者は修理をし、二週間ほどの中断の後、探査機は通信を再開した。

(訳注)一九六二年八月二十七日、米航空宇宙局は金星探査機マリナー2号を打ち上げた。マリナー1号は失敗したがこれは順調に飛行し、十二月十四日に金星から三万四千八百キロで近傍通過する軌道に乗るのに成功した)

マリナー2号は金星の温度を華氏八百度と記録した。この公表がなされたとき、あなたはそれが本当だと思ったか？それが真実だとすれば、なぜ米政府は人間の乗り組んだ金星探査機のために百四十億ドルの金を出すのか？もし人間の血液が沸騰するほどに金星が熱いのならば、なぜ人間をそこへ行かせるのか？それなのにアメリカはそれをやろうとして計画しており、莫大な金を使おうとしているのだ。

金星から三万四千八百キロの所で探査機は金星の雲に突入することなしに行ってしまった。雲というものは地球と同様、どこでも同じものだ。それは空気よりも冷たい。もし探査機が金星

の雲に突入していたら、金星の地表と雲の間の位置から金星の状態を記録できただろう。だが、それはやっていない。

三万四千八百キロの彼方から金星の地表などを観測記録することはまず無理だ。しかも装置類は完全なものではなかった。だから、だれかが二七の情報を流したのだ！だが大衆は推理する方法を知らないために、その情報を受け入れている。政府はそれを利用した。ある教授が言うように、大衆はそんな問題で考えようとはしないのだ。

マリナー2号の話に返ろう。それよりちょうど二年前——私はその関係文書のすべてを持っているのだが——アメリカはカプセルを積まない気球を高度三万一千五百メートルの高空に打ち上げた。その気球には六インチ望遠鏡が搭載しており、地球の大気の干渉なしに初めて金星の写真を撮影した。

その結果は立派に公表された。金星は地球よりも水が多いというのだ。それで一流の教授の一人が声明を出した。いまその名前が思い出せないが、私の最後の書物に出てくる。それは次のとおりだ。

『われわれが金星へ到着したとき、全体がフロリダ州のように思えるだろう』

これが金星の気候なのだ。
(訳注)右の声明は全米科学促進協会の一委員から出た言葉として当時の日本の新聞にも掲載された)

金星から知的メッセージを受けていたマリナー2号

しかしマリナー2号の情報(金星は華氏八百度あるという情報)を得たとき、関係者は否定しなかった。

しかし彼らは金星探査で得た知的なメッセージについては隠している。彼らは金星からマリナー2号に直接与えられた「知的メッセージ」を確かに持っているのだ！

——その内容はどんなものか。
「いや、それは言えない。だがそれはマリナー2号から管制センターへ送り返された知的なメッセージだった。政府がそれを公開するまでには長年月を要するだろう。年月をかけて大衆の中にその問題を溶け込ませ、大衆をその方向に生長させる必要があるのだ。

自動車が出現したとき老人たちはそれを恐れたが、自動車は街路から馬を追っばらい、馬は逃げた。大衆が自動車に慣れるには時間がかかっている。今、大衆は自動車を欲しがっている。車に溶け込んでくると今度はなるべく早く走らせようとする。

オーソン・ウェルズが火星人襲来のドラマを流したとき、数千人の人が自殺したのを知っている人はあまりいない。これと同じことを現代に望む人はいないだろう。多数の人が別な惑星に関しても知らず、信じようとしな



▲マリナー10号が撮影した金星。

言えどんことなるかノ」

——あなた以外に円盤や母船に乗せられて宇宙旅行をした人がいるか。

「ああ、いるとも。私は七人ほど知っている。私が確認できる人は七人だと確かに言える。これ以外の人たちが書いたコンタクトのレポートが沢山出版されたが、彼らは日和見主義者で、その分野から金を儲けているのだ。あなたは私が儲けているというかもしれないが、そんなことはない。私には今一万九千ドルの借金があり、それを払わねばならない苦境にあるのだ。」

書物というものは何冊書いてもお金にはならない。私の最初の著書（空飛ぶ円盤は着陸した）は全くお金にならなかった。共著者のデスモンド・レスリーがその書の大部分を書いているから、当然のことながら彼が大部分の分け前をもらう。二度目の書物（宇宙船の内部）はかなり良かったが、六カ月間に一万通の手紙が来た。一通の手紙に平均五セントから五十セントの切手を貼って、そのどれにも手紙を出すということになれば、莫大な金がかかる。私はあらゆる手紙に返事を出しているし、しかも食ってゆかねばならない。私が講演などをやって収入がなければ乞食になってしまうだろう。ところが一方では『円盤に乗せてやる』とか、『地球で大変動が発生したら宇宙船で大気圏外へつれて行って助けてやる』などと言って切符を売ったりする者も

あり、愚かな人がそれを買っている」

——地獄の沙汰も金次第というわけか。「そうだ、金次第だ。広い席に座れるか、それとも優先的に予約できるのだ。こんなことはいつもずっと行なわれてきた」

——あなたは宇宙旅行で実際に別な惑星へ降り立ったのか。

「そう、降りた」

——そこであなたが見た物事について簡単に説明してくれないか。

「そうだね、そこはたとえば私がデンマークに降りたときと変わらない。ただしそこにはいろいろな異なる習慣がある。」

だが別な惑星の人々はみなうんと知的で、しかもあたたかい人間の社会であって、見知らぬ人たちの冷い社会ではない」

——家などはあるのか。

「ある。ただし非常に異なるデザインの家だ。これは地球上各地で異なるデザインの家がいろいろあるのと同じだ。別の惑星には家庭があり、子供たちもいる。その点、われわれ地球人と変わらないが、違っているのは彼らのはるかに進歩しており、はるかに知的であるという点だ」

——その世界の環境にわれわれが慣れるのはむづかしいか。

「そんなことはない。だれでも慣れるだろう。私がこちらへ来てから寒さに慣れたのと同じことだ」（以下次号）

The Only Japanese Man Who Met Adamski
by Yutaka Mukai

アダムスキーに会った 唯一の日本人 (2)

向井 裕 (ポール大観)

求道と愛と感動にみちたアダムスキー宛長文書簡

はじめに

「多くの読者からの感想としまして、一〇五号のあなたの記事『アダムスキーに会った唯一の日本人』が最も面白かったという声が各方面からありました」との久保田先生からのお手紙を戴き、ポールもう死んでもいいと思うくらい感激でございます。それに立派な上品な完璧な編集に、会長先生のこの道に捧げる真剣さが伝わって参ります。有難うございます。お送りいただいた一〇五号五冊は教えずたちに回覧しまして、よろこばれております。

さてお約束のアダムスキーとの一問一答を思い出す前に、順序としまして、アダムスキーから招待状をもらうために私が書き送った手紙の内容をまず思い出し、ご披露させていただきます。

*

*

アダムスキーへの手紙

敬愛するアダムスキー様へ

一九六四年六月四日

(大好きだった長兄の命日)

プロフェッサー・ポール向井より

あなたの国アメリカと日本が不幸な戦争をしていたころ、私は陸軍の職業軍人を夢見て六年間軍隊の学生でした。あなたも昔、五年間騎兵隊に居られたそうですね。日本が敗戦のときまで、大部分の日本人は日本が勝っていると思ひ込まれていました。いわゆる大本営発表によって情報が統制されていたからです。竹槍でアメリカの爆撃機B29を打ち落とせると信じ込まされていました。

日本が勝っていたらニューヨークへ上陸しなければならぬのに、逆に日本が毎日空襲を受けたのです。東京空

襲でグラマン艦載機が私たちの頭すれすれに飛んできて、みんな穴に逃げるだけ。私は誰もいなくなった重機関銃座に走りより、グラマン機めがけて三十発乱射しました。もちろん当たりません。とたんにこわくなり、私もやはり穴に逃げこみました。

ヒロシマ、ナガサキに原爆が落とされて一九四五年八月十五日、天皇の敗戦宣言が出ます。それをラジオで聞かされたとき、直立不動の姿勢で立ったままの私は、急にへなへなと地べたに座り込んでしまいました。十四歳のときから神国日本で洗脳されていた私は、私ひとりになってもタコツボ式穴の中に入って戦い抜こうと思っていたのに、日本は降参したのです。くやしきのショックで腰が抜けてしまったのです。

復員して帰った故郷も焼け野が原でした。そのとき私はアメリカに対する仇討ちを考えていました。私の友だちの一人は腹を切って死に果てました。私は切ると痛いので生きています。切腹の作法は習って知っていましたが、切腹の勇気が出なかったのです。

兄たちとの死別と求道の人生へ

敗戦日本はあまりにも貧困でした。仇討ちどころではありません。私の家族も同様に、食べるものと何もありません。サツマイモの葉もクキもつる

も食べました。その上、私の家族は病気がたたかわねばなりません。大好きだった長兄の病名はケツカクでした。二十九歳の若さで死別しました。次兄も三十三歳でケツカクで死にます。そして兄嫁もケツカクでこの世を去ります、四人の子供を残して。

大好きだった長兄が死んだという電報を受けとった六月四日、私は故郷へ帰ることは出来ませんでした。なぜなら、丁度、私が軍隊の監獄(重営倉)に入れられた日でしたから(筆者注：投獄の物語は長くなるので省略します)。十八歳のときのこの体験は、出獄してから軍隊社会の『冷たい白い眼』の経験として、しばらくひきつがれます。自分自身のひがみから周囲の人達の眼が白く冷たく見えるのでした。

このときから私は落伍者の道を、裏街道を歩みはじめたようです。逆にいえば、何かを求める求道の入口に居たのかも知れません。ですから敗戦後は兄たちの病気のモトのモトを探りはじめたのです。

夢に現れた長兄の助言で
大学入試に合格

アメリカ占領下の日本にあつては、当然英語を勉強しなければなりません。大学受験のために私も英語を勉強しはじめました。しかし中学で二年しか英語は習っていません。あとはドイツ語三年、中国語一年、ロシア語一年。全

部中途半端。

そんなとき、大好きだった死んだ長兄が夢に現れます。私の名を呼び、「ドイツ語をやれ」というではありませんか。英語で受験する方針をドイツ語に切り替えます。が、ドイツ語の本も辞書もない。探します。医者から借りることが出来ました。この英語ばやりの時にドイツ語とは、スパイではと疑われたこともあり。結果的にはドイツ語で受験した者はごく少数だったため、全員合格でした。英語受験の人の大部分は落とされました。大好きだった長兄が守ってくれたものと、兄に感謝せずにはおられません。今でも私は夢と現実の境目を知りません。夢も現実も同じものだと思っております。

学生時代の治療行為と 食生活の探究

陸軍士官学校の教育は最高のものと思ひ込まれていた私は、シャバの大学を馬鹿にする高慢さも手伝って、大学の入学式の日、大学へはいかず、京都で、てのひらの治療に入門します。三日間の講習を終えたとき、私は世界中の医者の誰よりも自分が有能な医者になったと単純に思い込んでいました。

大学のことなど忘れて故郷へ帰り、患者の治療に当たります。病院へ行き、入院患者を無理矢理退院させ、治療に専念します。めくらへびにおじずの私は、病気はいいことだといひます。自

然の浄化作用が病気だから、捨てておけば必ず病気は治る。退院すれば治る。苦しきや熱は、手のひらで和らげるこ

とが出来る。手を当てること、すなわち手当てだ。そういいながら百人の患者を手のひらの手当てで治していきま

す。私自身が百パーセント信じ込んで

いるから、どんどん治っていきます。

しかし三カ月後、はじめて患者の死に逢います。大きな疑問が湧いてきま

す。病気のモトが毒素にあるから、その毒素を浄化する自然の作用が病気な

ら、捨てておけばいい筈。だが、浄化負けて死ぬ。浄化負けのメカニズムがわからない。毒素のモトがわからない。駄目だ。なやみはじめたとき、次々と患者の死の知らせを受けます。完全に中止。そんなとき、毒素のモトは食生活、食物の陰陽のカタヨリにある、と

唯物的に。

大学の講義を受けずに卒業

その当時の日本の大学は自由でした。大学の講義を全く受けずに、卒業試験

の十八課目の論文すべてを、「人間の法律のモトは自然の法則にある。宇宙の秩序、陰陽だ。食物の陰陽だ」と書き

なぐりました。十八科目のうち、十一科目は六十点の合格。一科目は最高

点。そして六科目は零点でした。零点の六科目だけ講義に出ました。チ

ンブンカンブンでわかりません。受講をやめて講義録プリントを買

ました。なおさらわかりません。何でもいから三枚だけ抜いて残りを捨てました。各科目三枚だけのプリントを丸暗記して、六十点もらい、めでたく卒業したものの、就職などできる筈もありません。故郷に帰って『でも先生』になりました。

教え子とかけ落ち

私より年上の生徒がいる高校の夜間

部の授業が始まるのです。第一時限目の授業、社会科。食物の陰陽しか知らない私は、ガタガタ足が震えるのです。

軍隊時代の先輩の話がよみがえってきます。十八歳のときの軍隊の投獄のときから、戦争で死にたくない、死ぬのがこわいと思ひ始めていた私は、先輩

の人におそるおそる尋ねます。

「敵陣へ向かって突撃するとき、先輩はこわくなかったのですか」。

先輩は私が投獄されたことを知っている人だったから、笑顔で、しかし真剣に静かに答えてくれました。

「軍刀を抜いて、つっこめえ」と叫び、先頭に立って走るとき、正直いってガタガタ足が震えるのですよ、誰でも例外なしに。それでも走らなければなら

ないのですよ」

この短い言葉に私は満足でした。そうでしたか。私は安心するのです。第一時限目の授業、人が新しい何かに向かうとき、みんな足をガタガタ震わせているのだ。授業は終わりました。

夜間部の生徒（大人たち）とは、酒も飲め、朝まで語り明かすことも出来『でも先生』のスタートは楽しいものになりました。大本営発表の後遺症から教科書を極端に嫌う私でした。自分でガリバンを切ってプリントにして生徒

たちに配りました。そして、食物の陰陽、宇宙の移序、自然の法則、人間の法律のモトをしやべりまくりました。社会科の時間に料理の実習もしました。野草の油炊めでした。プリントはとうとう公開ラブレターのガリ版ずり

浜日吉の桜沢如一の家へ教え子の女生徒と転がりこみます。いわば婚前旅行でした。

神の一大奇跡が発生！

復職して結婚。また陰陽、食物の話をはじめます。病氣治しの宣伝が行きとどいて、教え子たちは患者を連れて来ます。繁井君が、ポリオ（セキズイ性小児マヒ）を治してくれといってくる。宣伝の手前、いやとはいえないが、ポリオ治しは初めてのこと、緊張する。妻は当然反対します。

私は、親などの付き添いの人はことわり、五歳の坊や、山下雄二君ひとりを用意します。といっても妻が主として面倒を見なければならぬ。一週間だけ目をつぶってくれと妻にたのみます。一日目、二日目、坊やは何も食べません。水さえ坊やに飲ませません。びいびい泣いてばかりの坊やも、三日目には流す涙もなくなっています。マヒした右足をひきずって、お茶碗カゴの中に伏せてある茶碗を持ち上げ、茶碗についている一滴の水でもなめようとする坊やを、コラツと叱りつけます。茶碗をもとのところに置いて、坊やは叫びました。

「おっちゃん、お腹すいたよ！」「よし、食べるか」といって、玄米おにぎりを差し出す。生まれてはじめて見る、おかずなしのこの黒いおにぎりを

ばくつきます。「おっちゃん。おいしいわ」という。いくらでも食べていいよ」「うん、おいしい」

何だっておいしい筈だ。三日間も食べていないのだから。まさにサリパン夫人がいう通り、「空腹が最高のコック」なのです。

四日目の朝が来ました。たくさん玄米おにぎりを食べてくれる坊やに、早く足が動いてくれよと声をかけ、足をさすってあげる。手を当てるだけの手当てもします。しかし、妻は、もう坊やを家へ帰そうといひ出す。治らないのはまだいいとして、取り返しつかない、死ぬことにでもなったら、と心配しはじめます。

まだ一週間の期限まで日数はある。きつと治ると、自分自身にいきかせ私だった。神とは何か知らないけれど、その神に祈るだけしかない。

五日目の朝が、重々しい朝が明けます。坊やは早、目を覚まして座っている。そして叫びました。「おっちゃん！ 足動いてるッ！」「へえー？」と坊やのところへにじり寄ります。マヒしたままの坊やの右足の指先が動いているではありませんか。「よかった」妻が始めて笑った。「ほんとに動いた」「もつと動かし」

坊やは得意気に足の指先を動かさせて見せる。教え子達が見に来た。「ほんとに動いてる！」「スゴイ、先生！ ノーベル賞もらえるで」と口々に叫ぶ。

三日三晩の断食断水に坊やはよく耐えてくれた。神は居た！ 奇跡を起こしてくれた。ありがとうカアちゃん。

六日目の朝、今度は坊やの右足の関節まで大きく曲げられるようになった。みんな有難う。歩行練習開始である。

七日目、期限ぎりぎり、親が迎えに来る。一九五一年五月二十一日。坊や達と記念写真を撮る（筆者注Ⅱ写真前列中央が筆者。左が坊や。その左が坊やの父親。筆者の右が妻。そして祝福してくれた教え子たちの皆様）。

アダムスキー様。このとき私は神を見たような気がします。あなたのいう通り「地球人の神は遠い場所にいるのではなく、近くの万象の中に、人間自身の内部にいる」（筆者注Ⅱ改訳「宇宙からの訪問者」久保田八郎訳二七九頁以下引用頁数は同書による）。

あなたも叫んでいますね。「私は自分の考えを大声で口に出したいような気がする。一つだ。すべてが一つなのだ。どこもかしこも。分離はない！」と。

（同書二五三頁）

私も叫びたい。「坊やは神だった。玄米も神だ。お茶碗の水も神だ。繁井君（坊やをつれて来た人）も神だ。教え子たちも神だ。妻も神だ（お神さんだ）。ついでにオレも神だ。みんな一つだ」と。

このポリオ治療の成功から十年あまりがたちました。私の食物、生物学の研究は自然医学としてまとまってきた。

す。あなたの国の自然医学者三百人に論文をプリントして送りました。この論文の最後には「一週間以内にポリオが治せなかったら、千ドル罰金を払いましょう」と結びました。あなたの国の四人の自然医学者から招待状が来ています。でも私は一年間滞在希望でしただからビザが出ないままです（筆者注Ⅱその後まもなくして、アメリカでソークワクチンが開発され、ポリオにかかる人はほとんどいなくなりました）。

異星人の素晴らしい食生活

あなたの本の久保田八郎訳を、私は自然医学、食物学の立場から読みました。そして驚きました。オーソン等の食物の教えは、私たちの正しい食物、正食と完全に一致したからです。

レストランで「ファークンはメニューを見て、ピーナッツバターつき黒パンのサンドイッチとブラックコーヒーそれにアップルパイ一個を注文した。私も同じものを注文した（同書一七三頁）」とあるではありませんか。これは私たちの正しい食物の選び方から見れば、抜群の正しさを示しているのです。

「非常に粗いまつ黒なパンの小さな塊と、初めは肉だと思ったものを一切れ受けとった。パンには黄金色の皮がついていて、主としてクルミで作ったかのような味がしたが、穀類の味も含



▲セクスイ性小児マヒが奇跡的に治った坊やと筆者（前列中央）。

んでいるのがわかった。こげ茶色の「肉」の切れを噛みながら、内心、その味を上手に料理されたビーフにたとえてみると、それは植物の乾燥根だと説明された。『故郷の金星では、なまの植物を料理します。すると、もつという味になるのですが、宇宙旅行中は乾燥したものを運ぶのです。それは肉の中にあるすべての蛋白質を含んでいますし、人体に吸収されやすいので、特に栄養価が高いのです。その根一切れは、地球のステーキの一ポンドに相当します。また他の食物のステキな調味料にもなります』（同書二七〇頁）」とあるところを読んだとき、あなたをホンモノのコンタクトマンだと、私は確信を得たのでした。お手紙を差し上げ、あなたにお目にかかりたいという気持が毎日大きくなるばかりです。

「私たちは食物のほとんどを『生きている』状態で食べることを好みます。そして私たちの惑星に豊富にあるおいしい果物や野菜などをおもに食べています。あらゆる点で私たちはいわゆる『菜食主義者』ですが、まさかの場合には、ほかに食料が得られないときは肉も食べます（同書一八〇頁）」とあるところも、私たち桜沢如一（ノーベル物理学賞のアレキシス・カレル著『人間この未知なるもの』の訳者・角川文庫）の提唱する正食、身上不二の原則と、寸分違わない結論と全く同一のものです。桜沢如一は、あなたの国で受け入れら

れ、宇宙の秩序や陰陽という言葉も普及し、玄米食でさえ、あなたの国の人々によるこばれていきます。

しかし先進異星人の食物観は、それこそ宇宙的ですし、オープンマインドに驚くばかりです。まさかの場合は肉も食べます、というところは、とても好感がもてます。これはスバラシイことです。スゴイことです。正食の専門家の私が、あなたから、異星人から正食を教えられています。うれしいことです。ありがとうございます。

病気のモト「よどみ」の発見

あなたに絶対にお逢いしなければならぬと決心させたのは、次の言葉と出逢ったからです。

「海の底深いところや水面では、絶え間のない活動が行なわれているために、海はいつまでも生き続けますが、内部の活動が停止している池は、かつての清純な水をゆつくりと濁らせる多量の外来物によって古くなってゆきます。

いわゆる「よどみ」が起こったのです。

肉体の病気と崩壊はこれとほぼ同じ過程から生じます。地球人は自然の法則によって生きることが知らないために、個人的「よどみ」を起こすのです。時折、地球でも平均年齢よりもはるかに長寿を保ちながら若々しい印象を与える人がありますが、それは並外れた精神活動、関心、熱心さなどの特質を

保つ能力によるものです」と。

この「よどみ」の発見こそ、地球人から病気をなくし、先進異星人に仲間入り出来る地球人の第一歩になるものです。ゼツタイにそうです。右の言葉にふれたとき、私の全身に電気が走りました。あなたに絶対お会いしなければならぬのです。

ラジオ体操とケツカク菌

私の父、向井芳太郎は高松市内の小学校の校長を十七年勤めた人でした。真面目だけがとりえの人でした。香川大学付属小学校の入学試験に落第した私は、父の小学校へ通うハメになりました。おかげで、校長の息子というので、先生方にチャホヤされます。

しかし、父は家では厳格でした。泣き虫の私は、冬の寒い朝、ハダカで外へほうり出されたり、押し入れに泣きやむまで閉じこめられたりしました。兄二人と姉一人を持つ私は末っ児の甘えん坊でした。男兄弟三人いるとケンカが絶えません。次兄は腕力が強く、私を泣かせて喜ぶ毎日がつづきます。私は長兄に助けを求めます。いきおい長兄と仲よくなり大好きになります。長兄にくっついていないと、必ず次兄にたたかれて泣かされるからです。その大好きだった長兄がケツカクにかかります。父は必死になって私を鍛えようとしめます。病弱な私に朝な夕な

ラジオ体操を強制します。いつまでもスポーツ嫌いなのは、父からラジオ体操以外を禁止されていたからでした。

兄二人がケツカクになってから、私はケツカク菌をおそれました。ケツカク菌がこわかった。ケツカク菌は日当たりのいいところでは弱いと聞かされた日から、私は日蔭では息を止めて歩きました。ケツカク菌を日蔭で吸い込んではいけなかつたからです。長い距離でも息を止めて走って、日当たりのいいところへ出て、ハアハア息をする私でした。

それほど神経質な青白い顔をした私が十四歳のとき志願して軍隊へ入ります。身体検査では要注意の印を押されました。軍隊生活の六年間で鍛えられやっとな一人前の体になったようです。そして今ごろになって、病気のモトが「よどみ」にあると思えるようになったばかりの私に、あなたの訳本の「よどみ」が、どんなに私を感激させたか、お察しください。

病原菌説批判

ご承知のとおり、コッホは百年前にコレラ菌を発見して今日の西洋医学の一つの柱「病原菌説」を確立しました。しかし、これには次のエピソードがあることをあなたは聞かれたことと思います。コッホに反対するベッテンコーヘルの弟子は、コレラ菌を飲んでもコ

レラにかからないことを生体実験によって証明するため、コレラ菌を飲んだのです。おそらく、その当時は純粋なコレラ菌を分離することは不可能でしたから、その弟子はコレラ菌の培養液と一緒にコレラ菌を飲んだのです。彼はコレラにかかって死にました。実験は失敗に終わりました。勝ち誇ったコッホは西洋医学の主流に君臨するのでした。私は敗けたベッテンコーヘルを支持するものです。

コレラという病気のモトはコレラ菌ではなくて、コレラ菌培養液がコレラ菌を繁殖させ、コレラのモトとなるのです。この培養液こそ、あなたのいう人間の体内の「よどみ」、余分なもの、日本の貝原益軒「養生訓」の宿食なのです。今でも私の体は、あなたの「よどみ」を知って高周波振動により震えています。決して貪欲ゆすりではありません。

タコを上げて雷をつかまえたベンジヤミン・フランクリンは、自伝の中でこう言っています。「イギリスでは、二百年前（注11今から四百年前）にはカゼをひく人はいませんでした。カゼのモトは食べすぎ飲みすぎ、そしてなまけすぎなのです」と。カゼのモトをフランクリンは決してウィルスにあるのではなく、体内の「よどみ」にあると断言しているのです。フランクリンは惑星文明に一步近づいた人だったのですね。

日本でも、医学、生物学界に少数派の偉大な学者がいます。岐阜大学の千島喜久男教授（筆者注12故人）と東京医科歯科大学の森下敬一教授（筆者注13当時助教授）の二人です。彼等は体内の「よどみ」を研究していくうちに、断食によってガン細胞が正常細胞に逆もどりする様子を電子顕微鏡でフィルム撮影に成功しました。これを名付けて可逆反応といっています。

聖書と断食

「悪霊にとりつかれた病氣（例えばガン等）を治すには、断食によるしか方法はない」と聖書にあるのを御存知でしょう。体内の食べすぎによる「よどみ」の解消法は、食べすぎないこと、そして最も近道は断食にあるとするのは合理的な考えです。

キリストもシヤカも四十日四十夜の断食をした後、悟りを開いています。私も七日間の断食断水を七回経験しました。そして、地球人がどんなに食べすぎ飲みすぎをして、どんなに体内に「よどみ」を持っているかを私は知りました。

昔の日本人は祖父母からこんなことを襲つぎられていました。「ごはん一粒には仏（神）が三体宿っている。もったいない。床に落ちたごはん粒は全部拾って食べないと罰が当たる」と叱られたものです。この頃の母親は言います。

「床に落ちたごはんはバイキンがついてから捨てなさい。キタナイですよ」と。これでは食物を大切にすることが、神を否定し、バイキンを恐れさせる教育を毎日していることになります。

前出の二教授は骨髄造血説に対して腸造血説を唱えます。聖書にも「人は泥から作られた」とあります。人は泥から生まれた植物を、口を通して腸によって吸収し、血とし肉とします。その意味から、血球は腸によって作られるとする方が合理的な考えでしょう。日本のサムライはハラキリをやりました。腸のある腹が一等大切な部分であることを知っていたのです。

ペッテンコーヘルの子の生体人験の失敗から、地球人のドラクははじまるのです。自分自身の体内の「よどみ」を反省せずに、病原菌説やウイルス説という安易な道を歩みはじめるのです。聖書の「悔い改め」を、食い改めて体内の「よどみ」を解消する方法を節食や断食にあると解釈しないで、ただ観念的に悔い改めが終わるとサツカクしているのです。ウイルス説は、自分自身の反省ではなく、責任を他に転化することですから、広き門で、多くの人に受け入れ易い安易な門でした。そしてウイルスを敵として攻撃しはじめるのです。ウイルスは我々と同じ「生きもの」ですから、必死になって変幻自在、これに対応することを学習するの

です。

動物好きなあなた

アダムスキー様、あなたも動物がお好きのようですね。同書二五六頁にはネコや犬そしてスカンクの物語が出ています。動物好きなあなたを私は一層好きになります。私ものら犬を拾ってきて飼ったことがあります。娘がコロと名付ました。犬は飼い主に似るといわれます。コロは貧乏くさい貧相な犬に育ちました。しかし、とても人なつっこくて、泥棒にまでなつく始末でした。死んでしまいました。可哀そうで、それから飼うのをやめています。

ウイルスとコラツおじさん

アダムスキー様。動物好きなあなたなら、きつとウイルス君たちがささやく次の言葉を聞かれることでしょう。「我々ウイルス族の仕事は、地球人のいやがるウンコ屋（屎尿処理人夫）をしているのです。人間の体内の「よどみ」をきれいに浄化する仕事に従事しています。このウンコ屋をなぜ殺そうとするのですか。人や動物の死体を分解して大地に帰す聖職についている私達をなぜ敵と思うのか。いくら我々を攻撃しても、我々は忍者のように姿を変えてこの聖職を遂行します。なぜなら神様がそうしなさいというからそれに従

うのです。神に従っている我々は決して神の罰は当たりませんが、人間たちには大きな罰が当たるでしょう。例えばガンで苦しむとかの罰です。可哀そうな人間たちね」と。

猛獣も人間が勝手に作ったものですね。猛獣といわれるライオンや熊に人が野原でばったり逢っても、何人もがしなければ去って行くものだ、多くの冒険家は語ります。ミツバチの針にさされると大変だといわれていますが、ミツバチおじさんはミツバチとお友達ですから、アミの面もかぶらず、素手でミツバチの巣から箱の中へミツバチを誘導します。その箱の中にはミツバチの好きなミリンが塗ってあるから、ミチバチたちはそのミリンに夢中になつていて針でさすのを忘れてい

ます。動物たちは、みんな人間の言葉がわかりますね。ウイルス達もわかります。

コラツおじさんというのがいます。人が歩いていると、耳もとでコラツと大声をあげてびつくりさせ、喜んでいきます。先日、教え子達と遊んでいまして、コラツおじさんの話になりました。教え子の一人がいました。

「ウイルス君にコラツといったら、みんなあっちへ走って行ったよ」と。

この話にみんな笑いました。きつとウイルス君も笑ったことでしょうね。猛獣もウイルスも敵ではないのです。サタンも人間の無知から神をサタ

ンと呼ぶのです。

アダムスキー様。あなたは言っています。地球や地球人に悪いものは何もありません。ただし理解力の欠乏のために唯一の最高の宇宙的生命界において、地球人は幼児です（同書一五六頁）その地球人の中で、私は一等幼児で、幼稚な考えしか持ち得ない人間であることを自覚します。

私は思います。「太陽系は一つの卵にたとえることができます。卵の中は一つで、分解はできません。太陽系が一つの「生きもの」だ」と。

アダムスキー様。お逢いたいのです。私は七月二十日から八月末まで夏休みです。その間にお目にかかりたいと思います。ヴィスタに参ります。あなたのご都合をお聞かせ下さい。万国共通返信用切手券を同封します。心をこめて、あなたのポール向井より。

（以下次号）



奇跡……宇宙哲学で 起こす方法

宇宙哲学の実践応用で奇跡的に願望が実現する。そのノウハウ
と実例を解説し、読者に大いなる勇気と希望を与える講演録。

＜日本GAP会長＞

久保田八郎

宇宙哲学とは何か

宇宙哲学というのはジョージ・アダムスキーが説いた宇宙的思想を意味します。これは彼の著書『宇宙哲学』『テレパシー開発法』『生命の科学』の三部作の総称でもあり、アダムスキー哲学ともいいますが、宇宙哲学と呼んでいます。したがって私たちが普通に宇宙哲学という場合は右の書名を指しているのではなく、アダムスキー哲学の別称として用いているわけです。

右の三部作の内、『宇宙哲学』はアダムスキーの宇宙的思想の概要、『テレパシー開発法』はだれにも潜在しているといわれる超能力の開発方法、『生命の科学』は人体の細胞の実体と人間の想念との関係、心霊現象の誤りなどを解説したものです。いずれもアダムスキー全集（全八巻）の中に含まれています。未入手の方は本号四六頁をごらん下さい。

右の三部作の内、『生命の科学』はアダムスキーが他界する前年の一九六四年に発表された絶筆ともいべきもので、彼の宇宙的思想と人間の想念の発生メカニズムその他が詳説してあります。これは他に類書のない、世界最高峰に位置する人間開発書であると私はみています。詳細については同書をお読み下さい。

アダムスキーが『生命の科学』を発表した当時、アメリカ人でこれを読ん

で実践した人たちのなかには奇跡的な出来事が続出したということです。アメリカ人というのはきわめて率直明快な民族で、良い意味でいいますと素直な性質を持っていますから、教えられたとおりに行き、奇跡が発生する現象が多かったのも当然だと思われます。この「素直さ」というものが重要な要素を帯びていることをまず記憶しておいて下さい。ひねくれた人や文句を言いに来ような人には奇跡は起こりません。

万物を支える“宇宙の意識”

アダムスキーの『生命の科学』には人間を含む宇宙の森羅万象が「宇宙の意識」(Cosmic Consciousness)というものによって創造され支えられているということを徹底的に説いています。

この宇宙の意識というものは万物の創造主ともいうべきもので、神と呼べるものですが、神という宗教的な響きがあるためにアダムスキーは宇宙の意識という造語を用いたと思われます。それはともかくとして、アダムスキーによれば宇宙の意識には創造的パワー、英知等が含まれており、人智をはるかに超えた絶対的実在であるということです。ですから、私たちが現象界を見るときに、まずそのことを認識してかかる必要があります。

たとえば一輪の赤い薔薇の花を見た場合、ほとんどの人が「赤い薔薇の花

がここにあり」と思います。もう少し感性の高い人は「ああ美しい」と感じます。そして大抵の人はそれで済みます。しかしもっと感性が高くなれば、その花に何かの創造エネルギーの波動のようなものが流れていて、それが花全体を生かしていると感じます。そのエネルギー波動というものをアダムスキーは宇宙の意識と呼んでいるわけです。

ところで、もっと感性が高くなると、花を生かし支えている宇宙の意識なるものは当然のことながら人間をも生かし支えているはずだと感じます。そうすると花と人間を生かし支えている宇宙の意識なるものは共通した根源的なものであるから、これを逆に言えば、花も人間も本来一体であって分離してない、と感じるようになります。こうして万物一体感なるものが生じてきます。この万物一体感を極度に高めると、テレパシー能力が発現します。

たとえばこの薔薇の花が持っている感情や意志といったものを感じることができたり、または花に向かって呼びかけると、花がこちらを向いて頭を下げて挨拶するようになると、アダムスキーは説明しています。

偉大な宇宙の意識の力

私たち人間は自分の個としての存在を自覚し意識しています。この普通にいる意識なるものは内部に宿る宇宙の



▲山形・仙台合同支部大会（山形県天童市）で講演中の筆者。
撮影／松村芳之

意識の一部であって、これは絶対的な実在物です。この内部の宇宙の意識が、表層に存在する人間のマインド（心）に絶えず正しい指令の印象を与えているのに、一般人はマインドを想念で充滿させているため、言い替えば考え事ばかりして、内部から来る印象を受することができません。しかし時折チラッと印象を受感することがあって、それをインスピレーションまたは靈感などと呼んでいます。実際には人体内に宿る宇宙の意識がマインドに印象（Impression）を伝えたのだとアダムスキーは言っています。霊媒が死者の霊からメッセージを受けたと称するいわゆる霊界通信なるものも、実際には霊媒の体内の細胞から来る印象だと述べています。この辺の詳細な事は『生命の科学』をお読みになるとわかります。

さて私たち人間は内部に宿る宇宙の意識によつて生かされ支えられている

のですが、このことに気付いているのといないのでは生き方に大変な相違が生じます。奇跡的な現象を起こすのは、実に人間の内部の宇宙の意識であるからです。たとえば『火事場のバカ力』といわれる現象がよくあります。家が火災で大切な物を運び出す必要にせまられたとき、ふだんは抱えられないような重い物を、超人的な力を發揮して抱え出したりします。これは人体内の宇宙の意識の力です。その他、人間の力の限界を超えるような物事を可能にさせるのも宇宙の意識です。

奇跡を発生させる方法

こういうふうな宇宙の意識は人間に超人的な力を出させますから、逆に人間が何かの願望を実現させようとする場合、強固な信念を起こして「必ず実現する」という想念を発し続け、内部の宇宙の意識が強大な力を發揮して、実現する方向へ手助けしてくれるのです。これをアダムスキーは『生命の科学』で次のように述べています。「まずわれわれはアイデアを生み出す意識なるものを考えてみましょう。言いかえれば、何かを現象化させようと思う場合に、それを生み出す意識の能力に対する絶対的な信念と確信を持つて、その物事の意識的な青写真を持つのです。次にその青写真中のアイデアを捨てないようにし、結果（実現）にたいする絶対的な確信を持ち、言葉に

よる命令を与えながら、明瞭なイメージを描きなさい」

これは自分が何かを実現させたいという願望を起こしたとき「×××は必ず実現する」という強烈な反復思念をして、すでに実現してしまった光景をイメージとして心中に描き続けることを意味します。すると本当に実現するのです。これが奇跡を発生させる方法です。

私はむかしからこの方法を応用し、多くの人にも伝えて、かなりの成果をあげてきました。「×××は必ず実現する」という言葉をミラクルワード（奇跡を起こす言葉）と名付け、実現してしまったイメージを描くことをミラクルイメージ（奇跡を起こすイメージ）と名付けていますが、今は後者を簡単にイメージ法と呼んでいます。

私自身もこの二つの方法を併用して何度も奇跡を実現させていますが、具体的な実例は省略します。

ところが、このミラクルワードとイメージ法は日本GAPの専売特許だと思っていたのに、豈図らんや、これと同じ方法を応用した能力開発指導機関が雨後のタケノコのように出来て、それなりの成果をあげているのです。日本ではSSI脳力活性研究所というのが代表的なものの一つで、東京の西新宿に本社がありますが、ここでもイメージを描く方法を指導し、これをシネマティックと名付けています。この

場合は脳波をアルファ波の状態、すなわち心が非常に落ちついた穏やかな状態になるようにしてから、映画のようにイメージを描く方法を応用しているのだそうです。

アメリカでは有名なジョセフ・マーフィー博士がやはり信念をもって言葉をとえたりイメージを描いたりする方法を教えて、無数の悩める人に奇跡を起こさせています。これについても後述しましょう。

こういうわけで、ミラクルワードとイメージ法は万人に応用できる真理であつたのです。これは宇宙の法則ともいえるでしょう。こんな素晴らしい方法があるのですから応用しないという手はありません。

GAP会員の奇跡発生の実例

ミラクルワードとイメージ法を応用して奇跡を発生させた実例は日本GAP会員間で沢山ありますが、ここでは代表的な例を二、三あげましょう。これは私が講演などでよく引用する実例です。

(1) 欲しくてたまらなかつた高級自動車が入手できた例。

静岡県伊豆半島に住む会員の高梨和明氏は二十年来の古い会員で、宇宙哲学の熱心な実践家であり、UFOの観測も熱意をもってよくやつていました。以前から自家用車を持っていたが、UFOの観測用に天井が開閉す

る特別仕様の車がどうしても欲しくなってきたのです。遊びに使用するのはなく、大宇宙の彼方から来る偉大な異星人の宇宙船を目撃して精神の高揚を図ろうというのですから、いわば必需品です。しかしそのためには二百万のお金が必要でした。

ところが七、八年前の二百万は氏にとつて大金であり、逆立ちしてもそんなお金は出てきません。しかしアダムスキー哲学をよく理解する氏は決してあきらめることなく、ここはひとつミラクルワードとイメージ法を応用して入手を実現させようと思いたちました。自分がすでにその車を嬉しそうに運転して山道を疾走し、開いた天井から夜空が見え、そこにオレンジ色に輝く数機のUFOが見えて歓声をあげている光景を明瞭にイメージとして描き続けながら、「必ず入手できる、必ず入手できる」という言葉をとなえ続けました。

そして数カ月後に思いがけぬ所から二百万円のお金が入ってきて、当時としては高級車だったトヨタ・セリカを見事に入手したのである。このお金は奥さんの実家のご両親が「好きなように使え」といってボカッと出してくれたのです。私もこの車に何度か乗せてもらって一緒にUFOの観測に行きましたが、乗り心地は最高でしたね。そしてまるで宇宙の花火大会とでもいうように夜空に沢山のUFOが乱舞する凄

い光景を見たこともあります。

(2)海外旅行に行くための休暇が奇跡的に取れた例

山形県の会員で紫田文子さんという熱心な女性がいいます。現在は結婚して子供さんがありますが、まだ独身であった頃の昭和五十九年八月に日本GAP企画の海外研修旅行「第二次エルサレム宇宙考古学の旅」が実施されることを知って、どうしても参加したくなってきた。あの聖地をひと目見たいと思うと体が震えてきます。

しかし当時の彼女は会社勤めであり、十二日間の休暇をとることは百パーセント不可能でした。大体、GAPの海外研修旅行では「カネはなんとかなるが、会社の休みが取れない」という人が圧倒的に多いのです。それほどに日本の企業はきびしいのです。

しかし紫田さんは屈しませんでした。「必ず旅行に参加できる」というミラクルワードをとなえ、自分が大勢の皆さんと一緒に楽しく旅行に参加しているイメージを描き続けていました。

すると全く奇跡的に十二日間の休暇が取れて、喜び勇んで旅行に参加できたのです。オリブ山の展望台から市街を目を輝かせて眺めていた彼女の横顔が今も私の脳裏に浮かんできます。パレスチナの大地を歩む彼女は、間違

いなく奇跡を起こしたのでした。

(3)心臓病が治った例
首都圏に住む古い会員のある男性の

方は、むかしから持病として心臓が悪く、思うように働けない状態で、生活も楽ではありませんでした。病院へ通つてもなかなか治りません。心臓病というのは治りにくく、へたをすると命取りになります。

しかしこの男性Yさんも救いの女神から微笑を投げかけられました。あるとき「生命の科学」を読んで、人間の肉体は自分の信念にしたがってどのようにもなるという真理を発見したので

す。それからというものYさんは、自分の肉体の内部に完璧な健康体の青写真が潜在していて、その青写真を絶えずビジョンとして描き続ければ肉体もやがて健康な状態に変化してくるはずだと考えて、そのビジョンを描き続けたのです。その結果、心臓病は完治してビジョンどおりの健康体になりました。一時期東京月例会に元気な姿を見せておられたことを覚えていますが、今もまだ会員です。もう病人ではありません。

(4)理想的な花嫁をみつけた例

東京に住む会員のTさんは、独身だった頃、理想的な花嫁を見つけることを夢見ており、「必ず見つかる」という信念を持ち続けていました。

あるとき一人で旅に出て観光バスに乗ったとき、隣の席に座った女性となにげなく会話を交したのがきっかけとなり、愛が芽生えて、やがて結婚しま

した。この女性がまさしく理想的な花嫁だったのです。この場合Tさんの強烈な信念が不可視のヒモのように伸びて、その女性を引き寄せたのでしょうか考えられません。

信念が肉体に及ぼす影響

以上の事例を単なる偶然の結果だと考える人が多いかもしれませんが、この現象界で「偶然」というものはあり得ないとアダムスキーは言っています。どんな現象でもそれは原因があつての結果で、すなわち因果関係であり、これをカルマの法則ともいいます。

右の各事例で原因となっているのは本人たちの信念、すなわち確信に満ちた想念であり、また心の中で描き続けたイメージです。これが内部の宇宙の意識に刻み込まれることによって、宇宙の意識が実現の方向にむかつて強力な働きかけをするらしいのです。科学的には未解明なメカニズムですから、「するらしい」としか言えませんが、多くの実例からみてこのような未知のメカニズムが存在することは帰納的にいつて間違いないでしょう。

マフィーもこれと同じことを述べていますが、彼の場合はアダムスキーの言う「宇宙の意識」を「潜在意識」と称しています。しかし両者は同じものを意味しているようです。

マフィーによれば、潜在意識は宇宙的なパワーを持つもので、人間の信

念に満ちた強烈な想念やイメージが、この潜在意識に刻み込まれると、潜在意識が実現の方向に支援をするのだと言っています。ただし潜在意識は絶対に公平であるから、建設的、肯定的な明るい希望に満ちた想念（これを私たちはプラスの想念と呼んでいます）でも、その反対の消極的、否定的な暗い想念（これを私たちはマイナスの想念と呼んでいます）でも差別なしに、両方に對して公平に手を貸すのだと説明しています。

だからこそ「人間は自分の思いどおりの人物になる」というエマーソンの言葉が生きてくるのです。特に肉体の健康・不健康は、ほぼ百パーセント本人の想念の内容で決まるのです。常に「自分は健康だ！」という明るいプラスの想念を持っている人は健康になるし、「自分は弱い不健康な人間なのだ」と思い込んでいる人は病気になるがちです。

日本GAP東京本部役員の田中正氏の奥さんのお姉さんは看護婦生活三十年というその道の大ベテランですが、その方の話によりますと、「入院患者の精神の状態を観察すると、明るいプラスの想念を持つ患者は治るけれども、暗い悲観的なマイナスの想念を持つ患者は治らない。これは百パーセント間違いない事実だ」ということです。これもアダムスキーやマーフィーの理論を裏付ける有力な傍証といえるでしょう。

また、田中氏自身も旅行会社幹部という職業柄、接客による勧誘の仕事が専門ですが、「この仕事は必ず取れる！」という絶対的な信念をまず起こしてから相手に接すると、本当にそのとおりになると言っていました。

アダムスキーによれば、太陽系内の地球以外の惑星にはすべて人間が住んでおり、しかも偉大な進化をとげている。この異星人たちは精神が肉体に及ぼす影響を熟知し、超プラスの想念を持ち続けるので、肉体が老いることはなく、地球式に年齢を換算して数百歳から一千歳までも生きると述べています。地球人でもプラスの想念で健康を保つ人がいる事実を考えれば、別な惑星群の信じられないほどの超長寿もあり得ないことではないでしょう。この詳細はアダムスキー全集第一巻『宇宙からの訪問者』に出ています。

マーフィーが奇跡発生を指導した例

以上、想念が肉体に及ぼす影響について述べましたが、強烈な想念は病氣治癒ばかりではなく、願望をも実現させますし、逆に自分を不幸のどん底におとし入れる原動力にもなりますので人間にとって想念の持ち方ほど重要なものはありません。前述のように強い信念を帯びた想念は宇宙の意識の援助によって実現するからです。

アダムスキーの『生命の科学』は精神の法則の理論的な書ですが、マーフ

イーの著書には奇跡発生の実例が豊富に出ていますから少し紹介しましょう。ジョセフ・マーフィーは米カリフォルニア州の神学、法学、哲学、薬理学、化学の学位を持つ人で、精神の法則の指導者として名高い人です。この人の著書は沢山出ており、日本でも訳書が産業能率大学出版部（東京都世田谷区等々力六―三九―一五）から何種類か出版されていますが、その内の『あなたにも超能力がある』（中川啓二訳）の中に出ている実例をいくつかあげてみましょう（出版元了解済）。

(1)紛失物を発見した例

一人の女性が五カラットのダイヤの指輪をなくして狂気のようになりました。そこでマーフィーは次の方法を教えたのです。まず自分がなくなった指輪をはめているイメージを描き、その固さや感触などを感じ、眠る前にその指輪をはずして宝宝箱の中に入れる場面を心の中に描き、無限の心の中では何も失われる物はないと信じ、指輪が見つかったことを感謝する「神よ、ありがとうございました」という言葉となえながら眠りにつく方法です。

これを実践した三日目の晩、彼女は指輪が紙にくるまれて女中部屋の古い靴の中に隠してある夢を見たのです。

そこで彼女は目を覚まして女中部屋へ行くと、夢で見たとおりに指輪が隠してあるのを発見しました。

これについてマーフィーは潜在意識

が拡大力を示した例であると言っています。つまり潜在意識が夢というかたちで彼女に解答を与えたというわけです（同書一二九頁）。

(2)二百五十倍の競争率を突破して就職した例

かねてから航空パイロットを志望していた青年が、そのための教育を受けて免許証を取ったけれども不景気で容易に航空会社に就職できませんでした。やつとある航空会社が十人のパイロットを募集したとき、なんと二千五百人もの志願者があり、そのうち九割は青年よりも経験の深い人たちでした。

だが青年はあきらめなかった。マーフィーの教えを実践したのです。まず自分がすでに就職してパイロットの制服を着て、フライトに出るために飛行場にむかつて車を走らせている光景や、訓練に必要なクラスに出席しているところを想像しました。つまりイメージを描いたわけです。

三週間ほどイメージを描き続けたら会社の人事課長から電話があり、会いたいと言って来ました。訓練のクラスは満員でしたが、開講日の一日前に、その内の一人がやめて、結局青年が採用されたのです（同書八三頁）。

この青年が正しいと願った感じがアイディアは、どんなものであろうと潜在意識に刻みつけられ、実践するということを本人が理解していたのだとマーフィーはつけ加えています。

(3)呪いをかけられて恐怖と絶望のどん底におちいつていた婦人が助かった例

一人の婦人が教会へ出入りしていましたが、そのグループから抜けたのです。それを恨んでグループの人たちが彼女が破壊するように折っていると聞いて、本人は呪いをかけられていると思ひ、そのためにすべての事態が悪化していました。

そこでマーフィーは要次のように教えたのです。相手の呪いはあなたに何の影響も与えはしない。実際には自分自身が恐怖心によって自分に呪いをかけている。他人の暗示が自分の考えを動かすものになっているのである。力は自分の中にある。だから自分で自分を苦しめているだけだ。相手が利用しているのは一種の暗示にすぎない。暗示というものは自分がそれに力を与えてやりさえしなければ無力なものである。自分の中の無限の愛と生命と力に一体化するようにつとめることだ。

これで彼女は安心して、相手に力を与えていたことを笑いとばせるようになったのです。一、二週間したら教会のメンバーの内、五人がひどい病氣にかかって、うち一人は死んでしまいました。

マーフィーの説明によれば、この若い女性がおもはやグループの否定的な暗示に傷ついたり動揺することがなくなつたために、相手の悪い考えは拡大されて彼ら自身へ帰って行つたのであつ

て、このような現象を『ブーメラン現象』と言うのだと述べています(同書二三頁)。

ブーメランというのはオーストラリアの原住民がむかし使用していた原始的な木製の武器で、遠くにいる敵にむかつて投げると回転しながら飛んで行きますが、もし敵に当たらねば元の位置に帰ってきます。

これと同様に、人間のひどい恨みや憎しみの想念は、相手に気づかれなにか、または気づかれても相手が問題にしなかつたならば、その想念は自分自身に返ってきて、逆に自分自身を傷つけることになるのです。このブーメラン現象によって自分のマイナス想念で自分自身を傷つけている人がいかに多いことでしょうか。

恐怖心こそ自分を傷つける悪魔

一方、前述の例のように他人から憎まれていて、呪われている、バカにされていると思ひ込んで恐怖におびえている人もあります。この場合、恐怖心が自分を傷つける悪魔なのであつて、他人が悪魔なのではありません。したがって悪魔も神も自分の内部に存在しています。外界にいたるものではありません。

マーフィーが興味深い事例をあげています。南アフリカのヨハネスブルグの金鉱で働いている抗夫たちが会社の規則を破ると、本人はブードゥー教の

祈禱師から「おまえは午後六時に死ぬだろう」と宣告されます。そして実際にその男は座り込んで、死んでしまうというのです(同書二二頁)。

これなどは祈禱師の呪いの波動が心臓を停止させるのではなく、すさまじい恐怖心が自分の体内の諸器官を無力にするのとみてよいでしょう。医学的にはOCD(強迫神経症)といひます。

ですからこの頃は精神神経免疫学という分野がアメリカで勃興しています。そのいわんとすることは、騒然たる現代社会のひずみによって人間にはストレスがたまり、それが続くと肉体は防衛反応が過剰になり、自律神経が失調し、これが免疫機構に影響を及ぼし、ついには破壊する。こうなるとリウマチ、エイズ、癌、その他の難病にかかりやすくなるので、なんといつてもストレスを除くことが先決問題であり、それを除くことによってある程度病氣は治るというわけです。

ストレスを除く最大の武器は何か？それはなんといつても明るい希望に満ちた建設的なプラスの想念です。

このことをよく心得て、常に明るく楽しい想念を持ち続けるならば、健康を保ち続けるでしょうし、現在病氣の人にも健康になるでしょう。それには初めに述べたようにミラクルワードとイメージ法を応用して「自分は健康だ」と、となえ続けながら健康になつてしまつたイメージを描き続けるとベスト

です。

ただしここでは医学を否定するものではありません。医学は高度な科学であつて、この科学の恩恵に浴して助かつた人がどれほどいるかわかりません。ただ現代の医学は想念と肉体との関係を知らない人たちの故障した部分を修理するためにあるようなものですが、医学自体が精神の重要な意味と機能を理解してゆく段階にありますから、それにつれて肉体に対する人間の考え方も変わってくるでしょう。

しかし、信念の力で自分の病氣を治す自信のない人や、手術その他適切な治療を受ければ治るといわれた患者は、やはり病院で科学の恩恵に浴するべきです。だけれどその場合も「治る、治る」ととなえ続け、治つてしまつたイメージを描き続けるならば、良い医師にめぐり合い、間違ひのない立派な治療を受けるようになるでしょう。自分のプラスの想念がそのような病院へ自分をつれて行き、良い結果をもたらすのです。このミラクルワードとイメージ法は、本人に何もしないでいて奇跡を生じさせるものではありません。優秀な学校を志望する受験生は、それなりの勉強をして実力をつけておく必要があります。ただ同じ勉強をするにしても、メクラメッポーな勉強をするよりも、志望した学校に合格してそこで楽しく学んでいる光景をイメージとして描きながら勉強を続けると、内部の宇宙の意識

が本人を合格する方向に引つ張って行くことになり、具体的には合格するための参考書や予備校の良い先生にめぐり合うことになるのです。

しかしどんなにイメージを描きながら勉強しても志望校へ入れない場合は「その学校へは入らないほうがよい」という内部の宇宙の意識の指令ですから、他の学校に変えるほうが結果的に良いことになるでしょう。

地獄の生活から脱出するには

この混乱に満ちた惑星・地球に住む人々は難儀な目にあいながら過ごしています。環境の悪化もさることながら、私たちを悩ませるのは主として人間関係です。誤解、中傷、嫉妬、悪口、攻撃などの渦巻く世の中にいて、自分だけが平安な恵まれた生活を送るのは容易ではありません。しかも公害による環境破壊、政治の腐敗、経済界の変動その他で不安を帯びた想念波動帯の大海の中に沈んだような気分におそわれる人もあるでしょう。世紀末に地球に大変動が発生するという恐怖心を起こさせることを目的としたような書物も出まわっています。

しかし最もいけないのは身辺の人間関係の悪化です。家庭、職場、友人間の対立や争い、非難攻撃などが、どれほど人間の心を蝕み、歪ませていることか。そしてそのマイナス想念によって、いかに思わしくない結果を招いて

いるか。人によつては地獄のような生活をしている人もあるでしょう。

これを脱却して天国のような平安な生活に入るにはどうすればよいのか？

解答はただ一つ。自分の想念の根本的な切り替えにあります。具体的に言えば、自分をどんなに非難攻撃する人がいても、絶対に相手を悪く思わないようにし、むしろ「あの人は本当は良い人なのだ」と思い、相手がにこやかに微笑して自分と握手しているイメージを鮮明に描き続けるのです。そうするとやがて必ず奇跡が発生し、ある日、本当に相手が微笑しながらやってきて謝るかもしれません。そうでなければ相手がブーメラン現象を起こして自分自身が傷つくか、どこかへ去ってしまいうでしょう。

このような奇跡を起こすのに愛とか友情とかの抽象的な言葉や理論をくり返しているだけでは効果はありません。実際に強烈な善意を起こして、「あの人は本当は良い人なのだ」ととなえながら和解してしまったイメージを描き続けることが根本的に重要です。これが奇跡を起こす方法です。

最高の想念で最も平安に生きる方法

もっと高次元な想念として「万物と万人は良くなる、必ず良くなる！」という言葉を心中でとなえ、この世界が天国のようになったイメージを描きながら生きれば、これは最高です。

なんとすれば、万物と万人を創造し支えている宇宙の創造パワーたる宇宙の意識なるものは、万物と万人の生成発展を意図しているはずで、少なくとも人間を苦しめるために人間を創造したとは思えません。したがって「万物と万人が良くなる！」という想念波動は、宇宙の意識の生成発展波動と同調することになると考えられるからです。これを実践する人には素晴らしい奇跡が次々と発生するでしょう。これが絶対的に安全に生きる秘訣です。

なお、マーフィーの本には神とか祈りとかの言葉が頻繁に出てきますので、宗教的だと思つて抵抗感を起こす人があるかも知れませんが、マーフィーの言う神は多数のクリスチャンが考えているような遠い空間にいる神ではなく、人間の内部に存在する無限の生命力、愛、英知などを意味しているようです。から、これはアダムスキーの言う宇宙の意識を神と言い替えているにすぎません。祈りという言葉も、強烈な信念を帯びた実現させる言葉の反復思念と同義です。

マーフィー著の『あなたにも超能力がある』には心靈的な事柄がチョッピリ出てきますが、これは気にするほどの事ではありません。奇跡を起こす精神の法則の記述が圧倒的です。

私が知る限り、どんなに自分を非難攻撃する人がいても絶対に相手を悪く思わずに、「いや、あの人は本当は良い

人なのです」と言つて愛と祝福の想念を送る人が一人います。それは「異星訪問奇談」の主人公・春川正一氏です。その他これに類した想念を持つ人が日本GAP東京本部役員、東京月例研究会の常連のなかに少なからずいます。

この人たちは宇宙哲学の実践応用により素晴らしい成果をあげており、生き甲斐のある人生をすごしています。

宇宙哲学というのは理論に終止するためのものではなく、これを応用して自己の内部に秘められている無限の能力を引き出し、自分と大宇宙との密接不可分な関係を認識して、万物一体感を高めることにあります。そしてこのフィーリングが高まれば高まるほど他人の難儀が他人事とは思えなくなつてきますから、今度は他人を助けようという意欲が高まるのです。

余談ながら前述の春川氏は凄腕超能力を応用し、病院で見離された難病患者者を遠隔思念により次々と治していますが、その場合も私が患者の人にみずからミラクルワードとイメージ法も行なうようにすすめており、奇跡的に治った人がGAP中でかなりいます。しかし根本的には春川氏の遠隔思念波動が治癒の原因になっているようです。

以上の内容に関して不明な点があれば日本GAP久保田宛にお問い合わせ下さい。長い回答を要する場合は、録音用のカセットテープをお送り下さればそれに吹き込んで返送します。

ヒーリングとテレパシー

●遠藤昭則

オーラ透視と反復思念で病気を治す方法を公開

1 ヒーリング(治療)とは何か

古代から病気の治療として民間療法に使われてきたもの。そして近代の医学界ではまだ認められてはいないが、厳然と存在するもの。人間の生命力を使ってテレパシー的に治癒してゆくもの。それがヒーリングである。

ヒーリングには直接患者の近くで行なうものと遠隔治療として行なうものがある。そしてヒーリングに必要なことは患者の方がそのテレパシーを受け入れる状態でなければいけないということである。

2 ヒーリングの体験

私の微々たるヒーリングの体験としては次のようなものがある。しかしこれらはほんの初歩的な段階のものであり、これを読んでいる会員の方のほうにはるかに素晴らしいヒーリングの体験をお持ちのことであろう。

私の場合は、ヒーリングはテレパシ

ーだという確信を持つて行なう。こちらの力で治すというよりも、こちらの放つ思念によって相手の身体の細胞群が動き出すという気持である。

「想念」とは「想」つまり「情報」を持つ「念」のことであるから、作用して当然である。

(a) 腫しう炎の生徒

私はギター部の顧問をしているのだが、ある時ギターを弾いていて腫しう炎になった生徒がいた。痛くて指が動かないらしい。見ると指の根元が腫れぼったくなっていた。そこで肘から指までのいわゆる経絡のような、金色に見える線の上を人さし指で一センチぐらい離れて辿っていった。指先からは青い霧が出ていたことを思いながら、そして指から余分なエネルギーが放出され、冷えて行くことを思い描いた。

それから三十分静かに手を休めておくように言ったら回復した。三十分後に元気にギターが弾ける状態になった。

(b) 腹痛になつた生徒

突然腹痛を起こした生徒がいた。遠足の前日であり、休むことになっては大変である。そこで相手の腹の中に乳白色のパワーを思い描いた。すると苦痛が和らぎ、しばらくして痛みは消えてしまった。

(c) 癲癇の子の場合

教室でOHPを見ていた時に突然癲癇の症状が出てしまった子がいた。急いで周囲の子達を廊下へ出し、その子の首の後ろに手をあててなだめるようにその部位に繰り返し声をかけた。すると症状が和らぎ眠っている状態になった。

(d) GAP会員本山恒明氏のお父さんの場合

昨年(昭和六十三年) 本山氏から手紙を頂き、お父さんが内臓の病気で入院するのだが、なんとかそれがうまく回復するようにできないだろうかということであつた。そこで写真と電話で疾患部を連絡し、山形支部の月例会で次のようなことをしていただいた。それは写真か名前を中心に置き、その周囲に会員の方たちで円を作り、身体の疾患部にある色を思い描くことと、お父さんが元気になっていく姿を思い描くという方法である。

これはかなりの効果があつたようで、退院も早く、その後の経過もとてもよいということだった。

(e) GAP会員枝川和枝さんの場合

彼女から突然お電話をいただき、や

はり内臓の疾患だということであつた。そこでその部位を見て、とにかくそこにはピンク色のオーラが必要だという印象が起きたので、その旨を伝えた。

またふと「大豆」という言葉が頭の中に浮かんできた。そこで大豆を食べるように伝えた。しばらくして分かったのだが、これが今流行っている酢大豆であつた。私の頭の中に浮かんだときは、まだ酢大豆の酢の字も出ていない時であつたが、やはり意識の働きというものは素晴らしいものである。また二つの病院があるがどちらが良いだろうというので、遠隔オーラ透視をして、色が白く見える方が良いと伝えた。

そこに入院することになり、中のお医者さんもとて親しくして下さり、手術も全く安心してうけられ、順調に退院されたということであつた。

3 オーラの形状と病気

オーラには病気の様子が現れるのだが、私にはオーラが良く見える日と見えない日があるので、詳しくは分らない。一番現れるのは肉体の病気である。片方の目が弱っている方は、そちらのオーラの放射が少ない(図1)。カゼで高熱の時は赤い点々のようなオーラがその人の周囲に時々現れることがある(図2)。

筋肉の痛みに於いてもその症状が現れることがある。テニスをしすぎて胸下の筋肉を痛めた人はその部位が黒く

することによって見える時もある。図5は今年（平成元年）三月十九日に数名で集まって遠隔ヒーリングをした時に相手の方を見たものである。私の図と安藤澄雄氏の図をあげておく。二人とも黒く見える位置は同じであることに注意されたい。安藤氏は毎日オーラ透視練習をしており、それをノートに記録し続けている。現在ではかなりの段階にまでなっている。氏によると、とにかく記録することであり、そうすれば自信もつき、能力も向上するとい



図3



図4

見えた（図3）。腎臓に疾患のある方は全体的にぼんやりとしたオーラになっている（図4）。癌の場合は全体的に白いオーラの放出が見えない。これは体内でそのパワーを使っているために外に放出されないのだろう。また写真を通して遠隔オーラ透視を



図1

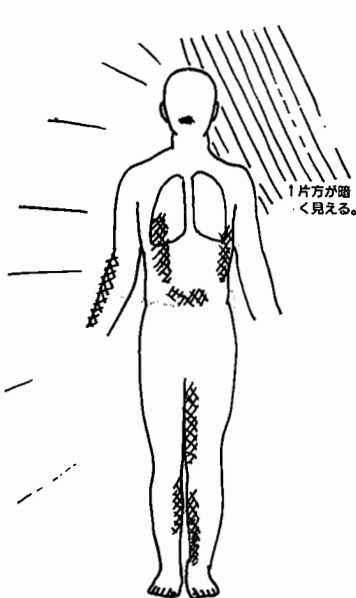


図2

図5

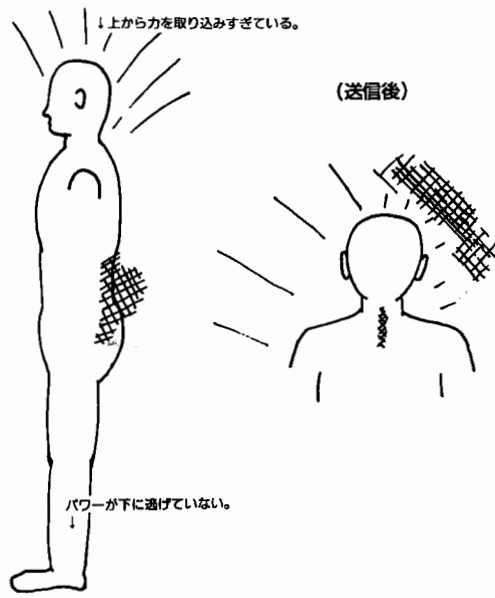
筆者の透視

(送信前)



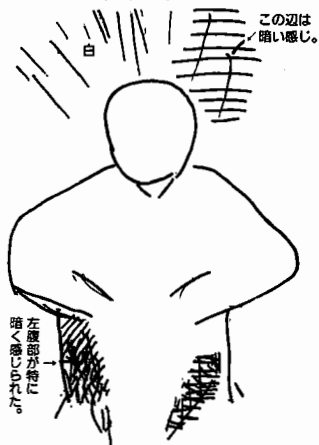
↑上から力を取り込みすぎている。

(送信後)



安藤氏の透視

(送信前)



(送信後)



うことである。氏はこれからもその力を増大してゆくことであろう。精神的な病氣においてはどうか。この場合はなかなか見つかるのが難しい。しかし肉体的な疾患、例えば脊椎部の損傷などによる場合には明らかにその部位に黒い点が出る（図6）。

この場合は、図7のように激しいオーラになる。あるとき図8のようなオーラをしている女性を見た。オーラの外側が少し波打っており、所々に黒い点が混在している。そして汚さを感じるのである。身なりはちゃんとしており、顔立ちも整っている。それなのに汚いフイーリングを感じるのである。

この人は早く自分を浄化して良いオ

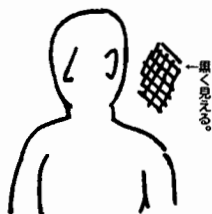


図6

図7

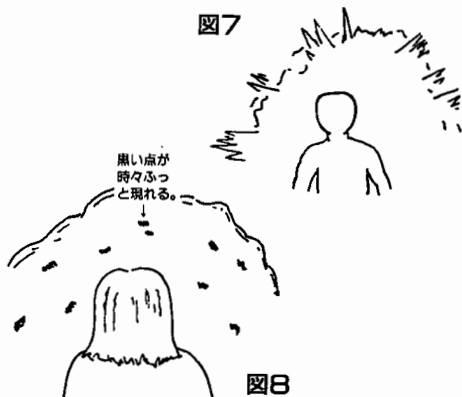


図8

ーラにしないと、いつまでも暗い想念
を持ったままにいることになるだろう。

肉体の場合でも一つあった。会員
の方であるが、血液の免疫性が少ない
方がおられた。昨年お会いした時には
肝臓の辺りに黒い色が見えていたが、
だんだんにその色が少なくなってきた。
そして今年の一月になるとその色が全
体の五分の一度程度になった。免疫性が
一〇％出てきたということだった。そ
して二月の月例会でお会いしたときに
は免疫性が五〇％になったということ
で、黒い色の固まりは見られず、黒い
点がほんの少し点状にまでになった。
どうして肝臓と免疫性との関係するの
か分からないが、とにかくこのような
変化があり、医者よりも詳しくてよい
と重宝がられた(図9)。

このように見てくるとオーラとは人

1. 昨年

肝臓の大部分が黒い。

2. 今年1月

免疫性10%。
暗い所が固まってきた。

3. 今年2月

免疫性50%。
小さな点でしか見えない。



図9

間のエネルギーの余剰分が外に放出さ
れた時に見えるもののようなのである。従
って体内のある部位で普段以上にエネ
ルギーの消費が必要な時はそのオー
ラ放射は弱くなる。また骨折した人な
どでは治癒してからその部位のパワー
が強くなることもある。これはそのこ
とにあり余るパワーが補給される
ためであろう。

人間の極端な想念に対してオーラが
変化するのはどうしてかと言う方がお
られるかも知れないが、それは簡単な
ことである。オーラがエネルギー放射
であることをまず覚えておいていた
きたい。大脳や体内の神経組織、ホル

モン分泌腺などもエネルギー場を放
っているが、それらは人間の極端な想念
つまり感情に影響を受けてそれに対処
した働きをし始める。そこでエネルギ
ーの場も変化する。そうして全体とし
てのオーラが変化するわけである。

であるから、よく言われるように人
間の想念、つまり念の力によってオー
ラが変わるのではないのだ。ましてや
神智学などと言われるアストラル体や
エーテル体などとも関係はない。ただ
付け加えておくならば細胞同士を納め
ておく鑄型のような目に見えないパワー
があるようだが。

そういうわけで、人間の精神状態も
オーラに反映されるのであるから、極
端な形をしたオーラを持っている人は
できるだけ早く自分の想念を良い方向
に切り換える必要がある。そうでなけ
れば心だけではなく肉体の病気にまで
発展しやすいからだ。

古典的な心理学にあるように人間を
数種類の性格のパターンに分けて決め
つけることはできないが、各人オーラ
の色、形状から推測することは幾分か
は可能であろう。そしてデータを集め
ることによって、この人はどのような
所が弱いかということや、その対処
法も分かってくるだろう。

ただ注意すべきことは、例えば赤い
オーラはその人がその色を放つことに
よって安定を得ていることだ。この色
によって性格の良い悪いは判断できな

い。赤は積極的に他の人とつながりを
持つてゆく色である。それが濁ってど
す黒くなったり、赤茶色になったりす
ると良くないのだ。澄んだ純粋な色な
らばそれでよいのである。そのため、
ヒーリングによって相手のオーラの色
を変えようとしてはいけないのである。
相手はその色の放射によって安定を得
ているのだから。

4 人間のエネルギー場

このように病気と人間の放つオーラ
との間には相関関係がある。では、こ
のエネルギーはどこからどのように放
出されているのか。それは現代の科学
ではまだ分かっていない。西洋科学で
は電磁場、静電場などの二次的な結果
としての値を計測しているにすぎない。
また、プラナ、気、生命力、オルゴ
ン等、時々昔からオーラを生み出すパ
ワーに対する呼び名はいろいろある。
そしてそれはこの宇宙を動かしている
万物に共通なパワーである「宇宙の意
識」なのである。

最も新しい心理学の探求家K・ウィ
ルバーはその著「アトマン・プロジ
ェクト」の中で、人間は自身の内に存
在する「力」に潜在的に気付いてい
るが、それを意識しないために、そ
れを結果の世界の物で代用することに
よって安定を得ていると言っている。
そこで自身の内に存在する力に気付
いていく人は安定を得ていくのである。

これについてはもう少し科学の発達を待つしかないだろう。神はこの分野の挑戦をいつでも手を広げて待つてくれているのだ。

しかし、それでもオーラは誰もが遙かな昔から放ってきているのだ。そして人間の赤ん坊から子供を経て大人になるにつれてオーラの形になってくる。これは神経系統と関係があるかも知れない。人体には外に見える色ともう一つ内部に見える色とがある。その内部に見える色の所はだいたい神経の束が集まっている所が多い。

神経の電線が完全に体内に張り巡らされるのは、二十数年来をすぎた頃である。つまり大人にならないと完成した人体とはならないのである。さらにそこに充分なホルモン分泌が行なわれている必要があるが。

子供こそが神を表現しているという人がよくいる。しかし聖書には神の似姿として人間が創造されたとある。神のエネルギーの通り道は神経であると言われる。またテレパシーの受信経路も細胞から神経を通して脳髄へと行くことがアダムスキーの『テレパシー開発法』に出てくる。これはスペース・ピープルからの情報であろう。そこで神経の完備された二十数歳の人体こそが神を現すものであり、大人の方が子供よりもテレパシクな感受力においてははるかに優れている筈なのである。しかしこの地球では子供の方がテレパ

シクであると思われる。それだから子供に戻りたがる大人が依然として減らないのである。

大人になるにつれて感受するチャネルが増えてくる。そこで今まで慣れ親しんできた暖かくせまいチャネルから広い世界を知ることになる。しかし暗いチャネルばかり選ぶようになってくるために受像機である肉体自身にもガタがきて、あの子供の頃は良かったと溜息をつくようになる。

もっと悪くなると自分で病気を作り出してしまふ人もいる。自分のチャネルが拡張された素晴らしさに気付く人は少ないのである。そして明るい建設的なチャネルをさらに増やそうとする人はもっと少ないのだ。ただ疲れていつもの習慣的なチャネルを促す、次の日も同じことを繰り返すだけなのだ。これではいけない。自分の肉体を良くするために明るい建設的なチャネルは必要である。もちろん、チャネルではないチャネラー（霊媒）などはやめた方がよい。自分をだめにするだけだ。スペース・ピープルはそういう人々は望んでいない筈である。彼らも私たちと同じ常識ある人間なのだ。

正しいテレパシー感受経路の拡張は肉体の細胞と神経中枢の活性化につながる。だからこれは健康法でもある。そこでオーラの形状も大人になるにつれて整ってくるのであろう。

5 人間の七つのチャクラ

前述した体内に色に見える神経中枢の所は昔から不思議な所として扱われてきた。そしてヨガではチャクラと呼ばれており、氣功においてはそれらの部位に名前がつけられている。それらに共通することは、超能力、即ち人間の眠れる能力を開発するために扱われていることだ。

ところがヒーリングではどうか。これは重要な問題である。病気の人の内部を見るとその色が良くない所があるのだ。これは私だけかと思ひ、人に聞いた本で調べたりしたが、どうもそうではないらしい。そして病気が治るとそれらの色は正常な明るさに戻るのである。ただそれぞれのカルマがあるのでその人に関連のある所の色がよく見えるが。

そうしていろいろな人を見て総合してみるとだいたい七つのチャクラと呼ばれている所に相当してあるのである。しかしそれらは光としてしか見えない。また最近の心理学の世界では、自分の感情の発散を通してリラックスを得るという療法があるが、その過程において先の位置周辺に緊張が生ずることもあるということである。

以上のことから考えるとこれら内視して見える色は何かの二次的な放射であり、そのものになっている所が健康であればその輻射も良くなると思われ

る。色は波動である。この場合は何の波動であろうか。肉体が健康なときには色がよく見えている。強健になるとさらに濃くなる。氣功師のオーラも濃い。ということはその部分の神経の働きが良くなり、細胞群が活性化して良き波動を放っていることを色として見ているということになる。

ここで私の例を出そう。三月の初旬、私は内臓の調子を悪くしてしまつた。

そこで三日間静養していたのであるが、三日間に渡って明け方五時頃に目が覚めた。いつもは布団の中でごろごろしている私なのだが。そしてその三日間の夢は、内容は違ふがすべて景色にオレンジ色の夕陽のような光があるのだ。どうして同じ色ばかりを見るのだろうか。と三日目の朝、寝床の中で考えた。

ふと調子の良くない所の下、腸の辺りを内視してみた。するとオレンジ色の光がそこに見えているではないか。私はこれだ、と思ひ、内臓の細胞群にその色をゆつくりと広げてやった。すると体内が水で洗われたような気持ちになつてきたのである。これには驚いた。清々しく気持ち良かつたのでそのまま見ていたが、いつのまにかうとうとして三十分ばかり眠ってしまった。六時の目覚ましのベルで目覚めた。身体はすっきりと調子が良くなつていたのである。

そこでヒーリングにおいても相手の身体を内視することが大切になつてく

る。ヒーリングの初め、途中、そして治ったかどうかということを知るために。

安藤氏は経絡を透視する能力を開発しようと記録ノート片手に努力されている。氏は忍耐強い方であるから、これも達成されるであろう。要は生命力を見ようとするのである。

6 ヒーリングの方法

(a)心の調整

病気は自分を見つめなくなることから生ずる。これは車の運転と同じであって、自分の心の状態が良くなってきたら、車を安全な所に止めて一休みする勇氣を持てるかどうかということと同じである。病気は一つのことをしていて突然何かを頼まれた時に自分の心にブレーキをかけてそちらに切り換えることができなくなっている時に生ずることが多い。

そこで治療にはまずその人の心にゆとりと余裕を出す必要がある。そうして想念の状態を良くしてからいよいよヒーリングに入るわけである。この部分が一番大切である。ゆとりが生まれて病気のことなど忘れてしまっただけで治ってしまったという例が数多くあるのだ。

(b)夢の活用

病気の時に見る夢は大切である。本人の願望ばかりではなくて、細胞の働きや本人の持っている想念に対する警

告、そして対処の仕方などを象徴として表していることが多いからだ。そこで病気になる前と今の夢の内容について相手に聞いてみよう。

以前私は次のような夢を見た。

①身体がだるく、朝起きると熱のあるような状態が二カ月ぐらい続いていたある日、機械の前のイスに座って身体を調べられている夢を見た。そして胆のうが弱っているということを知った。いた人が言ったのである。数日間、そのことを気にして調整していたら身体の不調は治ってしまった。

②夢の中で家の中から窓越しにたつ巻きを見ていた。目が覚めてから考えてみると前日に極端な感情を使っていたことを思い出した。それがたつ巻きとなって出てきたことが分かった。そこで気持ちとを和らげることに身体が不調にならなかつたことがある。

③調子の良くない所が治らないものかと思っていたある日、夢の中で電気石を首のうしろにつけよ、そして金も必要である、という場面が出てきた。そこで友人に電気石をかりてきてそこに付けて見ると、なんと調子が良くなった。その時にはその石の波動を感じながら行なった。

(c)ヒーリングをするための心の持ち方

と肉体の調整

ヒーリングをするためにはこちらの心の状態も良くしておかなければならない。心の良くない状態の人に治して

もらおうなどとは誰も思わないであろう。ましてやその良くない状態が相手に移行しては大変である。

肉体のパワーも蓄えておく必要がある。オーラは見る側にパワーが少ないと見えてこない。そして自分自身の生命力を見るようにしていると必ずオーラは見えてくる。見えてこなくても感じてくるはずである。

(d)オーラと内部の色を見る

まず全身のオーラを見るような感じのような状態で見てみよう。そしてそれを記録する。それから部分ごとに見てゆく。さらにへその下の丹田と言われる内部の光の色、足のオーラの陰りのある部分、肝臓のあたり、脾臓のあたり、胃のうしろを見る。それから胸のまん中の内部の光の色を見る。次に横からオーラを見る。出の悪い所はないだろうか。よく出ているのはどこだろうか。

(e)情報の手による感知

相手の患部や原因が分からない時は、掌を相手の身体の三センチぐらいの所に近づけてみる。決して触れないように。そして頭の中の映像を見る。それができてきたら手を離して相手の患部を内視する。そして手は内臓の内部を開いて見せてくれるという確信を持つことである。確信が足りないと思えてこない。念力と同じことである。

(f)体内の意識による旅行

これは「生命の科学」(アダムスキー

全集第六巻)第十課にある「意識による旅行」の応用である。そして自分自身で練習をしてみよう。

まず心をリラックスさせていただきたい。各部分は探索する時に想像すればよい。注意としては明るく美しく見るように。見て行く順番は、もとN A S Aの大気物理学者バーバラ・アン・ブレナン女史の方法を参考にしよう。

それでは探索してゆこう。始めに心臓の中に入ってみる。周囲を眺めまわしてみ、各組織は良いだろうか。良い感じだろうか。次に肺へ移動してみよう。内部の空間に浮かんでいる気持ちで眺めてみるとよい。ゆつくりと見てみよう。

次に消化系統へ行こう。口から中に入り口腔の中を見回す。美しくなっているだろうか。それが良ければ食道を通り胃へ移動してみよう。そして小腸大腸へ。すべて良いだろうか。

今度は肝臓へ戻ろう。それからゆつくりと肝臓、脾臓へ。それらはうまく機能を果たしているだろうか。

生殖器官へ移動してみよう。

もしこれまで見てきた所でどこかが気になったら、そこに愛と調和の乳白色のパワーを与えよう。もしその浄化が必要なら、浄化している気持ちになろう。

この要領を会得したなら、いよいよ他の人を見てあげるとよい。必ず記録をとること。

(5) 宇宙の意識からのメッセージ

宇宙の意識は万物を知るものである。従って相手の持つ情報も分かるのだ。

初めは悪い所はこらしいというところから分らない。その原因は三つ考えられる。

①必ず分かるという確信が少ないために意識に働きかける力が弱く情報量が少ない。

②情報が発せられているのだが、身体の細胞が不活発、または緊張状態のために分らない。

③情報が発せられているのだが、脳の方で増幅される量が少ないためよく分らない。

そこで①、②、③を乗り越える方法を自分で考え出さなければならぬ。

①を乗り越えるためには内視する練習を積み重ねて、必ず分かるものなのだと思わせるしかない。

②と③は「テレパシー開発法」の応用である。自分自身で考えていたきたい。やはり自分から開発しようという意志がないとだめなのである。

③の例では次のようなことがあった。今年の三月のある日、総武線の上りに乗っていた時のこと。ふと誰かが話をしていような気がしてそちらをふり向いた。するとそこには2人の女性が親しく話をしていた。しかし声も聞こえず、内容も分らない。つまり肉体は話をしてい印象を感じて脳へ伝えたのだが、その内容までは脳で増幅さ

れなかったのである。それが聞ける状態になると老子の「谷の神々の声を聞く」状態になるのであろう。

(h) 肉体の経路としての活用

ヒーリングを行なうには、

①自分の内部にある意識と相手の意識との間に距離はない。

②私が思えば相手の細胞に必ず伝わっている、と思うことである。そうして『生命の科学』の第七課を確認するとよい。その課には日本でいえば念力についてのこと詳しく書かれている。

(i) ヒーリングには反復思念とイメージ法が良い

ヒーリングを行なうには明確な「治すのだ」という気持ちと細胞に呼びかける力が必要である。アダムスキー氏にもかなりの治病例があったそうである。

『宇宙哲学』はこういう所にも応用できるのだ。UFOとアダムスキー(アダムスキー全集第三巻)にも「生命の科学」の応用によって一本の育ちの悪いリンゴの木が美しい花を咲かせる素晴らしい木に変わったことが出てくる。

細胞に呼びかけるにはイメージを思い描くことが一番であり、そのイメージを思い描くには言葉を繰り返し唱える反復思念が必要なのである。

ヒーリングのための細かいテクニックについてはまだ研究中であるのでいづれ発表したいと考えている。

手乗りセキセイ・インコを手の上に

乗せ、行つてほしい場所を明瞭に思い描く。するとインコがそちらへピョンと飛び移るというようなことを大学生の頃によくやった。

人間の肉体細胞や体内の水分、そしてそれらの分子群もそのような呼びかけによつて自分から変化をするはずである。ヒーリングのテクニクはいろ

いろあるが、このような方法が基本であらう。

アダムスキー氏は耳の不自由な人に意識から意識に話しかけることによつてその人の耳を治したということがあ

るそうだ。

7 植物との対話

私たちは動物とのテレパシー練習はよく行ない、かなりの成果を収めてきている。しかし植物や単細胞生物に対してはほとんど行なっていない。

植物が動く筈がないと思つてい

のである。しかしそうではない。植物には明らかに動物の筋肉に見られるような動きをする機構が茎にあることが発

見されているのだ。その一番身近な例はアサガオのツルである。それはあたかも触覚のように空間を動きまわり、

棒を見つけると巻きついて行く。人間と違うのは動きがゆっくりだとい

ただである。こちらが送信すれば植物も動いてくれるはずだ。

このように話しかける範囲を広げて

ゆくにけれ、私たちはヒーリング能力

だけでなく、万物に話しかけることができるのだということを身体でもつて実感してゆく。

この原稿の下書きを書いている途中、電池のパワーがなくなつて昨日から止

まっていた目の前にある直径五センチばかりの時計がひとりだけで動き始めた。電池が再充電されたようである。これも電池に対する呼びかけであらう。

8 意識の海

こうして私たちは万物を生かし動かしている宇宙の意識の海の中にいることが分かつてくる。

美しい花が調和しあつて咲いている花畑のように、私たちはその中で暖かい愛のフィードバックを宇宙の英知の生命力から受けているのだ。私たちの肉体が健康な経路となると、そのパワーは万物へと放射されて行くものとなるのだ。

以上、ヒーリングとテレパシーの応用法について述べたが、これにはオーラ透視が重要な役割を果たすことを強調したい。オーラ透視はアダムスキーの宇宙哲学と関係ないと言つて否定的

反発的態度を示す人がいるけれども、そんな人のオーラを見ると濁った汚い色をしていることが多い。アダムスキ

ーもオーラ透視力をもつ超能力者で、常にこの能力を応用していたという。

著書の中でそのことに言及していないだけなのである。

テレパシー現象の 医学的考察

N・H・M・D

パート1

アダムスキー全集第六巻『生命の科学』の第四課から、以下のような命題を読み取ることができる。

- (1) 個人の記憶はDNAレベルで保持され、かつ子孫へ遺伝されてゆく。
- (2) 人間のDNAには過去に存在した全生物の記録が保持され、遺伝されてきている。

- (3) 細胞のDNAレベルと中枢神経の間には、双方向情報通信メカニズムがある。

- (4) 肉體細胞はDNAのレベルで外界からの想念波動を感じ、それを心へ伝達する。

テレパシーのメカニズムは(3)および(4)の解明によって説明され得ると考えられるが、大変難解な問題を含んでおり、ここでは生体の磁場感受のメカニズムをアナロジー（類推）として示すにとどめる。

分子生物学と量子化学および物理学の知見をまじえての推測だが、DNAの二重螺旋構造内の塩基の π 軌道によってDNA内に電子の流れが存在して

おり、しかもDNAはスーパーソレノイド構造をもって細胞の核内に収まっているので、そこには磁場が形成されている。

ここでDNA自体が超伝導体であると考えれば、ジョセフソン効果が存在して、隣接する細胞のDNAとの間にも電流が発生していることになる。

この電流は外部磁場の変化に影響され、その変化が既知または未知の感覚受容器を刺激して、中枢神経系に向かうインパルスを生じさせる。このようにして磁場を感じできるとしたら、類似のメカニズムによって『想念波動』を肉體細胞が感受し、それを心に伝えるというアダムスキーの説明も理解しやすくなるだろう。ただしモノポールが関係するとなると、まだしばらく科学の発達を待たねばならない。

(1)および(2)についてもDNAの蛋白質合成・遺伝形質発現機能という化学的側面だけでなく、『波動』の感受と保持、そして発信機能という物理的側面および高次脳機能における『思考』『意識』『記憶』のメカニズムの解明も必要で、これには生物物理学、分子生物学、量子化学、神経科学等の英知の結集が必要であろう。

テレパシーの研究は従来の心理学的アプローチよりも、生命現象としてのテレパシー発現機構をDNA-細胞-マインド（心）系から科学的にアプローチすることが来世紀の課題となろう

が、驚異的なテクノロジーの進歩によって、案外近い将来、本物のオーラ画像診断装置や想念検出装置が開発されるかもしれない。

他方超能力者自身による研究が一番の近道となる可能性もあり、その意味で個々人レベルでの能力開発もテレパシーの解明に非常に重要であるといえる。

パート2

人体の恒常性維持には主として神経系、内分泌系、免疫系が大きく関与しているが、神経系は自律神経によって内蔵諸器官を統御し、内分泌系はホルモンによって体内の標的細胞の活動を制御している。これらの系はそれぞれ相互作用をおよぼしあい、フィードバックシステムを構成すると同時に、大脳の精神活動によって影響を受け、そのバランスの崩れがいわゆる心身症や免疫能力の低下状態を引き起こす。

神経系における情報伝達は神経繊維を伝わる電気的なインパルスと、神経細胞（ニューロン）間のシナプス（神経接合部）およびニューロンと効果器間での化学的信号である神経伝達物質によるが、内分泌系と免疫系のそれは種々の分子による化学的信号伝達である。

心との関連において人体に影響を与えるメカニズムとしては、これらの他

に『想念波動』も考慮に入れなければならない。精神活動によって想念が発生すると、それが波動 ψ の粒子（実体は不明）となって体内を瞬時に浸透してゆき、細胞とDNAに直接影響を与えると考えられる。するとDNAにはその想念波動に対応した物理化学的变化が起こることにより、想念が人体細胞のすべてのDNAに等しく記録されることになる（ここでホログラフィーを連想されるかもしれない）。

こうしてDNAレベルでの個人の活動の記録の保持『記憶のメカニズム』が成立しているというのが『パート1』の(1)の部分的説明となる。

一方、大脳における記憶のメカニズムの研究においては、ミクロのレベルでのニューロンネットワークの局所的な回路でのシナプスの増強が明らかにされており、シナプスの可塑性とその変化のもとになる化学物質の解明が進められている。しかし、この分子のレベルの過程とマクロのレベルでの記憶現象との関係はいまだに不明である。

マインド（心）→DNA系の『記憶』プロセスにおいて、想念波動（物理的量子的？パルス信号）→DNAの物理学的変化（逆もまた同様）による波動の保持という図式を想定すると、体細胞のDNAを構成する原子・分子は細胞分裂時に確実に入れ代わってゆくが、DNAの基本的構造は維持されている

ので、その構造自体の特性が『記憶メカニズム』の鍵を握っていると想像できる。そして一個の細胞におけるDNAのある一つの変化も、身体のすべての細胞のDNAにまったく同様の变化を生じさせ得ると想像することも可能である。

以上、メンタル・テレパシーに対する細胞テレパシーとも言えるメカニズムについて考えてみた。

次に想念・感情と関連して大脳における高次精神機能の研究を見ると、最近開発・普及のすすんできたポジトロンエミッションCT (PET・陽電子断層撮影装置)、磁気共鳴映像装置 (MRI)、そしてSQUID (超電導量子干渉素子) 等が有力な画像診断装置として期待されている。生体においてPETから脳局所の化学的機能解析、MRIから形態的解析、SQUIDによる機能的局所解析が可能であり、これらによる脳の統御的機能の研究が補助的に進めば、人間の精神機能の解明も夢ではなくなる。

そしてもしこれらの装置を超能力者の能力発現時に適用すれば、大脳における『超能力中枢』の局所固定と、そこでの生化学的変化の解明が可能になるかもしれない。具体的には、たとえば透視能力発現時における脳内の解剖学的責任部位と、そこでの生化学的変化・神経伝達物質の解明が可能となり、それにより逆に人体外部からその透視

能力中枢を活性化する方法が開発されれば、精神性や能力開発訓練とは必ずしも関係なく透視能力を発現させ得るという方向への応用が可能となるであろう。これは他の『超能力』についても同様である。

以上、推論に推論を重ねて述べてきたが、いずれにせよジョージ・アダムスキーの『生命の科学』と『テレパシー開発法』はその高度な精神性もさることながら、超絶した先進科学をわれわれに示唆してくれているというのが実感である。

パート3

1、反復思念の生理心理学

ある特定の思考または想念のリズミカルな反復 (反復思念) を行なうと、大脳の前頭葉から下行性神経路を通じて大脳辺縁系へも神経インパルスの周期的刺激が伝えられる。辺縁系には動物実験で報酬系として知られる外部からの電気刺激によって快感を生じる部位があり、これはドーパミン作動神経の分布とはほぼ一致している。ヒトの場合、辺縁系内の中隔核といわれる部分が快感発生部位として特定されており、また脳内の他の部位同様、辺縁系にはオピオイドレセプターの存在も認められている。

反復思念による律動的神経インパルス刺激が、上記の中隔核を中心として

神経伝達物質であるドーパミンと内因性オピオイドペプチド (エンドルフィン) を増加させ、爽快感または快感が生じると思われる。さらに辺縁系から視床下部そしてその支配下にある自律神経の作用により、何らかの影響が内臓諸器官にもおよぶと考えられる。

反復思念を三十分間続けると辺縁系の刺激により気分と情動の変化が生じ、六十分では神経内分泌系及び自律神経に支配される内分泌器官にも変化を生ずる場合がある。筆者の体験では前胸部の、おそらく胸腺 (免疫系のTリンパ球の成熟に必要な器官) における脈動感や腰椎部の単発音が発生し、その後テレパシクな感覚が一時的にせよ若干向上した。

反復思念を一週間続けた後、精神の高揚感と共に外界が光り輝いて見えるようになったという報告があるが、このような『光輝感』は意識の変性状態 (altered state of consciousness) つまりASCといわれる変性意識であり、これは心理学的には空間感覚、時間感覚、自己感覚、主観と客観、言語感覚等の喪失や恍惚性、一時性、受動性、宇宙識によって特長づけられている。

したがって反復思念の究極状態は自己意識の無限膨脹 (感)、すなわちアダムスキーの言う宇宙の意識との一体化の発生であろう。ただし他の方法によってもこの状態に達することは可能であり、個人差もあるから一概には言えない。

い。
2. θ rhythm resonance (シーター波共振)

大脳の電気活動は脳波 (EEG) として記録され、その周波数により以下のごとく分類される。 β 波 (十三Hz以上、通常の精神活動時に出現)、 α 波 (八〜十三Hz、安静閉眼時に出現)、 θ 波 (4Hz以上8Hz未満)、 δ 波 (4Hz未満) で、後二者は主として睡眠時に出現する。

一般的には入眠時の半覚醒、半睡眠状態で θ 波が一時的に出現し、場合によってはインスピレーション感受が起り得る。精神医学の分野では正常な人間の覚醒時の精神作業中に、前頭葉正中線付近に最も優勢に出現する θ 波をFm θ (Frontal midline theta rhythm) と呼び、注意集中などの精神活動と対応していると考えられている。

一方禅僧の瞑想時EEG分析によると、開眼覚醒状態で前頭葉・頭頂葉優位に θ 波が安定的恒常的に出現し、外部刺激によく反応できる一定水準の覚醒状態を保っている状態であることが報告されている。またR・A・モンローの体外離脱体験時にも θ 波が観察されるなど、超常感覚と θ 波との関連が注目され、研究が行なわれてきている。動物実験によると、大脳辺縁系の海馬から θ 波の発生が確認されており、そこから大脳皮質への神経投射により皮質ニューロンにも θ 波が出現すると

考えられている。意識の覚醒状態は脳幹部の上行性網様体賦活系(ARAS)つまり、Ascending reticular activating systemの作用によって維持されるが、『開眼覚醒状態で感覚入力が増え、 θ 波が出現している状態』とは、ARASによって覚醒状態が維持された上で、海馬 θ 波が大脳皮質・大脳辺縁系・脳幹部に渡り(中枢神経系全体が一体となつて)共振して出現している状態(θ rhythm resonance)であると考えられる。(synchronized という用語は β 波等の速波が θ 波等の徐波に変化することを意味する)。

この現象で特長づけられる覚醒状態(alertness)は、言ってみればESP (Extra sensory perception) に対するISA (Intrinsic sensory perception) と呼べる意識状態を間接的にあらわしており、これがアダムスキの言う印象感受状態に対応すると考えられる。そしてこのISPがFeelingであり、スペース・ブラザーが言うところのState of alertnessまたは意識的意識に通ずるのであろう。

ISAの「I」はInstinct, Intelligence, Inherenceの「I」でもある。

3. 超能力遺伝子

個人個人の種々の能力が親から遺伝されてきているのと全く同様に、『超能力』の表出も遺伝によって左右される。先天的に或る超能力の現れる個人

の差があるが、それはつきつめればすでにGene (遺伝子)、DNAのレベルで規定されていると考えられる。そこに先天的な『超能力遺伝子』の存在が予測できる。

何らかの練習により体質変換が生じて超能力が発生するというのは、人体の全DNAレベルでの質的変換が基礎になるものと思われる。これは強力な想念作用、イメージング、反復思念等によって可能になるであろう超能力の後天的獲得?ということになる。ただしこれがバイオテクノロジーと結びつき、そこに何等の倫理的規制がなければ、超能力による形質変換と、それによる人間改造の危険性が生じ、そうなればアトランティス文明末期の状態と相似形になるであろう。技術的に可能なら何でも実行しようとする現在のバイオテクノロジーや医学分野の方向性は、まさに『アトランティスの教訓』と逆の方向に突き進んでいるように思える。超能力研究に深い思慮と最高度の理想が要求される所以である。

Pleasant Meeting of Yokohama Branch by Masumi Yamaki

楽しい横浜支部月例会

山木益巳

本誌105号の素晴らしい内容に感動しております。デザートセンターの特集が圧巻ですが、横浜支部でも大反響を

まきおこしました。この素晴らしい成果ある旅行も久保田先生の信念の結晶という想いがしてなりません。この取材記事を読んで感じたことは、ブラザーはすべてを知っておられるということでした。

四月の横浜支部月例会も素晴らしい集いで、支部代表の清水さんがとてもしつかりやって下さっているので、非常に楽しみです。支部月例会での話し合いをまとめてみました。

* * *

四月二十三日(日) 雨天

今月も日本GAP横浜支部月例会に出席させていただいた。東京月例会は文化の殿堂「東京文化会館」の大会議室で行なわれ、とても素晴らしい雰囲気なのだが、各支部の月例会もなかなか和やかで良いものである。

連日の激務の疲れが出たため、きょうはだいぶ遅れて会場の横浜勤労文化会館に到着した。会議室に入ってみると、すでに全員の近況報告が終了していたようであった。着席してホッと一息ついていると、司会者の清水正氏がこやかに語りかける。

清水「山木さん近況はどうですか」

山木「最近実行している事は、東京月例会におけるテレパシー練習で、遠藤氏が『自分の周囲に青い霧をイメージすることによって周囲の人や物を浄化するようなフィードバックを起す』という指導をされていますが、それをヒ

ントにやってみた事です。

つまり私は仕事がCE(カスタマーエンジニア)ですので、かなり神経をつかいます。不快な気分になることもよくあるのですが、そんなときには自分のオーラもきつと濁っているでしょう。ですからそのときは自分の周囲に青い霧をイメージし、周囲を浄化するようにしています。そして自分を不快にした人もやはり青い霧に包まれているイメージを描き、その人物が良くなつてゆくようにしてあげます」

なるほどねえ、といった表情を浮かべる出席者の方々。きょうは雨天のために総勢五名。少人数である。

私たちの研究のひとつであるテレパシー(透視や想念感受など)は、まだ日本では公認されていないようだが、米國などではすでに国家レベルでの研究が行なわれている。もちろん科学分野としての研究であり、決して心霊的なものではない。米國のデューク大学が開発したESPカード(ゼナードともいう)は単純な図形五種類から成るもので、テレパシーの送信や受信能力の開発に非常に有効である。

またテレパシーは決して特殊な能力ではない。アダムスキの語るところによれば、テレパシー能力は万人の内部にあるもので、練習さえすれば発現してくるものである。アダムスキ自身、テレパシーの達人であり、他人の想念をあたかもTVの画面を見る

かのように感受できたと思えられていたから、オーラ透視などお手のものだったろう。

以前、私が直接指導を受けた故亀田一弘氏は、とても透視力の発達した方だった。また知人の遠藤昭則氏は毎月東京月例会でテレパシー練習を指導されているが、この方もかなりテレパシー能力をお持ちである。そして私自身もいくらかのテレパシー体験があるのだが、二つほど述べてみよう。

高校時代のことであった。あるクラスメートがESPカードを学校に持ってきたのである。たちまち数名がカード透視をトライし始めた。私もその中に入って透視練習をしてみたのだが、これがなかなかおもしろい。

昼休みにカードを借用し、実験室に閉じこもって一人で透視の練習をしていたところ、カードの図形がハッキリと透けて見えたのであった。カードはかなり厚いためにケイ光灯にかざしても図形が透けることなど全くない。

私はその体験によって自分の内部に確実にテレパシー能力があることを確信したのであった（これは透視）。

またときどき対談しているとき、相手が話そうとしている内容がわかることもある。以前はそんなときには相手に「今こんなことを考えていますね?」と質問したり、あるいは自分からその内容を話したりしたものだ。なぜわかったんですか? それ、今私

が言おうとしていたことですよ」と言われると、いつもいたずらっぽく笑ったものだが、今は相手に対して失礼かと思ひ、やめている。これは想念感受である。

なぜこのようなテレパシー現象が発生するのは現在の科学では説明できないが、科学がもっと進歩すれば説明できるだろう。

さて日本GAP横浜支部月例会は、このあとゼナーカードによるテレパシー練習や、本誌最新号の感想を述べあったりして、なかなか雰囲気の良いうちに終了した。毎月すてきな集いがあることに對して、特に支部代表の清水正氏に感謝の意を表したい。

Strange Things I Witnessed
by Noriko Shirasaki

私は不思議な物を見た

篠崎典子

昨年（六十三年）六月二十九日（水）、名古屋市内で開催されている名古屋支部主催のUFO写真展を見るために、当時住んでいた甲府を朝七時二十二分に出発して、途中塩尻で乗り換え、昼の十二時近い頃、台風の影響でドシャブリの名古屋に着いた。

駅の観光案内で会場の『アピタ緑』を探して、十七時の『しなの27号』で名古屋を出発するつもりでいた私は、「地下鉄を乗りついで、その後バスで二

十〜三十分はかかりますよ」という案内の方の声をあとに急いだ。

地下鉄を乗りつぎ、『あらたま橋』でバスを待っていたが、十五分という待ち時間が惜しくてタクシに乗った。

ところが『アピタ緑』は休館だった。タクシの運転手さんは大変気の毒がつてくれたが、結局近くの駅に降りしてくれた。

このときは本当に自分のうかつさにガツクリきた。どうして前もって確かめなかったのか――。

私は徳川美術館を見学して十七時の『しなの27号』に乗った。いったい何をしに往復八時間以上もかけて名古屋まで来たのか、わねながら情けない気持ちだった。

塩尻で娘に電話をかけて、二十一時三分には甲府に着くからと伝えたあと、十九時十三分に各駅電車は塩尻をゆつくり出発した。

外は雨もあがり、だいぶ暗くなった。私は窓に顔をつけて車内の明かりをさえるように両手で目のまわりを覆った。夜の暗闇が視界にはいっていった。

いくつかの駅を通過したか覚えていない。黒いシルエットの山がづらなつて見えた。

とたんに、山の中腹に五円玉くらい大きさのオレンジ色（山に沈む太陽の光に似ている色）の光の玉がクルツクルツと、すごいスピードで回っていた。

「アッ!」と驚いた私は、なんともいえない最高に満ちた喜びを感じて顔を窓に張りつけた。走っている電車の中から見ているのではつきり分らないが、一回転するごとに中の光が外に流れるような感じがした。

そしてまた私はまばたきをした。今度は山と山の谷あいには白い光体が回転するのが見えた。計二つの物体がいたのである。これは今でもUFO以外の何物でもなかったと思っている。

しかしまたも別な不思議な物を見た。山の中腹にオレンジ色の球体を見てびっくりしていたとき、電車に近い暗黒の平野の中にホテルの建物みたいな物が見えて、しかもその建物の屋上の所に二〜三個、同じようにクルクル回る物体があった。

私は山のオレンジ色の球体と見くらべてみたが、球体の方は完全に中腹で独自に回っているようで、その辺一帯には人家の灯火はまったくなかった。

それから一週間後の水曜日、転勤で松本を引き揚げる主人について行き、私は一人で松本から昼間（二時頃）の各駅電車に乗り、目をこらしてそれらしい物を探したが、山の二個の球体もホテルらしい建物も見つからなかった。

これはいったいどういうことなのだろうか。社宅の奥さんに話したら笑われたけれども、今でもそのときの光景を鮮明に覚えている（他にも頻りに目撃しているという。編者）

潜在脳力を開発し、願望実現を早める奇跡の音楽

この音楽を聴きだしてから 願望が次々と実現し始めた

アメリカで
話題騒然のスピリ
チュアル音楽ライブラリー
ついに日本でも独占販売開始

アメリカで各界から熱
狂的注目を欲びる常識
を超えた奇跡の音楽

「スピリチュアル・ミュージック」、
「ニューエイジ・ミュージック」と呼
ばれる不思議な音楽が遂に日本へも
上陸しました。このスピリチュアル
音楽に関しては、日本でもニューサ
イエンス関係の書籍や一般の雑誌・
新聞でしばしば紹介されているの
既に、ご存知の方も多いことでしょう。
今から十数年前にウエストコースト
（米国西海岸）で湧き起こった、意識
と物質を同一の次元でとらえようと



●記憶力・集中力・創造力などの潜
在能力が曲を聴くことにより自然に
開発される。
●一二年の長期にわたって、これ
らの曲を愛好していると、超能力者・
ヒーラー（心霊治療家の典型的脳波
であるアルファ波とシータ波の
同時高レベル波形とよく似た脳波が
あらわれるようになり、その結果、鋭
い直観力——これがさらに高まると
未知予知や読心力などの超能力——
の持主になる。
●夜、寝る前に聴くと熟睡でき、疲
れが翌日にあまり残らず、朝の目ざ
めがとてもさわやかになる。又、小
さな事にクヨクヨしなくなる、包容

するニューサイエンス運動、エコロ
ジー思想等のニューエイジ革命の嵐
の中から生まれ出たスピリチュアル
音楽——。

この音楽の特徴をまとめると、
●作曲家・演奏者達が皆、30代前半か
ら半ばと若く、瞑想愛好家の下、幽
体離脱や超常現象を日常的に経験す
るなど、きわめて豊饒の意識が高い。
●今までの音楽のように単に曲を聴
いて楽しめるという点だけではなく、
（もちろん音楽的に非常に魅力に富ん
だ曲が多く十分に楽しめるが）意識
を高め、潜在意識を刺激するという、
「意識・無意識への作用」という事に
重点をおいて曲がつくられている。

力がつく、他人に寛容になり対人関
係がスムーズにゆくようになる等々
の人格向上効果が見られる。
●潜在意識が活性化されることによ
り、円滑現象（願望がスムーズに実
現される、自分の思い通りの方向へ
物事が進んでゆく等の現象）が起き
るようになる。
これだけでは、まだとても説明し
きれないくらい驚くべき効果を持
ったスピリチュアル音楽は、その多
様な効能が、早くからアメリカの教
育界・医学界・宗教界・実業界など
各界から熱い注目を浴び、数々の実
験、科学的基礎研究が今日まで行な
われていきます。

アメリカでは脳力開発
に、願望実現にと幅広く
活用されている。

アメリカでは、これらのスピリチ
ュアル音楽の科学的な研究、神秘主義
的側面からの経験データに基づいて、
応用面での研究、実験もさかんに進
行なわれています。現在のところ最も
利用が進んでいるのは教育の分野で、
サジエスベディア（超高度学習法）
のバックミュージックとしてさかん
にこのスピリチュアル音楽が利用さ
れています。又、能力開発、霊性開
発を目的とした瞑想教室では、スピ
リチュアル音楽はもう空気同然の必
需品で、大脳の潜在脳力をめざめさ
せるのに著しい効果のあることが何
千人の生徒達を使った実験でも実証
されています。

又、成功を夢みるビジネス界のエ
リートの間でもスピリチュアル音楽
はたいへんな人気で、脳力開発に、
ストレスコントロールに、又、願望
の早期実現のために、
いろいろな使い方を
されています。

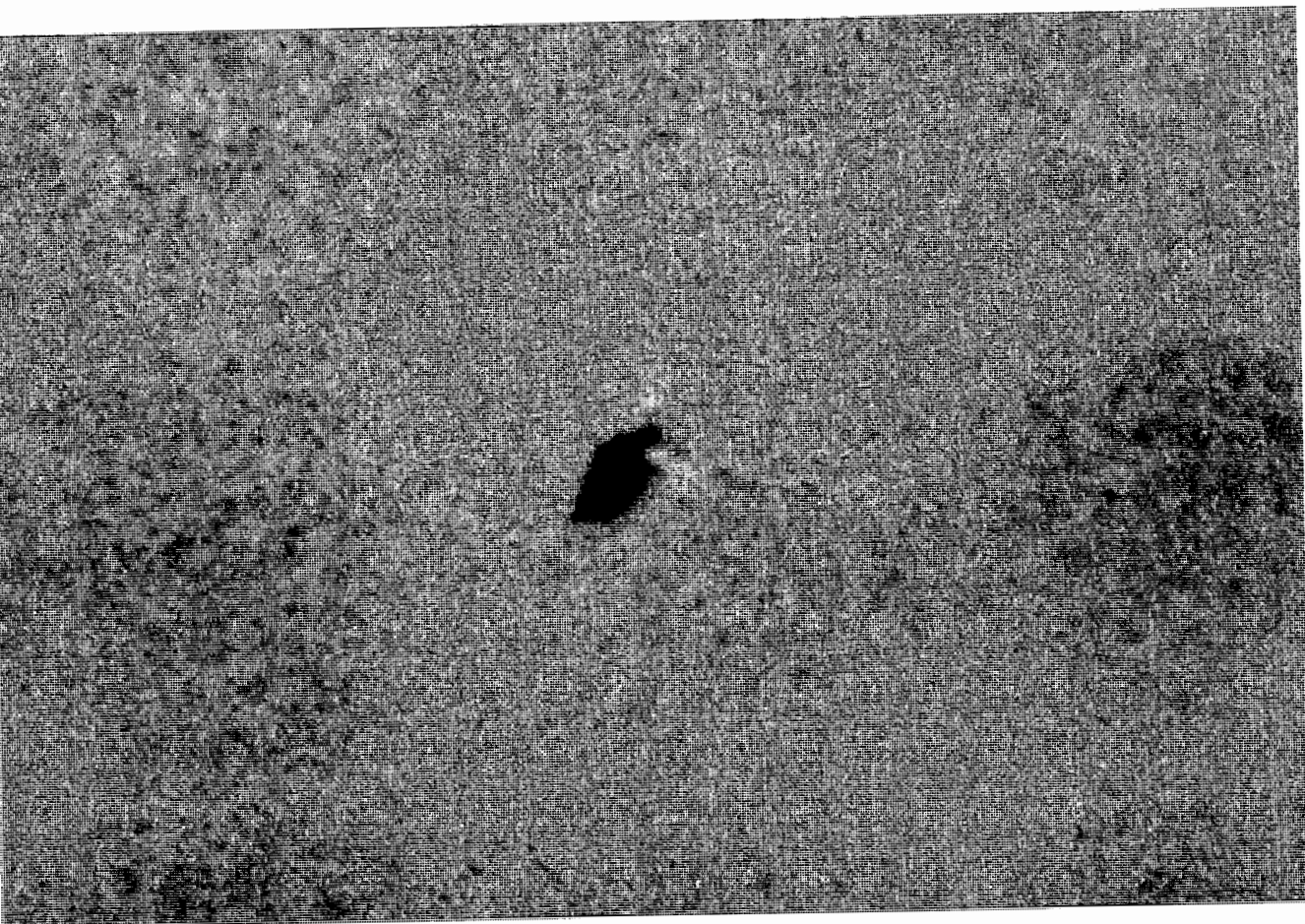


◇「スピリチュアル・ヒットUSA」ライブラリーの中の1曲ご紹介◇
曲名：TEMPLE IN THE FOREST
作曲演奏：DAVID NAEGELE
曲の内容：アコースティックピアノ、シンセサイザー、エレクトリック
ピアノ、自然音で潜在意識の波動をあらゆる森のリズムが形づく
られる中を、「オーム」の神聖なマントラのバイブレーションが限り
なく広がってゆく様をみごとに表現している。
瞑想用に、又直観力・創造力開発に最適な曲の1つ。

★想像以上の効果にびっくり!!★
はじめのころは、「何かおもろい音
楽だナ」という感じで、でも聞いて
いると心が落ちついてくる、まあ車
の中で聞くとしやあ静かだ、という
くらの印象しかなかったのですが、
しばらくして色んな異常な気づきは
じままりました。低血圧で朝は二ガサだ
ったのが、すくく寝がめがよくなった
と午前中の仕事のノリがよくなくなっ
た、仕事上の判断が正確になったか
それにはいっばんの異常は、女の持特
に美人と話をするとどうも変なとこ
ろが緊張してしまふ話が出来たり
したりして、どうも恋下手だったん
ですが、それが最近じゃ前みたいく変
な気がなくなりました。ほんとに音楽
にストリートに話ができるようにな
ったことです。おかげで、会社の女の
子がみんなボクの恋人に見えちゃう
ほど。何か会社に行くのが楽しくなり
ました。ほんと。もちろん例の音楽は
毎日かかす聞いてます。次のテー
プが楽しみです。埼玉県 山口浩和
最近、人とのつきあいが信じられな
いくらいうまくいきました。
広島県 船越照政

米国のスピリチュアル
音楽ベストヒット48曲
・24巻を一堂に集大成
アメリカンライブラリー社では今
アメリカで最も人気の高いスピリチ
ュアル音楽のベスト曲、48曲（スピリ
24巻の独占販売権を獲得し、「スピ
リチュアル・ヒットUSA」として

日本の皆様にも頒布会方式で通信販売
いたしております。
「スピリチュアル・ヒットUSA」の頒
布システムを説明しますと、初回か
ら12ヶ月にわたって、毎月カセット
テープ2巻が届けられ、支払いは毎
回五、六〇〇円の送料三〇〇円。初
回二回目以降を問わず、商品到着後
5日間の無料試験期間がありますか
ら、万が一、曲が気に入らなければ自
由に返品できます。（二巻のうち一巻
の購入の場合は代金は半額の二、
八〇〇円プラス送料）又、途中で購入
をストップしたい場合は、所定のハ
ガキ又は電話で通知すれば、その時
点で購入を止められます。
商品は、2週間前後で到着します。
瞑想ガイダンス、願望実現「ミュー
アル、脳力開発「ミューアルがついて
いますので、それぞれ目的に応じて
これらの「ミューアル」をご利用下さい。
第一回目の試験のお申込みは、
〒107 東京都港区南青山1-26-14
アメリカンライブラリー社 U.F.の係
電話 東京03(479)5864
までハガキか電話で、住所・氏名・
年令・職業・電話番号を明記の上、
「スピリチュアル・ヒットUSA」
試験希望とお申込み下さい。



An Adamski-type Saucer Appearing Over Fujiyoshida, Yamanashi-Pref.
Photo by Kiyomi Kawai

●富士吉田市上空のアダムスキー型円盤

昭和62年4月のある日、三重県久居市の会員・河合清美氏(36)が仲間7名と富士山へUFO観測に行ったあと、富士吉田市(山梨県)の浅間神社に立ち寄って本殿前広場で空中にテレバシーで呼びかけたところ、突如10数機のアダムスキー型円盤が出現して上空を乱舞した。驚いた河合氏は手にしていたカメラでその内の1機を見事にキャッチした。このときは10名ほどの人も目撃している。

〈ミノルタα9000/100~200mmズームレンズの200mmで撮影/フジクローム100(原画はカラー)〉

合国内有力紙に掲載された科学記事を抜粋紹介。各記事末尾のカッコ内数字は掲載月日を示す。

低温核融合反応、試験管で達成

二十一世紀の夢のエネルギーといわれる核融合反応を従来の超高温の条件下ではなく室温で試験管程度の簡単な実験室レベルの設備で達成した。事実とすれば高温超電導の発見よりも大きな今世紀最大級の発見で、米国と英国の研究者が三月二十三日、米ユタ大学（ソルトレークシティ）で発表した。英サウサンブロン大学のマーチン・フライシユマン教授（六三）と米ユタ大学のスタン・ボンズ教授（四六）の二人の電気化学者で、二人とも電気化学界で業績のある科学者として名が通っている。

核融合反応は水素の同位体である重水素や三重水素などの原子核を融合させた時に生じる膨大なエネルギーを利用しようというもの。燃料は地球上に無限にあるため、核融合反応がエネルギー源として利用できるようになれば、人類はエネルギー問題から解放されるといわれる。しかしそのためには重水素と三重水素の原子核をバラバラにしたプラズマ状態にし、原子核同士を超高温で閉じ込めて反応させなくてはならないと思われてきた。そのため欧米、ソ連、日本は国家プロジェクトとして、何百億円もする巨大な装置を建設し、競い合ってきた。今回の核融合反応はこうした常識を一挙に覆すものだが、多くの学者は半信半疑だという。今回の二人の実験装置は実に簡単で、研究者自身が「あほらしいくらい簡単」と言い、「フィナンシャル」紙は「試験管の中の核融合」と名付けている。発表によると、大きさは不明だが、重水素を入



▶実験に使用した試験管を手にするボンズ教授（左）とフライシユマン教授。

れたタンクにパラジウム製とプラチナ製の二本の電極を立てただけ。これに電流を流しただけで重水素の核が結び合われ、そのうちのいくつかは融合したという。融合反応が起きた証拠として従来の化学反応では絶対に生じない三重水素や中性子、ガンマ線が検出され、同時に多くの熱が発生したことを挙げている。しかし、どのような過程で核融合するまでに至ったかは研究者自身も分からないという。二人は投入したエネルギーよりも発生したエネルギーの方が多くなる条件も確認できたという（三・二四読タ）。

フォボス2号、交信絶つ

三月二十八日のソ連国営タス通信によると同国の火星探査機「フォボス2号」は二十七日、地上との交信を絶ち、現在も交信不能となっている。2号は二十七日、火星の衛星「フォボス」の表面を撮影するため方位を転換したが、その後地上への映像伝送はない（三・二九読タ）。

米シャトル、UFOと遭遇?

三月三十日付の英大衆紙「デーリー・スター」は今日、五日間の宇宙飛行に成功した米スペースシャトル「デイスカバリー」が地球周回軌道上で未確認飛行物

体（UFO）と遭遇、「デイスカバリー」が追跡され、一時的にコントロール機能が失われる事態が発生していた、と報じた。

同紙によると、UFOとの遭遇は「デイスカバリー」と米航空宇宙局（NASA）との交信で判明したもので、全米各地のアマチュア無線家がこの交信を傍受したことから明らかにしたという。

ボルティモアの男性が記録した交信テープによれば、「デイスカバリー」の乗員のジョン・ブラー大佐は「ヒューストン、こちらデイスカバリー。われわれは依然エーリアン（宇宙人）の宇宙船に観察されている」とはつきり語っているという。この交信は今日十四日の発射四十五分後に行なわれたものとされている。

また同通信では、UFOとの遭遇で、「デイスカバリー」が一時的に操縦不能となり、突然推進力が失われたことも報告されているという。

NASAは「デイスカバリー」がUFOと遭遇した事実はないと否定している（三・三十読タ、31サンケイ）。

ソ連宇宙船に日本人飛行士

ソ連宇宙総局と日本の東京放送（TBS）は三月二十七日、TBSもしくは同社の推す放送記者を日本人飛行士としてソ連の宇宙ステーション「ミール」に滞在させることで合意、協定書に調印した。アメリカのスペースシャトルに搭乗する日本人飛行士は一九九一年七月に打ち上げ予定なので、日本人宇宙飛行士の第一号になるかもしれない。

五月末候補者を二人に絞り、二人はソ連でトレーニングを受け、最終的に一人がソ連宇宙飛行士二人と宇宙船「ソユ

ズ」に乗り込む。宇宙飛行は「ミール」に滞在の六日間を含め計八日間となる（三・二八読タ）。

たばこ肺ガン、危険率二十年前の二・四倍

米国ではたばこで肺ガンになる危険率が過去二十年間に男で二倍、女では四倍も増えているという。最近出された米国公衆衛生総監の喫煙と健康に関する報告書に表れた数字だが、日本でも似たようなデータが得られている。平山雄・予防がん学研究所長が四十歳以上の成人、約二十六万人を対象にした十七年間の追跡調査によると、昭和四十年代、一日の喫煙本数が二十〜二十九本の標準的な喫煙者の肺ガン相対危険度は四・三倍だったが、五十年代半ばになると八・八倍に上昇。こうした傾向はすべての喫煙本数で見られ、多いほど顕著だった（三・二八読タ）。

異常雲、騒ぎ再び起る

シベリア上空などで昨年八月から十一月にかけて、ドーム型をした巨大な「異常雲」が相次いで発生していたことが三月十五日明らかになった。日航の機長報告などから分かったもので、同社は万一を警戒して一回経路をとるなど緊急対策に迫られる一方、東京天文台や気象庁に協力を求め異常雲の解明に取り組む。

一例として昨年十一月二十七日ロンドン発成田行き日航402便「ボーイング747-300」がシベリア上空を高度一万一千メートルで飛行中、現地時間の午前一時十分ごろ、北緯六十六度二分、東経八十三度四十六分のシベリア上空付近で突然右手前方水平線上に半透明のドーム型の異常な雲が出現。瞬刻間に同機の進路を覆

い、機体がこの中に突っ込みそうになった。このため機長はあわてて進路を変えう回したという。再び起きた空のミステリー現象に専門家も首をかしげている(3・16日経)。

フォボスの写真を撮影

三月二十六日、ソ連の無人火星探査機「フォボス2」から管制センターに送られて来た火星の衛星フォボスの表面の写真。フォボス2は八八年七月に打ち上げられ、ことし一月火星の周囲軌道に入ることに成功していた(3・27読)。



低温核融合の実験に各地で成功の情報

東京農工大工学部の小山昇教授らは三月三十一日、この「低温核融合」を独自の方法で実現したことを明らかにしたという(4・1読)。試験管を使った低温核融合の再現実験に米テキサス農業・鉱業大の研究チームが成功したと同大のスボークスマンが三月九日発表した(4・10読)。米ジョージア工科大チームも四月十日、低温核融合の実験を行ない、核融合反応の直接証拠となる中性子や三重水素(トリチウム)の測定に成功したと発表した(4・11読)。ソ連のタス通信が四月十二日伝えたところによると、モスクワ大学の研究チームが常温核融合の確認実験に成功し、核融合反応によるとみ

られる熱と中性子の発生を観測した(4・13読)。低温核融合で世界的なフーパーを巻き起こした米ユタ大のスタンリー・ポンス教授は四月十七日、新たに低温核融合実験を行なった結果、これまでよりもっと多量の熱エネルギーが発生、実験の効率が高まったと発表した。同時に教授は同実験が六十を超す大学、民間研究所で部分的ながら既に実証されていることを明らかにした(4・19読)。

低温核融合、各地で否定の見解

世界的に注目を集めている低温核融合の確認実験を行なっていた日本の北大工学部・理学部の研究グループは「最初に発表した英米研究チームの実験結果は、単に化学反応によるもので、実験方法やデータの取り方にミスがあった」と結論づけ、予定していたグループ共同の追試は行なわないことを四月二十一日までに決めた(4・22読)。化学結合の研究で一九五四年度ノーベル化学賞を受けた米国のライナス・ポーリング博士はこのほど英科学誌「ネイチャー」に書簡を送り、英米の二科学者が達成したとされる低温核融合は化学反応にすぎないと指摘した(5・10読)。英原子力エネルギー委員会のスボークスマンは八日、同委付属研究所の科学者が低温核融合実験を行なったが大規模エネルギーの発生に失敗したと発表した。英政府の権威ある研究所に「失敗」と断定されたことは、成功説に致命的な打撃とみられる(5・9読)。

常温核融合説は「イカサマ」

米マサチューセッツ工科大学(MIT)の著名な核物理学者ロナルド・パーカー博士は五月一日付の「ボストン・ヘラルド」紙の会見記事の中で、ユタ大のボン

ス、英サウサンプトン大のフライシユマン両教授が三月に発表した常温核融合成功説は「科学的ホラ」であり虚説だと発表した。MITプラズマ核融合センター所長を務めるパーカー博士は「私が突きとめた限り、常温核融合成功説はイカサマであり、こんな連中は科学界から追いつきなければならぬ」と強調した(5・2毎)。

ポリオ・ワクチン開発のソーク博士、エイズ退治でも「ホームラン」?

小児マヒ(ポリオ)ワクチンの開発者として知られる米国のジョナス・ソーク博士が六月八日、カナダのモントリオールで開かれている世界エイズ(後天性免疫不全症候群)会議で、エイズに効くワクチンの開発に成功しつつあることを明らかにした。現在、臨床実験を進めているが、チンパンジーを使った実験では体内のエイズ・ウイルスがそのワクチン投与で完全に死滅する大きな効果を示したという。同ワクチンの実用化の時期について同博士は明言を避けたが、エイズ患者には大きな朗報である(6・9毎)。

エイズ薬副作用を除く新薬

エイズやガン患者への大量投薬の副作用が治療の上で大きな障害となっているが、米のパークレーにある医学研究財団アリン・ファンダーシヨンのケネス・N・マツムラ開発部長(50)はこのほど、この副作用をほぼ完全に排除する新薬の開発に成功したと発表した。骨髄破壊の防止に威力を発揮する(5・8朝)。

ワープロ上手はど首や肩の疲れが少ない

ワープロ上手な人がキーボードを見ないで打つブラインドタッチは、作業の姿勢からみて、キーボードを見ながら打

つ目視法より疲労が少ないことが関西医科大学の中迫勝諦師(兎)「衛生学」の調査で確かめられた。この理由は原稿や画面、キーボード間の視線移動が少ないことのほか、打つ時の姿勢で力の変動が目視法に比べて少ないためとわかった(5・17朝)。

新型ホログラフィー電子顕微鏡を開発

物質表面の凹凸を原子の大きさの百分の一まで観測できる新タイプの電子顕微鏡が日立製作所基礎研究所の長我部信行研究員らによって開発された。厚み方向の変化をとらえる分解能では世界最高という。超微細なひずみが問題になりつつある半導体技術や、物質表面の研究などに大きな役割を果たしそうだ(5・29朝)。

宇宙研ロケット、大型化へ

日本政府は、文部省宇宙科学研究所が金星や土星に探査機を送り込める大型固体燃料ロケットを開発することを認める方針を固めた。これまでは宇宙研が開発するロケットは「直径一・四メートル」という「たが」をはめられていた。これにより宇宙研は鹿児島県内之浦町のロケット打ち上げ場の限界とされる直径二・五メートルの固体燃料ロケットまで開発を進めることができるようになる(5・29朝)。日本の宇宙開発戦略、二〇〇〇年ごろ無人往還機

宇宙開発委員会は二〇〇〇年ごろまでに無人宇宙往還機「HOPE」を開発、実用化するとともに、有人の往還機「スペースプレーン」の基礎的、先行的研究を進めることを基本とする方針を固めた。「HOPE」は現在開発中の純国産「H2ロケット」で打ち上げる(6・5朝)。

GAP短信

GAP News

★栃木支部 UFO 写真展、大盛況

去る五月三日から七日までの五日間、宇都宮市の栃木会館で開催した UFO 写真展は連休を含み、さらに新聞等で大きく宣伝されたため、計一、五八六名もの入場者があり大成功を収めた。今回は写真パネルの展示に加えて「UFO とアダムスキー」と題するオリジナルスライドの映写、GAP 会員撮影の UFO 写真コーナー、テレビパシ実験コーナー、栃木支部作成になる三八頁もある「UFO 入門書」の無料配布、ビデオ映写コーナー、その他、渡辺克明代表と会員による盛り沢山の企画が成功の要因となった。右の写真

★栃木支部、今年度第二次 UFO 写真展開催を企画

栃木支部は五月の大成功に続き、来たる七月二十一日（金）から二十四日（月）までの四日間、栃木県鹿沼市の福田屋百貨店にて同店と下野新聞社その他の後援のもとに「宇宙からのメッセージ UFO 写真展」と銘打って盛大に開催する。会場では五月と同じく UFO 写真約八十点の展示のほか、ビデオコーナー、スライドコーナー、テレビパシコーナー、カセットコーナー、書



★広島 UFO 写真展も盛況

去る五月三十日から六月四日までの六日間、広島市中区のメガネのタナカ本店四階ギャラリーで、日本 GAP 主催の UFO 写真展を開催。毎日新聞と広島テレビが取材報道し、会場がわかにくい場所であつたにもかかわらず、計二百二十名の入場者があり盛況を呈した。会場が狭く、写真の展示、アダムスキー全集やユーコン等の読書コーナーだけという内容だったが落ち着いた和やかな雰囲気のもとに入場者は静かに熱心に見学した。この写真展は東京本部の委嘱による升田裕子さんほか三名、計四名の女性のみによる活躍で



★新潟支部も八月に UFO 写真展

実施されたものの左の写真
来たる八月十二日より十五日までの四日間、新潟市内の大和デパート七階大ホールで新潟支部主催の UFO 写真展が盛大に開催される。写真パネル約七十点、スライド映写、ビデオ映写、本誌とア全集の展示即売等、多彩なプログラムを星富治夫支部代表を中心に企画。お盆休みを含むため大盛況が期待される。毎日午前十時より午後七時まで。JR 新潟駅より徒歩二十分、バス七分。駅前バス乗り場八番線より信濃町行きに乗り古町で下車。市役所隣。

★東京本部も大 UFO 写真展を企画

八月十八日（金）より二十一日までの四日間、東京本部は久方ぶりに都内で UFO 写真展を大々的に開催する。会場は武蔵野市吉祥寺のデパート「パルコ」八階ギャラリー。期間中は各種のイベントを盛り込み、会場側の宣伝と相俟って大盛況が予想される。JR 新宿駅より中央線にて十五・六分の吉祥寺駅下車。駅前すぐ。毎日午前十時より午後八時まで。

★山形・仙台合同支部大会、盛況

去る五月四日、山形県天童市の中央公民館で開催された第十回両支部主催の合同支部大会は三十五名の出席者があり、真剣な雰囲気のもとに開催され、大成功裡に終了した。大会中 UFOらしい物体が遠山の上空に出現。ざわめきが起こった。詳細は本号 48 頁。

★大阪支部大会も大成功

五月二十一日は大阪府吹田市の市民会館で大阪支部大会が開催され、五十二名の出席者があつて大盛況であつた。会場は高次元な素晴らしい雰囲気満ちて、遠く秋田県、鹿児島県から駆けつけた人もあり、旧交をあたためた。翌日は支部の内輪だけで京都の鞍馬山の聖地へ調査に行った。詳細は 48 頁に掲載。

★長野支部大会を今秋開催予定

今年十一月五日（日）午後一時より長野県諏訪市湖畔通り二一八・九のホテル「諏訪湖イン」があるが、大広間にて長野支部が大会を開催する。雄大な諏訪湖を一望する湖畔の集いに多数の参加者が期待される。詳細は本号 49 頁。

★全国支部組織網を改編

日本 GAP は諸般の事情により全国支部ネットワーク（組織網）の改編による一新を企画していたが、五月末をもって福岡、群馬、長崎の三支部を廃止し、他の十七支部の存続が決定して新生ネットワークが確立した。今後は全支部が東京本部を中心に団結を強化し、GAP 活動に大活躍を続けることになった。

★大盛況、東京月例会

近來、東京月例会に関心が高まり、毎回土曜日の開催にもかかわらず多数の出席者がある。六月十日の月例会は雨天ながら七十三名の参加者があつた（定員八十名）。これは久保田会長の高



▲東京月例会。上は久保田会長の解説講義。中・下は遠藤講師によるテレビシー開発指導。

度な解説講義、遠藤講師によるテレビ

シー開発指導などの真価が認められてきたためと思われる。なかには「東京月例会に出席し続けると不思議に良い事ばかりが起こる」という人もある。

日曜日に開催すれば超満員になるだろうが事情により毎月第二土曜日に決めている。余裕のある方は出席されたい。

★東京月例会の日時・会場臨時変更

●今年八月のみは会場側の都合により第四土曜日の二十六日に変更する。会場は従来どおり上野公園の東京文化会館四階大会議室。午後一時半より。

●今年十一月のみは日時と会場を左記へ変更するので注意されたい。

日時＝十一月四日（第一土曜日）午後一時半より六時まで。

会場＝東京都千代田区北の丸公園内「科学技術館」六階第一会議室

TEL 〇三―二二―八四七
七（玄関右横のエレベーターで昇る）

※東京駅丸の内側へ出て皇居のお濠端を右へ沿って行き、竹橋を渡る。徒歩約二十五分。地下鉄東西線で「竹橋駅」下車、徒歩五分。東京駅丸の内側よりタクシーで五分、六百円台。入場料、持参品等は本号51頁の「全国月例研究会案内」を参照されたい。

●東京月例会の使用テキストは八月より「生命の科学」（アダムスキー全集第六巻）に決定。これと「アダムスキー論説集」（同第七巻）を持参のこと。

★今年度GAP総会

今年度総会は九月二十三日（二日連休の初日）に昨年と同会場「銀座ガスホール」で盛大に開催する。多数出席されたい。詳細は本号45頁の予告を。

★日本GAP会員募集

日本GAPは予約購読の会員制を設けている。現在の会員数は約一千二百五十名。会費というのは本誌代金の前納であって入会金は不要。一冊は送料共一一〇円だが会費四回分（四冊分）は四千二百円、六回分で六一〇〇円、八回分で八〇〇〇円、十回分で九九〇〇円となり、前納回数が多いほど割安となる。いずれも消費税を含まない。

会員になると月例会、地方支部大会、東京総会等の諸会合に出席でき、会長その他の超能力者から指導を受けて、個人的トラブルの解消、難病治癒その他の援助を受けることができる。しかし何よりも日本GAPの集いは高次元の素晴らしい宇宙的雰囲気満ちているので、この波動を浴びるだけでも心身ともにリフレッシュし、活力を充電できる。日本GAPは単なる趣味のサークル活動の次元を超えた宇宙的思想の研究実践集団で、宇宙的カルマ形成を志向する神士淑女の集まりである。宗教や心霊とは一切無関係。詳細は入会案内書に説明してあるので、日本GAP宛ハガキで申し込みたい。専用振替用紙と共に発送する。または郵便局備えつけの振替用紙に入会する旨を記して日本GAP宛送金してもよい。ただし正規入会は四回分以上の会費納入を原則とする。

★今年度海外研修旅行

日本GAPは毎年海外研修旅行を実施して多大の成果をあげているが、今年度は「アメリカ南米宇宙ロードの旅」と題してアメリカ西部のロサンゼルス

を皮切りにデザートセンタールのコンタクト地点、パロマー山のアダムスキー住居跡、パロマー天文台等を見学後、南米ペルーへ飛び、インカその他の古代の遺跡、ナスカの地上絵等を見学する。参加申込者は二十名以上になる見込で、八月九日に成田を出発、二十日に帰国する。結果報告は本誌次号に掲載の予定。

★本誌書店卸しネットワークの拡大

GAP（知らせる運動）で最も効果があるのは「書店卸し」であるという結論に達している。本誌は流通機構を通さず会員有志により直接に書店へ卸されているので、この枠を拡大することがアダムスキー問題を広めることになる。この書店卸しに多数参加されたい。ハガキで申し込めば案内書を送る。

★原稿・資料募集

本誌の記事原稿を募っている。UFO目撃、宇宙哲学研究実践、宇宙科学等の原稿・写真・資料等を歓迎する。原稿書きが苦手な人は会長または地方支部関係者が面会して体験談を聴取し原稿に仕上げるので日本GAP宛連絡されたい。ただし宗教的心霊的性質のものは一切お断り。

本誌に広告掲載を希望する方はハガキでその旨を連絡されたい。料金表を送る。

UFOs and the Complete Evidence from Space by Daniel Ross

UFO 宇宙からの 完全な証拠

金星、火星、月に関する真相
●ダニエル・ロス／久保田八郎訳

連載第9回

第8章 月の示す生命環境

ここ十有余年の間、月について真剣に考えたことのある人は少ない。有人月探査期間中の諸発表により、人々は月が荒れた、人を寄せつけそうもない所だと信じさせられた。真実に反する月の姿を受け入れた結果、アポロ計画が終わるや月への興味を失ってしまった大衆を責めることはできない。

このイメージに挑戦するものは他に何一つ公表されず、私自身もまた一九

七四年までは、他のすべての人々と同様、宇宙空間に浮かぶこのわれわれの仲間の世界に思いを馳せることはなかったのである。次に述べることは、以前私がNASA（米航空宇宙局）の公式発表を鵜呑みにしていた段階から後に劇的に方向を変え、それとは別のはるかに正確な月の姿を得るに至った過程を、おそらく読者にかいま見せることになる。

▶一九六九年十一月、アポロ12号の司令船が月面上空八十キロの位置から撮影した月のクレーター群。各クレーターの直径は約四百キロ。人工建造物は識別不可能。

重要なアダムスキーの著書

この本の最初に述べたニューヨーク州でのUFO群目撃の後、私はこの問題に関する本を二、三読んでみた。それらは、UFOの実在を示す良い例を載せてはいたが、もつと踏み込んだこと、つまりUFOミステリーの裏にひそむ事実に関しては、単なる憶測をし

ているにすぎなかった。また重要なこととして、私が本を読む上で、バカげた安っぽい内容のものや、この問題をねじ曲げようとする狙いの心霊的なものなどは一切排除したことを申し述べておきたい。

UFOに関するいかなる証拠及び正確な情報も、この世界の宇宙科学の正しい理解と結び付くはずだということを、私は知っていた。私がジョージ・



アダムスキーの著書『空飛ぶ円盤は着陸した』（アダムスキー全集第一巻、宇宙からの訪問者）第一部」を発見したのはその頃のことである。それは納得できる証拠に裏打ちされた素晴らしい情報を伝える本だった。

彼の二冊目の著書『宇宙船の内部』

（『宇宙からの訪問者』第二部）を読むに至ったのは、その後わずか一週間目だった。この本には、UFOと惑星間の問題に対する直接の回答が示されていた。それは、私の心を高揚させたという程度の表現では、とても言い尽くせない程の感動を私に与えたのである。この本はその全編が真実の印象に満ちていた。しかし、いわゆる科学的教育を受けていた私は、彼の月に関する記述内容にはまだ疑問の余地があることを率直に感じていた。これは一九七四年のことである。

それ以前の私は、おそらく最初の月面着陸に関する以外は、NASAのアポロ計画に対してあまり興味を持ったことはなかったのだが、NASAが月の生命をほんの少しも示唆したことがないということは承知していた。そこで、最初の時点における私の立場は、「いったい、それは可能なのだろうか？」というものであった。

私は元来、一人で徹底して物事を考える性格であったため、「すべての（月の生命に関する）解答を得るまでには、相当量の調査・研究が必要になるだろ

う」という予想は、私にとってごく自然な帰結だった。そしてこの研究がある程度の成果に至るまで、私はそれを一つの可能性として受けとめていたのである。

NASAの疑惑情報

月に関するNASAの公式「証拠」に対し、熟練した宇宙研究家たちが異議を唱えてきた事実を知るまでにそう長くはかからなかった。近年になって、生命のない月環境を示すNASAの公式発表とは矛盾する数多くの隠蔽情報（隠蔽情報）が暴露されていたのだ。意欲的な研究家たちにより明らかにされた数々の矛盾点は、人気科学雑誌やUFO関連雑誌上でかなりの話題を呼び、その内二、三人の著者は、その研究結果をもとに独自の本も出版している。しかし、これらの新事実も公にはほとんどなす

すべがなく、月に関するNASAのいにかげんな、そして用心深い公表結果の鑑（かん）をへこますことはできなかった。私はこれらの出版物を二、三精読した後で、月に関する記事、そして宇宙や他の惑星群に関連するすべての資料を収集しようと決心した。私は、数々の科学雑誌、NASAの出版物、ナショナルジオグラフィックス誌、宇宙に関する最近のニュース記事、更に天文学の正統派出版物さえも吟味した。私は克明にそれらのメモを取っておいた

のだが、それは、最初は資料として不適當だと考えて除外した記事などの中から、後で数々の手掛かりを得る上で役に立ったものだ。物事の探求は、はめ絵パズルを完成させるようなものである。後でより良く全体の絵が見えてくるまでは、互いに結び付きそうもないピース（片）群があるものだ。

私は、数々の月面地図、月面写真集、信頼出来る記録文書類等の収集も行なった。ほとんど出回っていない、目立たない出版物などからの情報も精密に調査した。同時に私は参考文献類の収集も進めていた。また文通によって、他の科学研究家たちからの情報も得ていた。宇宙計画で得られた多くの貴重な情報が、これまで公式には発表されていないのである。

UFOの分野にかかわった多くの人々は、その本質を追及する上で明らかな限界を見せていた。UFO群の存在事実を提示する上では、客観的で申し分なかったが、同時に彼らは記述の中で、宇宙科学に関するうわべだけの知識および研究能力を露呈していた。彼らの議論の根幹を成すべきものが、それゆえに主観的であり意味をなさない憶測なのである。

月に関する私の資料がふえて、その形が整うにつれ、アダムスキーの初期の記述内容は、もはや可能性以上のものであることが明白となった。それは正しかったのだ。実際、私には他のあ

る事実が見えてきたのである。彼の記述内容は当時（一九五五年）一般科学には受け入れられなかったが、情報機関群はそれがきわめて重要な情報であることを知っていた。極秘のうちに彼らは、自分たちの秘密研究と一致するこの情報を受け入れ、それを踏まえて活動していたのだ。つまり情報機関群は、この情報を確認し得るすべての望遠鏡観測結果に対する隠蔽工作を行なっていたのである。

大天文台の秘密月面観測

Donald・キーホーは、一九五五年出版の著書『空飛ぶ円盤に関する陰謀』の中で、一九五三年にウィルキンズが『謎の橋』の発見を発表して以来、多くの個人天文学者連が月に望遠鏡を向けるようになったことを述べている。必然的に、奇妙な光景が他にも目撃され、二、三の報告が報道機関に届けられても不思議ではなかった。しかし、ウィルキンズとオニールによる最初の発表以後、彼らは話すのをやめるよう圧力を受けていたのだ。この橋の発見は、奇妙な新発見ドーム群を紹介したウィルキンズ博士の著書『われらの月』が出版された後でなされている。

複数の大天文台が、国防省の命令で月の秘密観測を行っていた事実を、キーホーが突き止めたのはその頃であった。彼は、パロマー山、海軍天文台、



▲パロマー天文台。米カリフォルニア州パロマー山頂にそびえるドームの高さは60メートル。200インチ反射望遠鏡を設置した世界トップクラスの天文台。撮影/久保田八郎（フジGSW6×9・65mm・フジクローム100）

さらにその他の天文学施設群において、著名な天文学者たちが観測にたずさわっているという確証を得たのである。円盤基地やさまざまな型の巨大建造物の存在が、きわだつた多数のクレーター群の内外で確認されていた。それは米国政府のために国防省が行なった最高機密研究だった。しばらくしてNASAが、この同じ官僚支配態勢の指揮下に入ったのである。政府がその統制を緩め、運を天にまかせて、その配下の宇宙局が自由に真の発見事を発表することを許したなど、真剣に考える人がいるだろうか？

それらの秘密研究は数々の巨大天文台において遂行された。パロマー山の望遠鏡は直径二百インチ（約五メートル）という世界最大規模のものである。これらの巨大天文台の外にいた観測家達にとって（月面の）建築ブームや円盤基地群の様子を観測できる機会はまばらでなかった。そこそこの規模の望遠鏡を用いたとしても、その分解能には限度があった。六〇五インチ（約一五・三十八センチメートル）程度の望遠鏡を用いていたアマチュア天文家たちは、パロマー山のそれと比較すれば、ほとんど双眼鏡を覗いていたようなものである。

私設の観測装置ではとてもその活動自体を識別することはできなかったものの、その結果発生する現象群は時折

充分な大きさを持ち、はるか彼方の月面における説明不可能な異常現象として姿をあらわした。この種の観測結果は、天文学雑誌上ではごく簡単な記事になっただけだが、たまたまその情報を複数の通信社が取り上げたことがある。それは、UFO目撃の報告が新聞紙上で取り上げられた時と同等の反響を得たのである。

しかし、サイレンスグループはそれらを放つてはおかなかった。キーホールによれば、アマチュア天文家たちの報告は明確というよりも、どちらかといえば示唆的なものであったにもかかわらず、それらの報告はさらに推測を呼び、結果的には月の秘密研究の事実を引き出すことができたのだという。この種の報告が検閲者グループの関心と呼んでいたとは知らない個人天文学者連の多くは、情報局員の突然の訪問を受け、次々と質問を浴びせられ、基本的に彼らの脅迫的姿勢に直面していたのである。

アダムスキーを 信じていた米国防省

しかしジョージ・アダムスキーの示した月に関する事実は、UFO界においてすでに彼が確固たる地位を築いていたことから、検閲者たちにとって最大の脅威だった。説明不可能な月面現象の天文学報告は孤立し、ほとんど一般に知られることもなく、それ自身で

は真の月環境を提示することはできなかったが、アダムスキーの著書類は、数々の宇宙船同乗体験を通じて彼が直接手に入れた情報を大衆にもたらししていた。そこには月面環境の完璧な姿が描かれていた。

一般天文学界は、多年信じてきた理論をもとにそれはあり得ないことだと否定したのだが、米国防省はアダムスキーの情報を極秘裏に受け入れ、逆に一般天文学を否定したのだ。米国防政府はUFO問題と秘密月研究の結果を熟知していたのである。

一九五〇年代から一九六〇年代の初期にかけて、国際的に高い評価を受けていたアダムスキーを通じて、世界中の多くの聴衆が惑星間旅行者（異星人）とその宇宙船に関する真相を聞いた。世界講演旅行中に彼は各国の政府首脳及び実力者たちから丁重なもてなしを受け、また米国内では政府関係宇宙産業の要人たちと頻りに接触している。アダムスキーは、彼が科学者たちから時折得た機密情報を公表することはしなかったが、米国防政府がいかに彼自身の示した情報を早い頃から確認していたかを、他のだれよりもよく知っていた。

宇宙開発計画の進行中、サイレンスグループの指揮による隠蔽工作がさらに展開されていたが、それは別な惑星から来るUFOの裏にひそむ真実性を完璧に失墜させようとした彼らの計画

を保証するものだった。アダムスキーの時代には広く受け入れられていた惑星間UFOの裏にひそむ真実は、政府が示した偽りの宇宙発見事でもって時の流れとともに相殺され、徐々に置き換えられてしまった。航空宇宙局がつまりらぬ宇宙探査データをもとに、『公式』に月の生命不在のイメージを作り上げることができれば、このUFO問題は訳のわからないミステリーとなってしまうであろうことを、サイレンスグループは知っていた。

一九六九年から七二年にかけての六度に及ぶ有人月面探査の結果、大衆の心には確かに月に対する一つの固定概念ができあがってしまった。しかしながらその概念は、NASAの大衆発表や次々と発見された月面の事実、そして非公開の公式記録等の中に数々の矛盾点を見いだした注意深い研究者たちにより反論されてきたのである。

だが彼らが書いた本の多くは、その隠蔽の覆いがある程度貫いてはいるものの、真の月面環境を確立するには至らなかった。私はこの覆いをさらに突き破るため、前の各章で述べたごとく望遠鏡記録の注意深い分析を決意したので。それと最近の非公開アポロ計画発見事の記録文書とを照らし合わせれば、月の大気密度、各地域の温度、引力、そして表側と裏側の環境相違などの、月面実際の気候環境を論ずることが可能となる。

ステックリングの研究

『われわれは月面の異星人基地を発見した』の著者フレッド・ステックリングは、かつての月理学者たちの望遠鏡記録が、月面の大気と水の存在を証明していることに気付いていた。彼はアポロ計画の写真記録を可能な限り調査し、NASA自身が月の空気と水の存在を確認していた事実を捜し出そうと決心したので。

ステックリングはその長いアマチュアパイロットとしての経歴ゆえ、例外的に月探査計画で撮影された数限りない航空写真の調査許可を得た。彼はワシントン市のNASA科学データセンターにおいてそれらの写真群を吟味し、長年に渡る忍耐強い探求の末、多くの情報を得たのである。おびただしい数の月写真が撮られ、技術的には一般に解放されている」ということだったが、各アポロ飛行で公表された最初の一群の写真以外は、それらが大衆の目に触れることはほとんどなかった。それらの『最初の一群』から選ばれた写真群が、雑誌の単発記事や一般の月に関する本などで繰り返し紹介され、その結果、月が一般に「よく知られる」ようになったと言える。十二年に及んだ一万枚以上ものアポロ・ルナオービター写真の調査が、ステックリングにとつていかに消耗的な探求作業であつ

たかは容易に理解できよう。

著書の中でステックリングは、百二十五枚に及ぶNASAの公式写真群を紹介したが、その多くが月面での異星人活動の事実を確認している。数枚の写真には、月面の気候状況や水の存在証拠が示されている。雲や北部高地群内に存在する天然の湖、さらにプラトンとクリーゲル・クレーター付近では人工の貯水地とおぼしきものさえも見えるのだ。この両クレーターは、そこに異星人たちの基地があるものと、長い間考えられてきた地域である。

ステックリング自身も認めているように、中には鮮明さを欠き不確定要素を残す写真も見られるが、彼の示した写真の多くは、決定的なほど明確で反論不可能な証拠である。

月面の異星人活動を、九十六キロメートル上空の高軌道から撮影されたNASAの非機密写真群から特定するのはかなりむづかしい。しかしながら、何枚かの写真は明らかにクレーター群の内外に存在するドーム群や各種施設群、宇宙船発着所、そしてその他の人為的な配置物等を写し出しているように見える。なかには、それら建造物様の物体群に付随しているかのような記号あるいはマークのような物も表面に見られる。鉱産活動を示唆する地形変化が多く写真に現れている。

月面は死の世界ではない

ステックリングは、月面上あるいはその近くにいたUFO群が写っているアポロ写真を十二枚紹介しているが、そのなかには、彼の本の表紙を飾った、アポロ十六号撮影によるあの注目すべき葉巻型巨大宇宙船の写真も含まれて

◀アポロ16号が撮影した月面の葉巻型巨大宇宙船。

いる。彼の調査は完璧であり、その本は素晴らしい内容だ。公式な報告、資料、そして写真記録類を注意深く吟味した結果、彼は月面の異星人基地の存在を立証し得たのである。彼は、米政府は月面であまりにも多くのことを、少なくとも役人たちが知る必要がある事はすべて発見してしまったため、月探査計画を短縮したのだと結論づけた。

別な惑星から来た母船か？（フレッド・ステックリング提供）

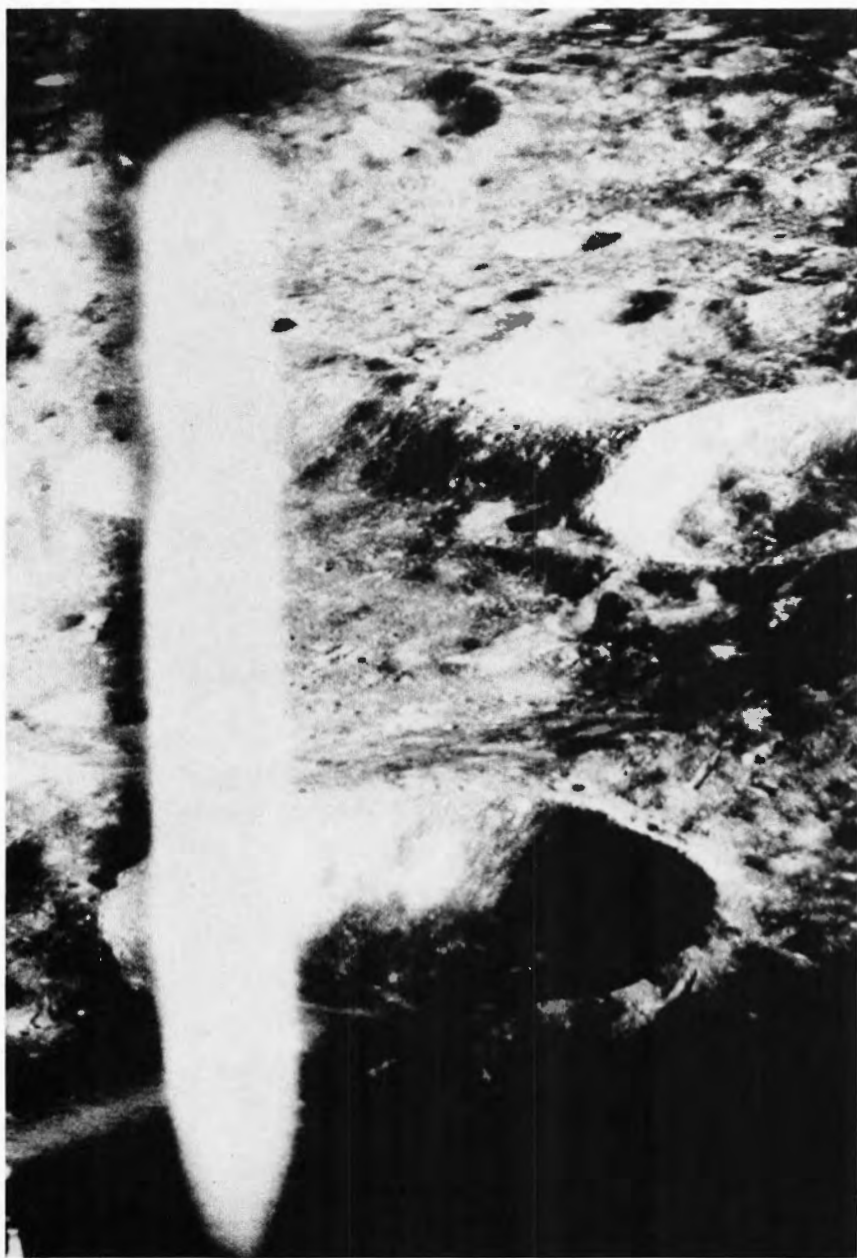
ステックリングや私自身を含むかなりの人々は、おおよけになったアポロ計画の終了後、完璧に機密扱いの有人空軍宇宙計画にもとづく月探査が続けられたものと信じている。

月に思いを馳せるとき人々は、白・黒イメージの、岩だらけのホコリに覆いつくされた月面を思い描く。これは不毛なアポロ着陸地点群から受けた圧

倒的な印象であった。時折、一般に発表された「最初の一群」の写真の中にかすかな色彩を見せる写真がおまけのように加わっていたことはあつたが、この決定的な認識を改善する程の影響力はまずなかった。特に初期の探査計画でNASAは、白・黒そして灰色に満ちた月の圧倒的なイメージを植えたのである。すべての無人ルナオービター写真は白・黒で撮影されたものだ。アポロ着陸地点は明暗界線の夜明側付近であり、その情景は薄明かりの中に浮かび上がったものである。太陽が月地平線上ぎりぎりにあるとき、写真撮影された月面は灰色を呈する。もちろん熔岩から成る平原は常に灰色に見えるだろう。

しかし太陽が頭上にくると、月面の広範な地域において、茶色の土壌あるいは自然な土の表面が姿を現す。アポロがカラー撮影した数多くの裏側写真には真実の色であるこの茶色が現れ、さらにクレーター群の内外および山岳地域を覆うさまざまな緑の色調も見えている。各種の本や出版物を注意深く調査することで、これらの写真を見いだすことができる。

NASAは事実、かつてファーストその他が多年の望遠鏡研究で指摘したとおりの、月面各地の色彩の多様性を確認するきわめて重要な秘密を多数漏らしているのだ。月面のほとんどが豊かな色彩に溢れ、自然な生息環境を持



のである。アポロ10号が高軌道上から撮影した裏側の変化に富む光景を（原書の）写真19と20に示した。これらを見れば、月軌道周囲中のアポロ15号乗組員らが、不毛な灰色の世界ではない月を目のあたりにして次のような叫び声を上げたことを理解できるだろう。「壮観だ！　そして美しい！」

アポロ着陸地点から持ち帰った土に對し、各種の実験が試みられている。その結果、地球の植物および野菜類のいくつかは、地球の土よりも月の土の中で、『より緑色で丈夫に育つ』ことが判明した。月と地球の土を混合した実験がゼニゴケの種を用いて行なわれたが、それは従来のもものと比較して四倍もの速度で発芽・成長している。これらの実験は、月の土が栄養素群のすぐれた供給源であり、生物学的活動を支え得るものであることを証明した。アポロ17号着陸地点における月の土壌の近接像を（原書の）写真16に示す。

本書では、月における水の存在証拠を論じてきた。ステックリングの本は、月面の数々のクレイター群付近にかかった雲の写真群を提供している。前にも述べたように、初期のある望遠鏡専門家たちは、特定のクレイター群内で周期的に変化する植物群繁茂の様子を観測し、その確信に満ちた結論により天文学者としての地位を築いた。もちろん彼らは正しかったのである。そしてもしもNASAがそれをおおげに

認めていたならば、宇宙のイメージは根底からくつがえされ、地球外生命の存在を今日だれもが信じることになっていただろう。

月写真を論じるには、複雑な問題が多々ある。月面で撮影された写真や映像を除くすべての月写真は、上空約百十キロメートルという高軌道から撮影されたものだ。アポロ宇宙船に乗り込んだ飛行士たちは、月の裏側のほぼ一割の地域を写真に収め、実際NASAは正しい色彩を示す何枚かの軌道写真を公開している。少数の地域写真群には、自然な色合いの茶色、きわだった緑色、子鹿色（灰色がかった淡黄色）やピンクの色調などが同時に現れている。

しかし、それらは高軌道からの低解像度写真のため、それらの色彩を生み出した月面環境をこういった少数の例から明確に特定するのは不可能だ。ある写真に見える緑色はその地域の植物群繁茂に関連があるかもしれないが、別の写真の緑色は必ずしも何かの意味を持つとは限らない。

これらほとんどの写真には、誇張した色彩と濃淡が施されていると言えよう。様々な色彩出現の源を特定するのは不可能であり、このような高軌道から眺められた月は、一見、陰気で何もない環境であるかのように見える。もちろん月写真を不明瞭な状態に保つことはNASAが意図したことなのだ。

初期の白・黒撮影に始まり、特に月の裏側の写真に関してはなおさらであるところで、不明瞭な色彩のこれら低解像度写真群は、単なる不本意な結果によるものであったという。その説明としてNASAが言うには、軌道上からの撮影では毎回のフィルムとカメラが使用されたことと、露出不足によるさまざまな影響などにより、表面の正確な色彩を求めるのは困難だったということなのである。

月の撮影に工作を加えた？

しかしながら私たちは、その困難だといわれる月面写真撮影のぼやけた結果と、初期のジェミニ計画における地球写真撮影の素晴らしい結果とを比較する能力がある。

地球上空約七百五十キロメートルの軌道を周回中、ジェミニ11号は、この私達の惑星の各地域を完璧な色彩で撮影し、さらにその解像度もNASAの月写真よりはるかに優れたものだった。それに比べてアポロ宇宙船は、月面上空わずか六分の一の軌道上にいたにもかかわらず、月写真と少なくとも同等のものにさえならなかったのはなぜだろう？　色の問題に関しては、どうかそれらしい説明が付けられたかもしれないが、月写真の解像度がわざと低く押さえられていたことは明白である。つまり、それ以前のジェミニ飛行で使

用されたカメラ装置が、ずっと高解像度の写真撮影が可能だったことを証明しているのだ。NASAが月撮影で、特定の望みどおりの結果を生むべきカメラのレンズおよびフィルムを選んだことは明らかである。

これまで公表された数少ない月の裏側写真は、不毛なクレイターを写したもののや取るに足りない写真を除き、低解像度の不明瞭なものばかりだった。NASAは、そこが表側となら変わらないという印象を込めた写真を創作したのである。特定の宇宙探査データとはちがいが、写真は全くの偽物ではない。しかしその品質や解像度が意図的に低く押さえられたものであり、それらが示唆する総合的なイメージは本物ではないのだ。

NASAがすべきことはただ、ちぐはぐな色彩の低解像度の月写真群を公表することだけだった。それらの写真はただちに、待ち望んでいた報道機関に取り上げられ、無傷の正統派理論を強調した付随記事とともに、一般雑誌等を通じて大衆にばらまかれたのである。

二度と見る気が起こりそうもない写真群により、すべてが都合よく証明されたかのようであった。科学界はただちに、彼らの専売特許である月に生命は存在しないという正統派見解とともに、それらの写真を教科書や他の出版物等に取り入れたのである。今や、古

臭い理論が「科学的真実」として流布することとなり、月は過去の物となっていました。

NASAはただ彼らが月に行ったことを知らしめたのみで、過去にいつもそうであったように、大衆教育は科学界の手に委ねたのである。結局その隠蔽工作は全く単純なのだ。正統派科学界は、自分たちの理論に疑問を抱くことがないと同様、こうして大衆が疑いを持つことは全くない。偶然手に取った雑誌記事あるいは本にざっと目を通しながら、人は本文の根拠となつてい

るNASAの写真群に裏打ちされた最新の事実や発見事を自分が目のあたり

にしているものと考えてだろう。しかし実際そこで人は新しい事実を何一つ見せられていない。彼が見たものは、これまでどおりのいいかげんなイメージのみなのだ。それは元を正せば、月の高軌道から撮影されたあのいいかげんな低解像度写真群に端を発するものである。正当派はそれらの写真を歓迎し、保守的雑誌・教科書等の中で、自分たちの理論を強化した。NASAの隠蔽策は、このようなほぼ決ま

月の重力は地球の六分の一ではない

他の問題に関する数々の矛盾した宇宙発見事が科学文献に現れたことにながされて、工学者ウィリアム・ブラ

イアンは真実の月の重力調査を行なった。彼の注意深い研究結果は、『ムーンゲートー米宇宙計画の隠された発見事』という題で一九八二年に出版されている。NASAの報告および数値資料に関する彼の徹底した分析により、月の重力がわれわれが聞いていたよりかはるかに重いことが証明された。さらにブライアンは、NASAの高官たちは空気のない月のイメージを不朽のものとするため、一般に流布する六分の一重力説に従った数値を公表し続けているのだと主張している。月探査計画のきわめて早い時期に、重力に関する秘密の発見がなされ、その結果計画は後退し、宇宙船の設計見直しが行なわれていたのだ。

月の六分の一重力理論は、ニュートンの万有引力の法則をもとに長くとなえられてきた。この法則はもと一六八七年に発表されたものである。ニュートンの法則は、「単一惑星の引力圏内にある」物体同士に当てはまるもので、証明された科学基礎理論ではあるが、この法則の惑星間レベルへの拡大は、単に帰納的な推理からなる近代の仮定にすぎなかった。

真の月重力は、月面に落下する物体あるいは月の軌道を回る物体の動きを観察することによってのみ正確に決定できる。米・ソの宇宙探査機が初めて月に向かったそのときこそ、飛行軌道を随時レーダー追跡することにより実

際のニュートラルポイントの位置を決定し、月重力の直接算出が可能となった。このニュートラルポイントとは、地球と月を結ぶ空間において、双方からの引力の影響が全く等しくなるポイントである。この位置を決定することは、以後の探査計画の安全と成功を保証する上での必須事項だった。

ニュートンの法則をもとに、かつて天文学関係の本や発表では常に、ニュートラルポイントは月から三五、五二四ないし四〇、五三六キロメートルの範囲にあるとされていた。この数値の幅は、月が楕円軌道であるがゆえのものだ。低いほうの数値は月が近地点にあるときのもので、高いほうは遠地点時のものである。もし月の重力が六分の一だとすると、ニュートラルポイントは常にこの範囲内に収まるだろう。

しかし、一九六九年のアポロ11号による歴史的宇宙探査中、いくつかの資料の中で、新しいニュートラルポイントの位置が言及された。ここで言及された公式な値は、月からの距離にして六九、五九二キロメートルというもので、それはタイム誌七月十五日号で初めて報道され、また同年一九六九年発行のヴェルナー・フォン・ブラウンとフレデリック・オールドウェイ共著による『ロケット工学と宇宙飛行の歴史』の中でも触れられている。以後の出版物では、約六万一千ないし約六万三千キロメートルといった数値が引用され

ている。数字にややばらつきがあるものの、実際のニュートラルポイントまでの距離は、以前の天文学的試算である三万五千〜四万キロメートルとは、はなはだしく異なっている。

ヴェルナー・フォン・ブラウン博士は、アポロ11号当時の宇宙飛行センター責任者であったことから、彼の本に引用した六九、九八三という正確な数値を知る立場にいたはずだ。ウィリアム・ブライアンは、実際のニュートラルポイントの位置が一般の文献に初めて現れたものは一九六九年であつたが、ルナオービターやサーベイヤー探査活動を成功に導くため、NASAはかなり以前にその位置を確認していたにちがいないと述べている。つまり、一九五九年頃かその直後には、月の表面重力が一般に信じられていた六分の一よりはるかに強いものであることをNASAは知っていたのだ。しかしNASAはこの強い重力のデータを隠していた。それは月に空気がないという正統派理論に深刻な打撃を与え得るものだったからである。

この新しい数値をあてはめると、月の重力は地球のその六十四パーセントということになるのだ。(以下次号)



本誌バックナンバー掲載記事目録

※印は絶版。在庫なし。お申し込みの際は郵便振替にて日本GAP宛ご送金下さい。バックナンバーに限り送料は不要です。

No.105

平成元年 4月25日発行 ¥900

デザートセンター円盤着陸事件—久保田八郎/篠芳史/坂本貢一・茂子
アダムスキーに会った唯一の日本人①—向井 裕
過去生透視法とその実例②—遠藤昭則
輝く星々の彼方へ—斉藤庄一
長野県に巨大UFO出現!—博田文喜
UFO-宇宙からの完全な証拠③—ダニエル・ロス

No.104

平成元年 1月25日発行 ¥900

UFO問題と世界の運命—久保田八郎
アダムスキーの宇宙的カルマと異星人の援助—アリス・ボマロイ
デザートセンターで円盤着陸痕跡発見—安藤澄雄/久保田八郎
過去生透視法とその実例—遠藤昭則
UFO-宇宙からの完全な証拠⑦—ダニエル・ロス
GAP活動の原理—ダニエル・ロス

No.103

昭和63年10月25日発行 ¥900

アダムスキーの体験は真実だったノ—アリス・ボマロイ
我らの惑星に愛と希望を—久保田八郎
カイロ上空に輝くUFOが出現—伊東芳和
私のUFOコンタクトと宇宙的目覚め—富岡設子
UFO-宇宙からの完全な証拠⑥—ダニエル・ロス

No.102

昭和63年 7月25日発行 ¥900

UFO目撃で驚嘆、大変化した私—後藤泰二
仙台市上空にUFO長時間出現—遠藤昭則
富士山周辺でテレパシーに感えるUFO群—長沼宏志
ミラクルワードとイメージ法で奇跡を起こす—田中 正
良い想念であなたの環境は良くなる
UFO-宇宙からの完全な証拠⑤—ダニエル・ロス

No.101

昭和63年 4月25日発行 ¥900

宇宙的家族のUFO目撃の日々—坂本茂子
精神的指導者に対する警告—G.アダムスキー
円盤の窓から手を振る“異星人”—斉藤庄一
長野県に出現したUFOの大群—博田文喜
頻繁なUFO目撃と超能力体験—佐々木八郎
UFO-宇宙からの完全な証拠④—ダニエル・ロス

No.100

昭和63年 1月25日発行 ¥900

UFO問題とアダムスキー—久保田八郎
富士山二合目から目撃したUFO—遠藤昭則
私はこうして超能力を開発した—坂本正廣
アメリカの不思議な土地—水野和彦
UFO-宇宙からの完全な証拠③—ダニエル・ロス

No.99

昭和62年10月25日発行 ¥700

UFO-宇宙からの完全な証拠②—ダニエル・ロス
山中湖畔で空中を飛んだ自動車ノ—清水 南
富士山にUFOが大量出現—清水敏恵
(写真)大分市上空のUFO
アダムスキーの大地とマヤの国へ—久保田八郎

No.98

昭和62年 7月20日発行 ¥700

木星の衛星イオに古代都市跡を発見ノ—
UFO-宇宙からの完全な証拠①—ダニエル・ロス
静岡市上空にUFO頻繁に出現—遠藤昭則
太陽系惑星にまだ仲間がいる?—
連夜のテレパシー送信に応じて出現した円盤—片岡 豊
万物の実体と想念の重要性—知念清邦
私は別な惑星へ行ってきたノ(最終回)—春川正一

※ No.97

昭和62年 4月20日発行 ¥700

驚異の「生命の科学」と円盤大接近—伊藤達夫
八王子市でUFOを撮影—降旗和彦
別な惑星の偉大な人類と文明—G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきたノ④—春川正一

※ No.96

昭和62年 1月20日発行 ¥700

私のオーラ透視とテレパシー現象—清水 南
京都市上空にUFO5回出現—久保田八郎
想念放射、透視、UFO目撃—遠藤昭則
UFOと心霊は無関係—G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきたノ③—春川正一

※ No.95

昭和61年10月20日発行 ¥700

茨城県千代田村のUFO—日本GAP茨城支部
アダムスキー問題に対する考察—内田格男
私のUFO目撃と不思議な体験—中嶋順子
ジャンボジェットに並行して飛んだ円盤—久保田八郎
私の別惑星訪問体験とアダムスキーの真実性—春川正一

※ No.94

昭和61年 7月20日発行 ¥700

テレパシーで飛来した真つ黒い円盤—堀江健一
八丈富士山麓でUFOを撮影—谷口美雄
地球を救う愛の想念放射運動—山崎清美
母船の周囲には人工大気層がある—G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきたノ②—春川正一

※ No.93

昭和61年 4月20日発行 ¥700

月面にいた2機のUFOノ—
超低空に出現した大型円盤と黒い人影ノ—笠原弘可
私も光体を見た—伊藤達夫
多くの館—G.アダムスキー
質疑応答—G.アダムスキー
私は別な惑星へ行ってきたノ①—春川正一

※ No.92

昭和61年 1月20日発行 ¥700

偉大な惑星から来た兄弟たち—野口敏治
サン・ピエトロ大寺院の異星人—久保田八郎
米トップ科学者、UFO墜落の事実を認める—ゴードン・クレイトン
質疑応答—G.アダムスキー
地球の哲学と宇宙哲学の相違(完)—松原真弓

※ No.91

昭和60年10月20日発行 ¥700

円盤に乗った日本人少年—伊藤達夫
ブラジル人教授の円盤搭乗事件—
質疑応答—G.アダムスキー
太陽系の惑星に知的生物が存在!?—
地球の哲学と宇宙哲学の相違②—松原真弓

※ No.90

昭和60年 7月20日発行 ¥700

朝霧高原の不思議な“月”—伊藤達夫
旭川にも月擬装UFO出現—石川晴道
尾道市に出現したアダムスキー型円盤と母船—
ムーンゲート第14章(完)—ウィリアム・L・ブライアン
アダムスキー問題の真実性と宇宙哲学実践法—久保田八郎

※ No.89

昭和60年 4月20日発行 ¥700

ハケ岳に出現した円盤—秋山京子
富士山麓にUFO頻出—高梨和明
金星文字解読研究—遠藤昭則
ノアの箱舟とアブラハム—久保田八郎
アステロイド帯と月のクレーター—ウィリアム・L・ブライアン

第10回 山形・仙台合同支部大会

五月四日、新緑萌える天童市の中
央公民館で第十回目の山形・仙台合
同支部大会が開催された。当日は快
晴に恵まれて三十五名の出席者があ
った。

午後一時より真剣な雰囲気の中で
大会が始まった。両支部代表の挨拶
の後、久保田会長の「UFO問題と
宇宙的カルマ」と題する講演があつ
た。万人を激励し祝福する久保田会
長の暖かく力強いお話に出席者一同
真剣な面持ちで聞き入った。会長
のお話はいつ拝聴しても深遠な内容で
あり、魂が揺さぶられるような感動
を覚える。会長が話される一言一言
がきらめく宝石の如く輝きながら私
達の心の奥深くに浸透してくる。非
常に学ぶ事の多い講演であった。

次に会長と東京本部役員の遠藤昭
則氏によるテレビ練習と質疑応
答が行なわれた。出席者から各種の
質問が出され、アダムスキー問題に
関する秘話なども会長により
公開され、遠藤氏からも
超能力、転世の問題に関する
大変興味深いお話があり、
場内はいつそう盛り上がった。
今回はかつてない程の
有意義な素晴らしい支部大
会であった。

大会終了後は流の湯ホテ
ルの藤の間に夕食会が開
催された。山形支部会員の
本山恒明氏によるソロの社
交ダンス、秋田支部の佐藤
春雄氏による東北の民謡な
ども披露され、とても楽し
いひとときを過ごした。

翌五日の観光も天候に恵
まれた素晴らしい一日だつ
た。最初、天童市郊外から車で約三
十分位の山の中腹にある「ジャガラ
モガラ」と呼ばれる非常に不思議な
場所を見学した。山中の谷間のあち
こちの穴から冷気が吹き出すために
この辺一帯は植物が育たないのであ
る。このあと宮城県側の鳴子峡へと
向かった。

鳴子が一望できる見晴らし台のレ
ストラン「さつき亭」で昼食をとつ
た後、鳴子峡の遊歩道約二キロを散
策した。渓谷の見事な奇岩、緑に萌
える若葉、川のせせらぎと頬をなで
るさわやかな風——大自然の美しさを
満喫した観光だった。

ご指導頂いた久保田会長、遠藤昭
則氏、そしてご出席下さった皆様に
心からお礼を申し上げたい。

山形支部代表 柴田光明

天童市は合同支部大会開催地とし
て二度目である。将棋の駒の生産地
として名高いこの町は一三〇〇年代
後半から城下町として興り天童頼隆
が最上義光に追われるまで栄えた。
一八三〇年、織田藩の館が出現して
再度城下町となる。全国の将棋駒の
大半を製造する産業は幕末の下級武
士の内職から発展したという。また
温泉郷としても知られている。

落ち着いた静かなたたずまいを見
せる天童は、低い山々に囲まれた美
しい町で、会場の窓から新緑萌える
山を遠望すると、似たような筆者の
郷里を思い出してノスタルジアにか
られるが、なによりも快晴に恵まれ
て天の祝福感がわき起こってくる。

講演は「UFO問題と宇宙的カル
マ」と難解そうな題にしたが、後半
は宇宙哲学を応用して奇跡を起こす
方法の説明に力を注いだ。アダムス
キーの「生命の科学」の一部の解説
とマフィーの理論や奇跡発生の実
例を列挙して話を続けた。この種の
話は一般人には通用しないけれど
GAPの皆さんは特殊な人の集まり
であるから非常に話しやすい。拙い
話ながらも十分に理解されたと思う。
今回は遠藤君が同行して、東京月例
会で行なっているテレビ練習の一
部を指導したが、好評だったよう
だ。会場内の雰囲気は静粛ながらも
熱気に満ちて最高だった。ただのサ
ークル的なUFO研究会とは全く異
次元な波動が流れるのは日本GAP
の会合の共通した特長である。これ
がよいのだ。

全員自己紹介の際中に埼玉県から
きた高野博敬君が急に窓辺に歩み寄
つて「遠くの山の上に光る物体が見
える」と言い出して、さわめきが起
こった。筆者は窓とは反対側の奥の
方にいたので見えなかったけれども
数名の人は目撃したらしい。あとで
遠藤君が語ったところによると、そ
のあと質疑応答の際中にも再度光体
が山の上空に出現するのを見たとい
う。私の話し中だったので黙ってい
たらしい。大会終了後いったんホテ
ルへ引き返したとき、横の駐車場の
上空に母船の出現サインを私と柴田
君が見た。

翌日は快晴下をマイクロバスでジ
ヤガラモガラと鳴子峡へ行く。この
峡谷がこうまで雄大な景観の地とは
知らず、驚きと歓喜の交錯するなか
を二キロ歩いたが、非常によい運動
になった。秋の紅葉は最高だという。
カワセミの音が感傷的だった。

久保田八郎

◀左上より支部大会全員記念撮影。
鳴子峡にて。右上より夕食会のクジ
引き賞品渡し所。佐藤春雄氏の民謡
独唱。



(第3回)平成元年度地方支部大会(その3)

第3回長野支部大会	
日時	11月5日(日) 午後1:00→5:00
会場と交通	「諏訪湖インあるが」 2F大広間 ☎0266-52-2680 長野県諏訪市湖岸通り 2-8-9 ※上諏訪駅下車駅前の 国道を左手に進む途中の ガードをくぐらず、すぐ を湖方面へ進むと右手 茶色の4階建の建物。 徒歩約10分。車ならば 諏訪インターから約10分。
会費	¥2,000(希望者のみ全 員記念写真代 ¥800を 別納。カラーグランド キャビネ判。送料共)
プログラム	司会 中村公一 1:00 支部代表挨拶 博田文喜 1:10 講演「勇氣と希 望を与え奇跡を 起こさせるアダ ムスキー哲学」 日本GAP会長・ 久保田八郎先生 2:30 休憩・全員記念 撮影 3:00 自己紹介・意見 発表・質疑応答 5:00 閉会 ※雄大な諏訪湖を一望 する会場で久保田先生 の宇宙の声を聴いて全 身にパワーを充電させ ようではありませんか。 支部一同あたたかくお 迎えます。
夕食会	大会終了後、6:00から 8:00まで同会場にて希 望者による夕食会を開 催。 会費=¥5,000
宿舎	大会会場と同じホテル 「諏訪湖インあるが」 ☎0266-52-2680 長野県諏訪市湖岸通り 2-8-9 シングル ¥6,330 ツイン ¥11,630 (税サ込) ※各室トイレ、バス付 き。温泉の湯が出る
申込	大会、夕食会、宿舎、 観光の申込はハガキに いづれかを記して10月 25日までに下記へお申 し込み下さい(電話に ても可)。 〒399-07長野県塩尻市 広吉田948-4 博田文喜(はかたふみよし) ☎0263-58-8510
観光	大会翌日は諏訪湖周遊 市内見学、紅葉のビー ナスライン巡りや信州 の秋を存分に満喫し、 楽しい一日をすごしま す。会費¥2,000(昼食 代別)。9:00ホテル出発。 4:00上諏訪駅で解散。
備考	11月の月例会は平常通 り開催。

五月にしては梅雨のよう
な日が続いたが、幸いにも
大会当日は晴れ間も広がっ
てホッとした。今年も二年
半ぶりの開催ということも
あって五十一名の参加者で
賑わった。

齊藤康美副代表の司会で
大会が始まり、続いて久保
田先生の「宇宙哲学と奇跡
を起こす方法」と題する講
演に移る。いつものように
先生の落ち着いた力強い声
が会場に響きわたる。

先生がアダムスキーと交
流を開始してから通算三十五年に及
ぶと言及されて、日本におけるGAP
活動に専念してこられた苦労話に
続き、人生に奇跡を起こすには①ミ
ラクルワード(奇跡を起こす言葉)
をとえ続けること。②実現してし
まったイメージを描き続けることを
力説された。また人間にとって最も
大切なことは、万物に対して祝福の
想念を送ることにあり、これが宇宙
最大の力を発揮することなどを話さ
れた。こうした内容は平素から先生
の講演録音テープや文筆などで私た
ちの熟知している事柄であるが、今
現実と、あらためてお話の重要性

平成元年度 大阪支部大会

が身にしみてくる。特に、実際に奇
跡を発生させられた実例として先生
ご自身の珍しい体験と多数の会員の
実例などをあげられ、実用ですぐ
に役立つ貴重なお話で、私たちに絶
大なる勇氣と希望を与えて下さった。

また今大会は東京本部役員の遠藤
昭則氏にも急遽ご出席頂くことに
なり、毎月東京月例会で行なってい
るテレパシー開発法や過去生透視法
などを直接ご指導頂いて大きな成果
をあげた。今回、先生と遠藤氏のコ
ンビでご指導を頂いたことは今後の
日本GAPにとって大変有意義なこ
とであり、さらに飛躍前進するため
の基礎が確立されてきたと思う。本
大会はシンプルで中味の濃い大会に
したいと願っていたが、そのとおり
になり、支部一同心から感謝してい
る。遠路をご出席頂いた方々に厚く
御礼申し上げたい。

大阪支部大会は久方ぶりなので期
待に燃えて出かけた。遠藤君も同行
する。主催者側は当初出席者が三十
五、六名とふんでいたところ、五十
一名もの盛大な大会になって欣喜
雀躍という次第。雰囲気も高次元で
素晴らしい集いとなった。大阪は庶
民的な都市で解放感があるから、し
やちこ張らずにきさくな態度が保て
る。ちょうど米東部のニューイング
ランドから西部のカリフォルニアへ
来たような感じだ。言語も東京大阪
間では米東西間と似たような相違が
ある。だから私も田舎弁が出しやす
くてリラックスできた。

大会では奇跡発生法を主体に力説
した。訥弁のため焦燥を感じたが、
ご理解頂けたと思う。
他人に勇氣と希望を与えるのに抽
象的言辞を弄するだけではだめで、
具体的方法と実例を伝えることの重
要性を改めて痛感した。

翌日は支部の内輪だけで京都の鞍

▼上から会長講演、遠藤
講師の指導、参会者、鞍
馬山に登る一行、奥の院。



馬山の聖地「奥の院」の調査
に行く。六百五十年昔、人
類救済の大使命をおびた魔王
尊が惑星の金星から降り立つ
たという伝説の地だ。起伏の
激しい山中の小道を本堂から
八百メートルほど歩いて行く。
一見何の変哲もない小さなお
堂がある。遠藤君の透視によ
ると、お堂を斜め右から見る
とタマゴ型の銀色の物体が着
陸している光景が浮かぶとい
う。約一千年昔にここへ宇宙
船が着陸したのが伝説化した
ようだ。

大阪から鞍馬山へ来る途中、
私たちの電車の上空に二機の
母船と多数の円盤が飛来して
いたことが写真で判明した。
祝福するためだったらしい。
素晴らしい一日だった。

久保田八郎



Letters

ユーコン広場



本誌を広めよう

高松市 太田育治

ユーコン16号を市内宮脇書店で購入。『アダムスキー』に会った唯一の日本人」を大へん面白く拝見しました。同じ高松市に住む者として、また筆者の向井先生の教え子の一人として感謝しております。

実は私も今年の二月二十六日午前三時ごろ、市内で巨大な光るものに遭遇、UFOではないかと向井先生に報告しています。

中国内戦の危機が核戦争に発展しないことを願っております。そのためにユーコンを読むことを広げたいと思います。ユーコンを市内の宮脇書店に限らず他の小さな本屋さんにも置いたら如何でしょうか。潜在購買力はあると思います。UFO宇宙人問題はもう当然のことと思う人が多くなっています。その後の具体的問題、例えば病気や病院をなくす運動、貧困、戦争、刑務所をなくす運動など、具体的な問題の提起が「その後」必要になってくるものと思っております。GAPの皆様の御健闘に声援を送ります。

デザートセンター特集に感動

神奈川県 青木美智子

新緑が目にしる美しい季節ですが、毎日忙しく過ごしていらつしやることと存じます。ユーコン16号のデザートセンター特集に大変感動

投稿歓迎字数を問わず。匿名発表可なるも住所氏名明記のこと。

しまして、心にジーンとしみ渡すような深い感動が日増しに強くなりますので、ついにペンを取ってしまいました。先生はじめ皆さまの手記を拝見して見ますと、私も実際にデザートセンターにいて先生の笑顔を目の前にしているような気になってまいりました。「何かを一筋に」ということはなんて美しいのかと、それにもましてどんなにお喜びでいらしたかと思いました。本당にお疲れさまでございました。

坂本さんご夫妻といえますと、以前の奥様の手記「宇宙的家族のUFO目撃の日々」(本誌10号に掲載)にも大変感激しましたが、この方の方々の方々が次々と変化してこれたのは素晴らしいなあと思います。遠藤さんの記事にも大変刺激されて少しづつレッスンを続けています。

このところUFOを全く見るものがなく、見離されつつあるのかなと思うたび、これこそがレッスンなんだと自分に言い聞かせて、あの中学生のころ毎晩何時間外に立つて空中に呼びかけていたことを思い出しながら続けてみようかと考えています。私はのんびりやで出来のよくない生徒ですが、UFO側もいつかあきらめて(?)姿を見せてくれると信じています。

人々に夢と希望を与えたい

秋田市 坂本真一

いつもお手紙をありがたうございます。読むたびに元気が出ます。それに加え、まともな署名入りの本を戴き感激しています。先月末から超多忙の日が続く、今、急ぎの翻訳の仕事を一と抱えていまして残念ながらもまだ読めないでいます。今月の末には落ち着くと思えますので、そのとき読むのを楽しみにしています。

さて、ご存知のように、やつと菓屋をやめて翻訳に専念出来ることになりました。今までも晴ればれとした気持ちで、翻訳家になったというよりも、本格的勉強を始めたという方がまだ正しいと思います。

実は私が翻訳家になることを決意したのは、ある日、お父さんがいたからなんです。(編注)坂本夫妻は編者をいつも「お父さん」と呼ぶ。あなたはアダムスキー全集や、ユーコン等を通して、さまざまな素晴らしいビジョンを世の中の人々に提供してきました。それらの書物に接して、またお父さん自身にも接して、同じような仕事で自分にも出来たらどんなに幸せだろうか考えた訳です。もちろんあなたがしてきたこと、そして今もしていることは、あまりにも物凄くことなので、それに近づくことすら大変なことだとは思いますが、ただ目標は大きいほどいいと言いますしね。そして息子が父親を目標にして頑張るのは極めて自然なことかも知れませんが、とにかく私が考えていることは、翻訳を通して、あなたがしてきたように、少しでも明るい

いビジョンを人々に与えたいということです。今後ともご指導のほど宜しくお願いいたします。

奇跡的治癒に驚き

大阪府 口ノ町一男

本日五月二十一日(大阪支部大会の日)はまさに私達にとって、星の時間」といふべき最高に輝く一日となりました。私達のためにわざわざ貴重なお時間を頂いて本当にありがとうございます。先生達と別れてからも妻はしばらくの間、あまりの有難さに喜びの涙をとめることは出来ませんでした。

三カ月前に夢にまで見た先生との面会はここに実現することが出来たのです。夫婦そろって、しかも子供達も含めて、さらに遠藤様や平塚様の暖かいお出迎えを頂いて夢のようです。全てに感謝申し上げます。先生と遠藤様の強烈なプラスの想念に私達はまさに包まれたのです。私達は完治に向けて新しい一歩を踏み出すことができました。本當にありがとうございました。

編注

大阪支部の会員、口ノ町一男氏の奥さんの敏子さんは、かねてからエバンス疾候群という血液に関する難病にとりつかれて死の淵に横たわっていた。病院の治療も限界に達して見離された状態であった。思いあまつた口ノ町氏は編者に救いを求めてきた。氏の奥さんに対する深く美しい愛情に打たれた編者は、ただちに病床の奥さんを撮影した写真を送つてもらい、それを二月二十一日に春川正一氏に渡して遠隔思念による治療をお願いする一方、ミラクルワー

▼左より口ノ町一男、遠藤昭則、久保田八郎、口ノ町敏子、子供さん2人。



ドとイメージ法を夫妻で応用するようになり口ノ町氏に伝えた。

以来、満三カ月にして奇跡的に回復し、大阪支部大会当日は病院の許可を得て編者が滞在する新阪急ホテルのロビーまで夫妻で訪ねてきた。

この驚異的治療の原動力は春川氏の強烈な遠隔思念にある。そして口ノ町夫妻のひたむきな治そうという意欲と、必ず治るノという強固な信念をミラクルワードとイメージ法によつて奥さんの全身に吹き込んだのも有効だったようだ。

春川氏は稀代の超能力者だが、これはすべて他人を援助するために応用されている。そして奇跡的に難病を治した実例は他にも多数あるが、公開しないために一般では知られていない。他人を助ける超能力が本當の超能力だろう。

1989年度

1989 GAP-JAPAN GENERAL ASSEMBLY

あなたに贈る

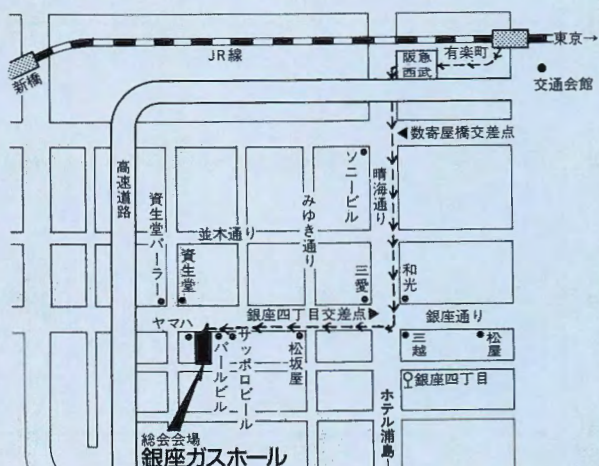
愛と幸せのための超能力開発セミナー

日本GAP総会

今年も日本GAP総会を盛大に開催します。今回は超能力者として第一線で活躍中の3名の方にご登壇をお願いし、人間の無限の能力開発指導セミナーとしました。特に秋山眞人氏はテレビ出演、著書等で知られるわが国トップクラスの大超能力者で、宇宙問題にも精通し、日本GAPの有力な支援者です。この総会により皆様が絶大な勇気と希望と信念を持ち、素晴らしい人生を開拓されると確信致します。この機会をお見逃しなきよう多数ご来場下さい。

日本GAP役員代表 篠 芳史

	総 会	大 夕 食 会	東京ディズニーランド観光
日時	9月23日(土)〈二日連休の初日〉 午後1:00→5:30	9月23日(土) 午後6:45→9:30	9月24日(日)〈連休の2日目〉 午前9:00銀座キャピタルホテルを出発
会 場	「銀座ガスホール」 東京都中央区銀座7丁目9番15号 ☎(03)573-1871 J R有楽町駅の銀座側下車。駅を背にして右方へ歩き、西武デパートと阪急デパートの間の筒抜け(通称マリオン)を通り抜けて有楽町の大通りへ出ます。左方の銀座通りまで徒歩約3分。三越デパート前の十字路を右折し、銀座中央通り(いわゆる銀座通り)を8丁目の方向へ約250m歩くと、左側に「銀座ガスホール」があります(ヤマハ楽器店の左隣)。入口より奥へ行き、エレベーターで6Fへ上がって下さい。有楽町駅より徒歩約10分。 ※当日、銀座通りは歩行者天国になるため車は通行止めになります。有楽町駅は通行可能。	「ホテル浦島」2F大ホール「菊の間」 東京都中央区晴海(はるみ)2丁目5番23号 ☎(03)533-5331 銀座4丁目の交差点から晴海行きのバスに乗車10分、徒歩40分、タクシー10分。 〔ご注意〕夕食会は時間の制限がありますので時間厳守をお願いします。	電車利用が早くて便利です。朝9:00に全員でホテルを出て、すぐ近くにある地下鉄有楽町線の新富町(しんとみちよう)駅から電車で行き、ここでJR京葉線に乗り換えて舞浜(まいはま)駅で降ります。ランドまで徒歩数分。片道交通費は合計¥270。ディズニーランド内には広大な敷地に多数の遊戯施設があり、団体行動は困難ですから、少数のグループか個人で周遊します。退園は各自自由ですが、希望者のみ所定の時間に出口の所に集合して別な場所で夕食会を開きます。(ランド内に荷物預り所あり) ※お子様づれ大歓迎!
会 費	¥4,000 (会場受付でご納入下さい。ハガキで夕食会の申込をされた方はその代金も併せてご納入下さい) 中・高生は¥2,000、小学生以下は無料。	¥8,000 (総会入場時に夕食会の会費を納入済の方は受付でチケットをお見せ下さい。未納の方は受付でご納入下さい)	入園利用料は「パスポート」(1日限り、各施設乗り放題)が大人¥4,400、小人(4歳~小学生)¥3,000、「ビッグテン」(10カ所のみ利用可能)大人¥4,100、小人¥2,700。
プ ロ グ ラ ム	1:00 司会者挨拶 篠 芳史 1:05 挨拶 日本GAP会長・久保田八郎 1:15 講演「超能力開発の基礎レッスン」 2:05 齊藤庄一(日本GAP東京本部役員) ——10分間休憩—— 2:15 講演「宇宙哲学を生かした超能力開発法」 3:05 遠藤昭則(日本GAP東京本部役員) ——10分間休憩—— 3:15 講演「超能力開発の新しい視点」 4:35 秋山眞人(ボストンクラブ主宰・日本GAP特別会員) ——10分間休憩—— 4:45 質疑応答(講師3名出席)/花束贈呈。 5:20 5:30 終了	6:45 会長挨拶 7:00 乾杯音頭 田 中 正 (東京本部役員) 祝宴、演芸 9:30 閉会 ※演芸は例によってすべてGAP会員のプロ級芸達者が出演。佐藤春雄(秋田)の秋田民謡(津軽三味線と太鼓の伴奏付)/坂本實一・茂子夫妻(秋田)のアメリカ民謡コーラス/升 田 裕 子(広島・音楽大学声学教授)の歌曲独唱/ロックバンド「スカウトシップ」(枝川文好、他8名・東京)の楽団演奏等、豪華出演陣。 ※勝手ながら飛び入り出演はお断り致します。	■この総会是非会員の方でも入場できますので、お問い合わせの上、多数ご来場下さい。ただし役員の指示に従い静粛にお願い致します。 ■総会入場時に質問用紙を渡しますから、3人の講師の内から回答者を指名の上、質問を書いた係員にお渡し下さい。質問多数の場合は当方で選ばせて頂きます。 ■総会講演のテープ録音、ビデオ録画、ストロポ付写真撮影を許可しますが、講演と質疑応答の内容一切の著作権は日本GAPに帰属しますので、日本GAP発行刊行物以外の刊行物には掲載できません。 ■大夕食会に出席される方は、ある程度きちんとした服装をお願いします。 ■大夕食会中に3人の講師をつかまえて質問することは固くお断りします。
申 込	9月23日夜の大夕食会、24日の東京ディズニーランド観光、宿舎希望の方は下記の要領でお申込下さい。 (1)大夕食会=ハガキに「大夕食会出席申込」と記して下記の申込先へ9月21日までに申込下さい(必着)。 (2)ディズニーランド観光=9月21日までにハガキで下記へお申込下さい。 (3)宿 舎=「銀座キャピタルホテル」をあっせんします。 東京都中央区築地(つきじ)3-1-5 ☎(03)543-8211。地下鉄有楽町線の新富町(しんとみちよう)駅下車すぐ。J R有楽町駅よりタクシー5分。徒歩20分。中央区役所ウラ。 シングル=1泊朝食付¥6,800(税込) (9月22日は30室、9月23日は80室予約済) ツイン=なし(満室) 希望者はハガキに①宿泊日②住所氏名電話番号を明記して9月10日までに申込下さい。 ●申 込 先=上記の申込はすべて下記へ。 〒150 東京都渋谷区東3-24-9 サンイーストビル2F ワールドセブントラベル株 田 中 正(宛) ☎(03)499-2461 夜間は田中自宅の (0474) 77-4728		



ジョージ・アダムスキー全集

久保田八郎訳 全8巻 B6判・本文上質紙・厚手表紙箱入豪華本

偉大な進化をとげた惑星の人々とコンタクトしたアダムスキーの驚くべき体験と、深遠な宇宙的思想を伝えたこの全集は、人類に宇宙的覚醒と真の生き方を示す最高の指針。UFOと宇宙哲学の研究者必読の名著です。

1 宇宙からの訪問者

三三八頁 二五〇〇円

ジョージ・アダムスキーのあまりにも有名な体験記。一九五二年十一月二十日にカリフォルニア州の砂漠で金星人と会った体験「空飛ぶ円盤は着陸した」を本書の第一部とし、円盤や母船に乗り、多数の異星人と会った実録を第二部とした驚異的な物語。本全集の中心をなす最重要なもの。

2 UFO問題の真相

二六二頁 二五〇〇円

第一巻の補遺的なUFOと異星人問題の真相を詳述。特に円盤の推進理論や、聖書とUFOとの関係について簡潔に重要な点である。第二巻はアダムスキーの世界講演旅行記。各国のGAPグループの活動と反応や、サイレンス・グループの妨害が克明に描写されている。

3 UFOとアダムスキー

三五〇頁 二五〇〇円

アダムスキーが実際に体験した母船による宇宙旅行を詳細に述べた「金星旅行記」と「土星旅行記」から成る本書第一部「死と空間を超えて」が圧巻。またアダムスキーが存命中に日本GAP会長・久保田八郎に送り続けたほう大な情報と奮闘を収録して第二部とした。

4 宇宙哲学

一四八頁 一三〇〇円

人間のセンス・マインド(肉体的心と宇宙の意識との一体化を中心思想として、人間を進化させる方法を明快に理論整然と説く。この哲学は、人間の意識と物質との関係の解明と応用をめざす21世紀の科学の最先端をゆくもので、アダムスキーの哲学関係三著作の中心となるもの。

5 テレパシー開発法

一九〇頁 一八〇〇円

人間に内在する宇宙的な能力のうち、テレパシー能力の開発法を説明したもので、特に目・耳・鼻・口の四官をコントロールして、内部の意識から来るテレパシクな印象を感じる方法を詳しく解説し、他人と無言の会話を技術と述べた。類書の全く存在しないガイドブック。

6 生命の科学

二〇五頁 一八〇〇円

アダムスキーが他界する数年前に出した「Science in Life」と題する十二冊の講義を和訳して一書にまとめたもの。アダムスキーの宇宙の哲学の根本とめとなる一大金庫で、真実のテレパシーと心霊的な世界通信の相違を明確にし、心霊現象への接近を警告する画期的な書。

7 アダムスキー論説集

三七〇頁 二五〇〇円

日本GAP機関誌に掲載されたもので、単行本化されていなかったアダムスキーの論説や講演録等を網羅編集したものである。特に死去する直前の最後の講演が圧巻。第二部にはアダムスキー研究者として名高い久保田八郎が数回寄稿してアダムスキーの高弟たちとインタビュールした記事を取録。アダムスキーの偉大な面が描写されている。

8 質疑応答集

二六頁 二〇〇〇円

アダムスキーは一九五八年に質疑応答集を自費出版で頒布した。五分冊から成る小冊子で、全部で百問の質問と回答を取録してある。内容は現在の進化した世界のUFO研究界に的確な解答と示唆を与えるものとして驚くほど新鮮である。これで本全集はア氏の重要な文庫すべてを網羅した。

発行所直接注文の場合に限り、左記のように定価・送料をサベイスいたします。

☆第一冊注文
☆第一巻より第四巻まで一括注文(正価 八八〇〇円)
☆第五巻より第八巻まで一括注文(正価 八八〇〇円)
☆第一巻より第八巻まで一括注文(正価 六九〇〇円)

↓送料無料 書籍代のみ(送料下)
↓特別セット価格(八〇〇〇円)(送料共)
↓特別セット価格(七三〇〇円)(送料共)
↓全巻セット価格(一四七〇〇円)(送料共)

■申込先▶ 文久書林 〒113 東京都文京区西方1-19-10 西方ハウス2F ☎(03)813-9561 振替/東京4-2521 日本GAPでは取り扱いません

英文版UFOcontactee No.5

B5・16頁・ノーリット紙使用
¥500(送料¥175・3冊まで¥250)

日本GAP会長・久保田八郎が心血を注いで編集した英文版Uコン第5号は世界各国のUFO研究団体間で絶賛の的。春川正一氏の宇宙的体験談(第3回)、アダムスキーの質疑応答集を連載する一方、第5号ではデザートセンターにおけるアダムスキーのコンタクト地点発表特報として坂本貢一、ダニエル・ロスの両氏が探索記を執筆。カラー写真数点を掲載。世界のアダムスキー研究家にとって重要な保存版資料。英語学習にも好適。注文は振替が郵便切手でどうぞ。

編集後記

●本号はベランダに於けるアダムスキーの対話特集として連載第一回分を掲載しました。知られざる秘話が続出して読者を唸らせました。今後をお楽しみに。

●アダムスキーに会った唯一の日本人の連載第二回目は筆者・向井氏のアダムスキーに宛てた痛快かつ真摯な長文の書簡に打たれました。だからこそアダムスキーが会え承諾したのだでしょう。これも貴重な記録です。

●編者の拙文「宇宙哲学で奇跡を起こす方法」はもともと長々としたが、スペースの都合により簡略にしました。しかしこの記事だけでも起死回生のインパクトを受ける人があられるかもしれません。それを心から望みます。

●遠藤氏の超能力開発講座第三弾「ヒーリングとテレパシー」も他人をひそかに助けている同氏の知られざる一面をのぞかせています。

●「UFO」宇宙からの完全な証拠」のダニエル・ロス氏は六月の後半、デンマークGAPの招待で講演に行きました。このところ各地をたびたび回って大活躍中のようなのです。

●49頁の予告どおり本年九月にも盛大な総会を東京で開催します。今回は人間に内在する偉大なパワーを引き出すための能力開発セミナーとします。有益な内容です。非会員でも入場できますから多数ご来場下さい。

●UFO目撃報告、UFO写真、超能力開発体験、宇宙哲学研究、宇宙科学等の原稿を募集しています(心霊的なものはご遠慮下さい)。採用分には謝辞を呈します。

●本誌は多数の会員ボランティアにより全国の主要書店に卸されています。この協力チームに参加ご希望の方はハガキでお申込下さい。説明書をお送りします。

日本GAP機関誌・季刊 秋季号
UFO contactee 106号

編集所 久保田八郎
発行所 日本GAP
〒103 東京都江戸川区本一色1-12-1 SH
☎03-6511-0955
振替/東京4-359912

平成元年七月二十五日発行
定価九〇〇円(本体価格八〇〇円・送料一〇〇円)
※本誌掲載の全記事・写真共、他の印刷物への無断転載を禁じます。

日本GAP全国月例研究会案内

支部名	日 時	会 場	会 費	プログラム・テキスト
東京本部	毎月第2土曜日 午後1:30→6:00 ※8月のみ第4土曜日(26日)に変更。会場は同じ。 ※9月は平常どおり月例会を開催。 ※11月のみ第1土曜日(4日)に変更。会場も皇居北の丸公園「科学技術館」6F第1会議室に臨時変更。詳細は本号39頁「GAP短信」。	上野公園内「東京文化会館」4F会議室。 ☎03-828-2111。JR 上野駅「公園口」下車。改札口の真向かい。 連絡先=日本GAP本部 ☎03-651-0958	会 場 費 ¥500 セ ミ ナー 受 講 料 ¥1000 計¥1500	1:30→2:10 会員による体験講演。 2:15→3:30 久保田会長による講義。 テキスト=「生命の科学」 「アダムスキー論説集」 テレパシー開発法、テレパシー練習、 近況報告、自己紹介、質疑応答。
大阪支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	大阪府吹田市出口町4丁目「吹田市民会館」 ☎388-7351。JR または阪急電車吹田駅下車。 連絡先=平塚和義 ☎06-436-3478	¥300	東京月例会における久保田会長の講義録音テープを公開。 テキストその他=東京本部に同じ。
新潟支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	長岡市今朝白1丁目「けさじろ荘」 ☎0258-33-7400。長岡駅東口より徒歩5分。無料駐車場あり。 連絡先=星 富治夫 ☎02579-2-5562	¥500	同 上
名古屋支部	毎月第2日曜日 午後1:00→4:30	名古屋市中区金山1丁目5番1号「名古屋市民会館」特別会議室。 ☎052-331-2141代。 JR 東海・名鉄・地下鉄の金山橋より徒歩5分。 連絡先=林 国宣 ☎0586-45-6468	¥300	同 上
仙台支部	毎月第4日曜日 午後1:10→4:20	仙台市青葉区1番町4丁目「141(イチヨンイチ)ビル」内5F「エル・パーク仙台セミナー室」 ☎022-268-8300。仙台駅よりバスで県庁市役所前下車、三越デパート隣。 連絡先=笠原弘可 ☎022-295-0725	¥300	同 上
山形支部	毎月第1日曜日 午後1:00→5:00 ※8月より会場を右記のとおり天童市に変更。	山形県天童市老野森1丁目1-1「天童市中央公民館」 ☎0263-54-1511。天童駅から徒歩10分、タクシー4分。天童市役所の裏側。 連絡先=柴田光明 ☎0233-25-3261	¥300	同 上
札幌支部	毎月第1日曜日 午後1:00→4:30	中央区北一条西13丁目「札幌市教育文化会館」会議室。 ☎011-271-5821。 連絡先=高野省志 ☎011-571-9874	¥500	同 上
旭川支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	旭川市6条通4丁目「勤労者福祉会館」2F小会議室 ☎0166-26-1304。 連絡先=川上三秀 ☎0166-61-0044	¥500	同 上
青森支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	青森市松原「青森市民文化センター」教養室。 ☎0177-34-0163。 連絡先=田村嘉彦 ☎0177-38-0416	¥500	同 上
沖縄支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00	那覇市寄宮1-2-1「那覇市民会館」1F、A会議室。 ☎0988-55-5081。与儀公園の隣。 連絡先=比嘉政広 ☎09893-2-2889	¥500	同 上
秋田支部	毎月第2日曜日 午後1:00→5:00	秋田市八橋運動公園1-2「中央公民館」趣味の間。 ☎0188-24-5377。 連絡先=伊藤正治 ☎0188-62-2831	¥200	同 上
横浜支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	横浜市中区万代町2-4-7「横浜市民文化会館」7F、703号室。 ☎045-681-6511。JR 関内駅、地下鉄・伊勢崎長者町駅より徒歩3分。 連絡先=清水 正 ☎0488-66-7048	¥500	同 上
茨木支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00 ※7月のみ第5日曜日(30日)に変更。	水戸市梅香1-2「三の丸公民館」小集会室。 ☎0292-24-6600。水戸駅北口より徒歩10分。 連絡先=清水勝一 ☎0292-73-1903	¥300	同 上
長野支部	毎月第4日曜日 午後1:00→5:00 ※12月のみ第3日曜日(17日)に変更。	塩尻市大門7番町「塩尻総合文化センター」第1会議室。 ☎0263-54-1253。 連絡先=博田文喜 ☎0263-58-8510	¥500	同 上
紀南会	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※代表が長期療養のため月例会は当分休会。	和歌山県新宮市新宮682-1「新宮福祉センター」1F相談室。 ☎0735-21-2760。JR 西日本新宮駅下車、徒歩5分。 連絡先=松口幸之助 ☎0735-34-0605(呼・田中)	¥300	同 上
栃木支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	鹿沼市市役所裏「御殿山会館」1F小会議室。 ☎0289-64-4334。JR 鹿沼駅から西へ1.5km。東武新鹿沼駅から北へ1.5km、市内行きのバスに乗り天神町下車。徒歩5分。 連絡先=渡辺克明 ☎0289-62-3319	¥500	同 上
南九州支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00 ※6月より旧薩摩会を南九州支部と改称	鹿児島市与次郎2丁目3-1「鹿児島市民文化ホール」 ☎0992-57-8111。 連絡先=鶴田清則 ☎0993-25-4398	¥500	同 上
高松支部	毎月第3日曜日 午後1:00→5:00	高松市玉藻町9番10号「香川県民ホール」5F第1会議室。 ☎0878-23-3131。JR 高松駅より徒歩7分。 連絡先=関 高明 ☎0878-88-1334	¥400	同 上

A あなたも超能力者に変わる！ テレパシー能力開発用ESPカード

テレパシー、透視力開発用のESPカードはアメリカのデューク大学で科学的に開発されたセナーカードが主体になっています。色カードは目を閉じたまま各カードの上に手をかざして色の発する波動を感知しながら色を言いあてる練習に使用するものです。堅牢なプラスチック製。



50枚1セットケース入り 使用説明書付き
¥4,800 送料¥360(2〜5個¥670)



①オーソン肖像写真 ②シンボルマーク

①1952年11月20日、カリフォルニアの砂漠でアダムスキーが劇的な最初のコンタクトをした金星人は「宇宙からの訪問者」第二部でオーソンという名で出てくるが、これをア氏の記録やアリス・ウエリスのスケッチにもとづいて女流画家ガイ・ベッツが描いた名画の写真。(キャビネ判・カラー写真) 上半身写真もあり。定価¥600
②この金星のシンボル・マークの中央にある眼は「すべてを見透す眼」で、宇宙の意識をあらわし、周囲の四層の星は人間のマインド(心)の発達状態をあらわしている。(サービス判・カラー写真) 上記2点共、重要な資料となるものです。他所では入手できません。

①¥600 送料¥120
②¥300 送料¥62 } 一括注文の場合送料¥120

C 大いなる信念と勇気を与えるGAP能力開発テープ

毎月行なわれている日本GAP東京本部月例研究会のなかから、日本GAP会長・久保田八郎先生が宇宙的フィーリングをもってアダムスキーの名著を解説した講義などが収められたテープ。ドライブ中や、通勤・通学電車内で、あるいは就寝前に聞いたりすれば絶大な信念と勇気がわき起こります。※8月からテキストが変わります(月例会案内参照)。

■日本GAP東京本部月例研究会録音テープ①

内容＝「宇宙哲学」・「アダムスキー論説集」解説講義／近況報告／質疑応答(一部)

テープ1本(120分) ¥1300 送料¥200

※このテープは日本GAPでは取り扱いません

■日本GAP東京本部月例研究会録音テープ②

内容＝「宇宙哲学」・「アダムスキー論説集」解説講義／テレパシー実践講義／テレパシー練習(テキスト付)／近況報告／質疑応答(全部)

テープ2本(90分×2本) ¥1900 送料¥250

◆申込先◆ 〒133 東京都江戸川区本一色1-24-3-202 松村 芳之 ☎03-653-9387 振替・東京0-162644

会員募集

日本GAPはUFO研究界の大先駆者・久保田八郎が故アダムスキー氏と提携して1961年に創立したわが国最大のUFOと宇宙哲学の研究大集団！多数の会員と共に宇宙の人間を目指そう！入会案内書をハガキで日本GAPへ申し込もう！

——日本GAP——

D GAP特製 テレホンカード



第2弾テレホンカードは大好評裡に品切れ。ここにデザイン一新の上GAPが放つ第3弾！アダムスキー撮影の名高いスカウトシップの写真を黄金色であしらった優美なカードは見るだけでも宇宙の高次元なフィーリングを起こさせて心がなごみます。

1枚¥1500 送料10枚まで¥62

E 会員バッジ



ジョージ・アダムスキーが金星人から与えられた唯一のバッジと形、色全く同様に複製した径18mmの丸い優美なバッジです。薄青色地に金色のシンボルマークが浮彫りされており、縁も金色です。表面には透明樹脂がかけてありますからキズがつかず、光を反射してキラキラ輝きます。男性用は裏側が心棒ネジどめ式、女性用は裏側が安全ピン式です。ぜひお求め下さい。ご注文のさいは男性用・女性用の別を明記して下さい。(無断複製を禁じます)

1個¥2000 送料4個まで¥120

F —— 幸せを呼ぶ ——

GAPシール



シールを製作しました。WITH COSMIC CONSCIOUSNESS(宇宙の意識と共に)の文字がシンボルマークを取り囲む優雅なデザイン。径6cm、5cm、4cm、3cm、2cmの5枚1セット。青と赤の2種類あります。自動車の窓、運転台、カバン、書籍・ノートの手紙、その他の持ち物に貼っておけばいつも宇宙的フィーリングに満ちて気分さわやか。良き想念が良き物事を招きよめます。表面光沢。防水加工。裏面のり付。ご注文の際は青、赤の区別をお忘れなく。

1セット¥900 送料5セットまで¥62

◎を除く商品の
申込先・申込方法

住所・氏名・電話番号・商品名・種類・色・個数等を明記の右上記へ郵便振替または現金書留でお申し込み下さい。

〒133 東京都江戸川区本一色1-12-1-511 日本GAP
振替／東京4-35912 ☎03-651-0958

※商品価格に消費税は含まれておりません。

サブリーミナルテープ
潜在脳刺激法であなたの人生が変わる!

今なら各シリーズを無料試聴できます。

マインドパワー・潜在能力を開発

「マインドパワーの開発」「充実した人生」
これらを簡単に現実のものにしてくれる驚くべきテープがアメリカからやってきました。
アメリカの著名な心理学者S・ハルパーン博士の開発した「サブリーミナルプログラム」がそれ。なにせ美しいBGM音楽を聴き流しているだけで確実な効果があるといつののですから、これを利用しない手はありません。



あのハルパーン博士が あなたのために制作

「マインドパワーの開発」「充実した人生」……これらを現実のものにしたい。これは、どんな人でも多少なりとも持っている共通の願望でしょう。ところが、この夢をいとも簡単に実現してしまうテープがアメリカからやってきたのです。それがアメリカでは知らない人はいないほど有名な心理学者ハルパーン博士の「サブリーミナルテープ」です。博士の手になるサブリーミナルテープは、米国で昨年一年間だけで五十数万本という驚異的なベストセラーを続け、その確かな効果を実証されています。

BGMとして聴く

「ただで効果が!!」
このサブリーミナルテープ、耳に聴こえるのは、うっとりするような美しいメロディーの心がゆつくりとくつろいでく静かな音楽だけです。

（日本の曲といえば、喜多郎の音楽にイメージが似ている。この音楽だけでもストレスを解消し、気分をさわやかにするすぐれた効果がある）

博士が開発した他、真似のできない高度な音響テクノロジーを駆使してある心理学の最新のメソッドが、耳に聴こえない周波数に変換されて入っているのです。潜在脳に独特の刺激を与える音響の波長が、耳に聴こえないメソッドの波長を潜在脳へ運び、植えつけていきます。この音楽に変わって入っている。耳に聴こえない心理学のメソッド。が、ただテープの音楽を聴いているだけで、潜在能力が開発される。充実した人生、歩み始める。という現象を引き出す秘密なのです。

今お申込みの方 案内書請求の方に先着500名
サブリーミナルテープ本を無料プレゼント中!!

今、お申込みの方 案内書請求の方先着500名に、ハルパーン博士制作の心身くつろがせ、大脳の活性化にもつとよい、アメリカで人気のサブリーミナルテープをプレゼントしています。

●ステイヴン・ハルパーン博士のプロフィール●

音楽・音響の潜在意識の作用の研究で世界的にその名を知られる心理学者博士。学者であると同時に、理想意識の神様とまで呼ばれている。ハルパーン博士は、その名を知られ、ファンを数多く持つ。博士の音楽は、音楽としても高く評価されているが、博士の長年の研究の集大成として、音楽の力としての効果も医学・心理・教育関係者の中で高い評価を受けている。ハルパーン博士の音楽を取り入れている。カイザー・パルマナ病院をはじめ、全米の一流の医療機関では、博士の音楽を薬品の代わりとして患者に与え、著しい効果を上げている。

1 マインドパワー・潜在能力を開発
マインドパワーシリーズ(MDシリーズ)

あなたの心と体をゆつたりともみほぐし、不安、緊張や心と体の疲れを取り除いてくれる宇宙的感覚のα波BGM音楽に、あなたの意識を拡大し、精神力・マインドパワー・積極的な潜在能力を自然に開発するサブリーミナル・メソッドを同調させたが、このMDシリーズです。会社から帰ってその日の疲れを癒したい時、日常生活のわずらわしさから解放されたい時、静かなBGM音楽を流して気分転換をしたい時

そんな時にMDシリーズをBGM音楽としてお楽しみ下さい。各種の瞑想法で得られる「意識の拡大」「α波レベルの脳波の強化」「心の安らぎ」「秘められた潜在能力の開発」「精神力の強化」「人間性・人格の向上」等の効果が得られ、より大きな人間に成長してゆく目ざしを今まで以上に拡大していく人生を手に入れることができます。

MDシリーズのお届けするテーマの内容は、●完全なる安らぎ●意識の拡大●大いなる自分との出会い●無限大の心●宇宙意識の目覚め●人間性・人格の向上●愛と慈悲のエネルギー●精神力の強化●偉大な潜在能力の開発●第一座の開発●自由自在な思考力●無限の知恵の獲得

(このシリーズのサブリーミナルテープのベース音楽には、ハルパーン博士の友人である「ヤンソン」の宇宙音楽をはじめ素晴らしい瞑想音楽が使われています)

商品お申込みの方に試験用テープを無料進呈!!
案内書請求の方に試験用テープを無料進呈!!

2 現状を打破し充実した人生を
充実人生シリーズ(HLシリーズ)

今なら無料試聴でき特別価格で購入できます

●MDシリーズ●HLシリーズは一年間の会員制の頒布会方式でお届けします。お申込後、毎月各テーマ別のテープを、お申込後、毎月各テーマ別の二巻お届けしていきます。お支払いは毎月テープ到着後に4,800円(送料300円)第三、第四回の無料以降もテープ到着後5日間のお無料試験期間を設けていますので、気に入らない場合は自由に返品できます。又、途中退会も可能です。

●今回ご紹介したシリーズ以外に「高次学習セット」魅力の性格シリーズ等のシリーズがございます。詳しい案内書を希望の方は、お電話あるいはおハガキで「案内書希望」とお申込み下さい。

住所：氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」を明記の上、〒107 東京都港区南青山1-26-4 アメリカライブラリー社 UFG の係
電話：東京 03(479)55664
(受付 AM 8:00 PM 4 日 祭日も受付中)

現状から抜け出し新しい人生に向けて第一歩を踏み出す動機づけ、毎日ワクワクするような胸のときめきを覚える充実した人生を送るために必要な能力や行動力を自然に身に付けられるよう、魂にひびきわたる美しい音楽にまぎれたサブリーミナル・メソッドが、あなたの潜在意識にやさしく語りかけます。

就寝前や「ちょっとBGM音楽でも流そうかな」と思った時にこのHLシリーズを聴いてBGM音楽としてお楽しみ下さい。

HLシリーズのお届けするテーマの内容は、●現状を打破する●目標・計画づくりの習慣●情性の脱構築●最高の人生を考える●自分の可能性を試す●すぐ実行する習慣●必要な読書・勉強の実行●毎日ベストを尽くす●プロフェッショナルをめざす●向上意欲の強化●充実した人生を生かす●大いなる未来へはばたく

(このシリーズには、ハルパーン博士の友人である「ヤンソン」の宇宙音楽とお使いになります。)

※このHLシリーズには、充実人生計画シート、充実人生コンセプトシートが付いています。

「今のままではいけない!」「もっと充実した人生を送るために何かをしなくては……」そんな中で、は感じているんだけれど、現状を打破する第一歩を踏み出すきっかけをつかめずに毎日を情性に引きずられて何となく過してしまっている、という方にお勧めするのがHLシリーズです。

現状から抜け出し新しい人生に向けて第一歩を踏み出す動機づけ、毎日ワクワクするような胸のときめきを覚える充実した人生を送るために必要な能力や行動力を自然に身に付けられるよう、魂にひびきわたる美しい音楽にまぎれたサブリーミナル・メソッドが、あなたの潜在意識にやさしく語りかけます。

就寝前や「ちょっとBGM音楽でも流そうかな」と思った時にこのHLシリーズを聴いてBGM音楽としてお楽しみ下さい。

HLシリーズのお届けするテーマの内容は、●現状を打破する●目標・計画づくりの習慣●情性の脱構築●最高の人生を考える●自分の可能性を試す●すぐ実行する習慣●必要な読書・勉強の実行●毎日ベストを尽くす●プロフェッショナルをめざす●向上意欲の強化●充実した人生を生かす●大いなる未来へはばたく

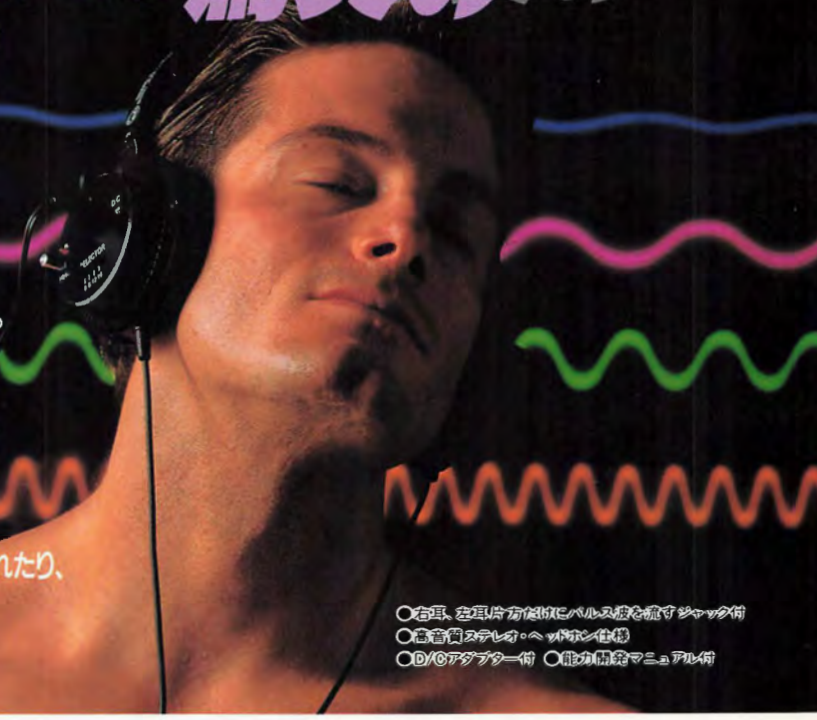
(このシリーズには、ハルパーン博士の友人である「ヤンソン」の宇宙音楽とお使いになります。)

※このHLシリーズには、充実人生計画シート、充実人生コンセプトシートが付いています。

潜在能力が目覚める 『記憶力・集中力の増大』『知能の向上』
真の自分が目覚める 『恋愛・人間関係成功』『強い自分の養成』

あなたを変える驚異の ヘッドホン

アメリカで数年前から話題になっている、
『大脳の脳波を誘導し、
人間の無限の可能性を引き出す
というヘッドホンが遂に日本へやってきた。
普通のヘッドホンと同じように
音楽等を聴いているだけで、
内蔵されたパルス波発生装置が作動して
大脳を心地よく刺激してくれる。
何度も愛用しているうちに
知らず知らずのうちに潜在能力が開発されたり、
精神力が強化されてしまうというかけ。
一度、試してみる価値はある。



○右耳、左耳片方だけにパルス波を流すジャック付
○高音質ステレオ・ヘッドホン仕様
○D/Aコンバーター付 ○能力開発マニュアル付

『シンクロ・アルファ』と呼ばれるこの特殊なステレオヘッドホン。ヘッドホン内部に組み込まれた特殊な周波数のパルス波発生装置にその秘密がかくされている。使い方はとても簡単。目的に応じて4つの周波数の中からひとつを選び、スイッチを入れるだけ。あとはヘッドホンを装着して、勉強する、雑誌等を読む等々つらく、普通のヘッドホンと同じようにラジカセ等に接続して好きな音楽を聴くだけ。パルス波は耳に全く聴こえないから、勉強や音楽鑑賞の邪魔になることはない。

アメリカの有名な医学者、M・ギルラ博士の研究で明らかになった、大脳の脳波を共鳴させる特殊な周波数のパルス波『シンクロ・アルファ』から発生するこの特殊なパルス波の刺激によって大脳が活性化され、『学習能力向上』『記憶力・集中力の増大』『知能の向上』『精神力・性格の強化』等々の数々の機能が全く努力なしに得られる。



シンクロ・アルファの多様な効果
『シンクロ・アルファ』は、4種類のパルス波の周波数モードの切換えが、

- ① 安眠・深くつらぎ、性格改善
 - ② 瞑想・直観力開発・知能開発・精神力強化
 - ③ 記憶力・集中力強化・学習能力向上
 - ④ 大脳の覚醒・自信・意欲、行動力の強化
- の4種類の目的に応じた使い分けができる。
- ## 『シンクロ・アルファ』の使い方
- ① 自分の好きな音楽を聴く——音楽鑑賞をしながら、潜在脳力開発や自己開発ができる。
 - ② アルファ波音楽テープ、サブリミナルテープ、自己暗示テープを聴く——これらのテープの効果により、引き出すことができる。
 - ③ 勉強中に利用する——BGM音楽をかけながら、あるいは全く無音の状態で使用し、学習能力を上げ記憶効果を倍増させる。
 - ④ 読書や他の事をやっている時に装着する。
- その他、テープ教材の記憶学習用に、安眠誘導用あるいは眠気防止用に幅広い目的で利用できる。

7日間無料試用できる

この『シンクロ・アルファ』ステレオヘッドホンを今なら7日間無料試用できる。

■価格(消費税3%は別)
一括払・一九八〇円(送料八〇〇円)
分割払・三、五〇〇円×6回(送料同)

■申込み方法
商品名・住所・氏名・電話番号・年令・職業・一括分割の別を明記の上、左記までハガキか電話で。

α波音楽テープ無料プレゼント中！
今、お申込みの方にもれなく、大脳を活性化させ心をなごませるアメリカでも人気のα波音楽テープを一本無料でプレゼント。

〒107 東京都港区南青山1-26-4
アメリカンライブラリー社 UFOの係
電話 東京 03(479)5864
(受付AM8〜PM24 日祭日も受付中)